

毛利高範侯旧蔵洋書（独文） 目録

佐伯市文化財調査報告書



1 9 9 1

佐伯市教育委員会

はじめに

毛利・佐伯藩は東九州の僻地に位置する表高二万石の小藩ですが、三方を囲む峻厳な山並みは自然の要害ともなり、おのずと海洋に開けた地の利を活かす領国経営がとられていきました。この間、毛利氏の入部以来、外様に類しながらも江戸時代の全期を通じて御家断絶の憂き目にあうこともなく、厳しい幕藩体制をくぐりぬけてよく藩存続がはかられたことは注目すべきことであります。

そのことは、当時の政治・社会状況を克明に記録した藩の公的な記録や貴重な文献等の散逸を防ぎえたことにも通じるわけで、一連の系統的な藩政史料はまさしく郷土史研究の宝庫となっています。

今一つ特筆すべきは、第八代藩主・毛利高標侯が「佐伯文庫」蔵本（全盛期八万余巻）として藩財政の大半を注ぎ込んでまでも蒐集した壮大な漢籍コレクションの存在であり、今日の残存本（約三千冊）によっても、隣国・中国文化への熱い憧憬の念がうかがえます。

両者は双璧をなす当市の誇るべき歴史遺産にほかならず、既に目録を作製し、その全容の解明に努めているところです。

このほか佐伯市には、やはり毛利家から寄贈していただいた江戸後期から近代にわたる和・漢・洋の図書類、並びに中島時軒、山口正名、佐藤鶴谷等の各旧蔵本を所蔵しております。今回、鶴谷が著録・編纂した稿本類と毛利高範侯が輯集した洋書について緊急調査を実施し、それぞれ「鶴谷佐藤蔵太郎旧蔵資料目録（稿本類）」、「毛利高範侯旧蔵洋書（独文）目録」として報告書を作製しました。

佐藤鶴谷（1855～1942）は、自由民権思想の高まりにより立憲政治への道が模索されるなか、明治15年に矢野龍溪門下で文筆活動を開始し、同時に政党人としても一時期得意の論陣をはりました。以後大正初期までジャーナリストの道を歩み続けますが、しかし、氏の後半生は明治35年豊国史談会の創設を機に一転して郷土史研究に没頭してゆくことになり、その研究成果をまとめた著作類や編纂資料のほとんどは公刊されることなく、稿本のまま今日に伝えられています。

高範侯（1866～1936）は肥後宇戸・細川家から来伯、毛利家第十三代として後を継ぎ、子爵を授けられて華族に列せられました。そして、明治21年5月には若干23歳でドイツに留学し、それから三年の間西欧の文物をつぶさに視察したうえで、明治24年4月27日仏国汽船シドニー号で帰朝しております。

文化や国民生活の近代化を促進する必要から、率先して欧米の近代思想や生活様式などを積

極的に導入していたおりに、知識人が先進国に寄せる関心の強さは並々ならぬものがあつたと思われまふ。ここに高範侯が輯集した洋書は、とりわけドイツ文化に寄せた関心の深さを如実に示すものであります。しかも演劇・戯曲類等にかぎり、現存するものでも約600分綴・冊に及ぶことはほかに類をみません。

歴史の動向に脈うつ外国文化を機敏に察知し、それをいち早く摂取しようとする姿勢は、かつて佐伯文庫の蒐集にみた高標侯の中国文化に対するそれ、と一脈通じているのかもしれない。

鶴谷が残した郷土史・資料にしても、高範侯が輯集した洋書類にしても、ほぼ同時代に生きた両者の業績と立場を異にした歴史的役割を学問的に再評価するためには、第一にそれらの厳密な書誌学的検討が是非とも必要になります。

幸いにも、福岡大学教授・秦行正先生と同助教授・和田達宜先生をお迎えし、それぞれの専門的分野から各目録を編輯していただきましたことは誠に喜びに堪えない次第であります。調査期間中は秦、和田先生とも書塵堆積裡のものともせず精力的に作業を進めていただきました。

ここにあらためて深甚の謝意と敬意を表するものであります。

いま国際化のなかの日本を唱えるとき、何よりもまず私たちの身の周りをしっかりと把握し、確固とした信念を備える必要があります。地方史また郷土史の問い直しが新たな関心を呼びおこしているのもそのためでありましよう。この二つの目録が郷土史研究はもとより広く学術研究に寄与することを心から期待しております。

佐伯市教育委員会

まえがき

毛利高範侯旧蔵洋書は、ドイツ・オーストリアの劇文学関係書籍をもっぱら蒐集対象にした専門コレクションの性格を備えております。およそ400タイトル、冊数にして575冊に及ぶ収蔵書は、1750年代から1890年代に至るドイツ語の書籍で構成され、その殆どが劇文学の作品テキストで占められます。しかも、この遺蔵書は、本目録に示しましたように、その多くが初版本であり、初版にして唯一の刊本という作品テキストも少なくありません。そのためこの文庫の資料的価値は極めて高いものといえ、ドイツ語圏の演劇や楽劇の歴史を研究する上での貴重な資料として国内外の注目を集めることと思われまます。

本文庫の資料を出版年で18世紀、19世紀前期、同後期の三期に大別した場合、その構成比はおよそ1：3：2になり、19世紀前半の刊本が全体の5割に及びます。19世紀前の古刊本はその希少価値のために一律に貴重書扱いとする例もみられ、このような尺度を適用するならば本文庫には約100冊の貴重書が存在することになり、印刷紙としてラグ紙、コットン紙を使用した時代のものであるため然るべき保存管理が必要とされます。

本文庫の場合、18世紀の刊本に19世紀前半の刊本を合わせた約400冊と、19世紀後半60年代までの大部分を加えた資料に関連して特筆すべきことがいくつかあります。まず、この年代に属する資料の殆どに貸本業者の押印と図書の整理番号が見られるという点であります。しかも少数の例外を除き、Taubertという業者の印が押されています。この業者の店舗印は1830年頃を境にLesebibliothekから（業態をより明確に表わすような呼称の）Leihbibliothekに変わりますが、Taubertの印がある資料は旧称時代のものが約264冊、改称後のものが約140冊で、文庫全体の7割を占めます。また、こうした業者本では作品集、選集などの場合に限定されますが、一冊の本を解体して作った分冊が20例余りあります。これらは、一冊の本からより多くの利潤を追求しようとした貸本商法的一端を物語るものとして、注目すべき例であります。

一方、特製の分冊本に対し、いくつかの単行冊子をまとめて装丁した合本の存在もかなりの数にのぼります。正確には文庫全体の1割を占める58冊が合本で、これらは総数175冊の単行冊子から成り立っています。

先に、本文庫の総冊数を575冊としておりますが、これはあくまでも便宜的に示した数字であり、分冊本も合本もそれぞれ1冊として数えております。合本を構成する各冊子を単行書として計算すれば総数は691冊、分冊本だけを清算すれば555冊余りとなります。同様にタイトル総数も変動的な数字となりますが、合本各冊子を含めない場合、点数は413タイトルということになります。

本文庫の概要は以上のとおりであります。この中に含まれる戯曲のテキスト数は、全集などに所収のものすべてを含めた場合、1100余りとなり、一個人の蒐集としては信じがたいような実に膨大な数に達しています。また、個人の収蔵書に、過去に貸本として利用された図書が大量に含まれ、その比率が全体の7割を占めるということは特に注意を引く点であります。

ここで、貸本と関連させながら19世紀の出版事情について少し触れてみたいと思います。フ

ランス革命や産業革命といった社会の変革は、19世紀においてドイツ語圏の書籍出版をめぐる諸条件を大きく変化させました。あまり詳しく触れることはできませんが、たとえば、産業革命の進展は印刷機械の動力化や製紙技術の近代化によって本の量産化を可能にし、一方では読者層の底辺を拡大する可能性も開き、印刷出版に構造的な変化をもたらしました。

一方、蒸気機関などの新しい産業技術の登場は、週労83時間の時代、すなわち睡眠と食事などの生理的生活に労働外時間の殆どが費やされていた時代が過去のものとなると、産業労働者に読書の前提となる時間的余裕が生まれました。また、鉄道という新しい輸送手段は、都市間の時間距離を短縮しただけでなく、駅文庫の出現が示すように、人と本との距離をも接近させる効果をあげました。

貸本業者はこうした新しい読者である大衆層をも顧客対象にして広く普及し、当時はまだ高価なものであった書籍と一般大衆との媒体の役目を果たしました。貸本業者は、会員制を敷くものとそうでないもの、豪華なサロン風の店舗を構えるもの、市中の飲食店や喫茶店の一角に構えたもの、さらには行商的なものなど、規模や形態は様々でありましたが、19世紀後半にはその数がドイツ語圏全域で、2000軒を越えていました。そして3万冊以上を揃えたような有力店から末端の零細店へと何段階かの過程を経て商品価値の下がった貸本が順次流通しておりました。こうした業者が顧客や会員に人気の高い図書をより多く揃えたのは営利を目的とする以上は当然のことでありました。新刊書に重点を置き、顧客の嗜好に合わせて入れ替えを怠らなかつた有力業者は19世紀の全盛期には出版傾向そのものを左右する程の勢力で、通俗的な出版物の増加、「商品としての文学」の登場、出版の商業化といったことの一端を担いました。

19世紀後半において、碎木パルプなどの木材を原料とする新しい製紙技術の実用化で、製紙が近代工業化し、印刷紙の大量供給が可能になると、新聞の普及をはじめとして出版の様相も再度変化しました。そして通俗的な読み物はむしろ供給過剰になり、貸本業者の受け入れ能力を越えるような事態にもなりました。

低廉な文庫本の出現は画期的なことであり、大衆層に歓迎されて大いに普及しました。有名なレクラム文庫は、1867年に一律3グロッシェンの値段で登場しましたが、この価格はそれまでの書籍が最低でも1ターラー(=30グロッシェン)はしていたことを考えれば、破格的なものであり、週1グロッシェンといった貸本一冊の料金にむしろ接近したものでありました。実際、名著・名作を中心に据えたこの文庫の普及ぶりは驚異的で、年に100点のペースで出版点数を伸ばし、1881年には総点数で1540点、(高範侯の渡独した)1888年には2430点と飛躍的な成長をとげました。文庫本のこうした普及は、貸本業者のメディアとしての力を弱め、その存在自体を相当に脅かすものでもありました。

産業革命という社会経済的变化は出版の世界にも直接・間接にさまざまな影響を及ぼしたことは以上に述べたとおりであります。本文庫は書籍出版の変遷や文学の作者と読者の関係を考究する上での興味ある資料であるともいえます。

毛利高範侯は佐伯市史によれば、慶応2年(1866)12月5日、肥後宇土藩主細川行真の長子として生まれ、幼名を侃次郎(なおじろう)もしくは侃二郎と称しました。叔母美女子(みなこ)が佐伯藩主12代高謙の後妻になったことから佐伯入りし、高謙の養子となりました。そして版籍奉還、廃藩置県後の明治9年、高謙の死去に伴ない家督を相続しました。

高範侯は、世が世であるならば豊後佐伯藩の藩主の地位にあった人物であります。高範侯については『佐伯史談』（昭和60年、第138号）、『日本人名大辞典』（平凡社）などにおいても簡単な記述がある程度で、伝記的な事柄も断片的にしか分かりません。

このたびの目録作成を機に、従来の文献には触れられていない事柄がいくつか判明いたしました。ひとつには、高範侯が明治10-20年に学習院に在籍したこと、またひとつには、渡欧直後の滞在先がドイツのライプツィヒであったことでもあります。

東京に学習院が開学するのは明治10年のことですので、高範侯は学習院の第一期入学者ということになります。学習院の公式記録である『学習院第一年報〈自明治10年至同年12月〉』（明治12年7月）には男子小学生徒の名簿中に毛利侃二郎の幼名が記載されており、以後『学習院年報第十学年〈自明治19年9月至20年8月〉』（明治21年7月）に至るまでの間、第7年報を除き、高範侯の名前を確認することができます。しかしながら、「明治20年8月末調べ」となっているこの第10年報では、高範侯の名前が他所修学生の欄に記載されています。この場合の他所とはどこなのか、また17年8月末調べの第7年報に名前が見当たらないのはなぜなのか、この二点は今後の調べに譲らねばなりません。

ライプツィヒ滞在については本目録の資料No. 4, 531, 535がはっきりと示すとおりであります。また、上述のTaubertや一部の資料に関係するLiterarisches Museum, Johann Gottfried Richterがライプツィヒの業者であること（Vgl. Martino, S. 39, 194ff.）、新刊で購入されたと思われる本（No. 515, 516, 523）のとびらにはライプツィヒのMax Schroeter書店のシールが貼られていることなどもここで指摘しておくべきだと思います。

No. 4, 535において署名者として登場するMarggraffという苗字は珍しい部類に属し、Allgemeine Deutsche Biographie（全56巻）においてはHermann Marggraffの一例があるのみです。このHermann Marggraff（1809-1864）は本目録No. 488に現れるように劇作者であると同時に劇評家として、またAllgemeines Theaterlexikon（7 Bde, Altenburg 1839-43）の共編者として名前の知られた著述家であり、1853年以降は死亡するまでライプツィヒに住んでいた人物です。毛利侯を実の子のように暖かく迎えたMarggraff未亡人（No. 4 註記参照）がこの著述家の妻であった確証は何もありませんが、可能性は捨て切れないように思われます。

ところで、高範侯がいつ、どこでドイツ語を修得したのか、またどのような契機からドイツ語圏の演劇に興味を持ったか、この点についてもいくつかの指摘すべきことがあるように思われます。『開校五十年記念学習院史』（昭和3年）によれば、学習院では明治17年9月からそれまでの英語とフランス語にドイツ語が教科として加えられ、明治19年9月には日本のドイツ語教育の草分け的存在の一人である大村仁太郎が着任しました。本目録No. 548-553は高範侯がドイツ語を学ぶ過程で使用したと考えられる教科書で、No. 552, 553には本の裏表紙内側にT. M., T. Mōriの署名があります。これらの教科書と『独和辞彙』（後学堂、明治16年）、平塚定二郎『独逸文法楷梯』前・後編（独逸学協会、明治16年・17年）などの佐伯に残されている語学関係の和書が実際に学習院で使用されたものなのかどうか、これも今後の調べに譲らなければなりません。

No. 553のヘステルの上級読本は、短いながらも75名の作家の文章を載せており、この目録との関連に限ればGeothe, Schiller, Lessingをはじめ、Brentano, Castelli, Fouqué, Gottschall,

高範侯は、世が世であるならば豊後佐伯藩の藩主の地位にあった人物であります。高範侯については『佐伯史談』（昭和60年、第138号）、『日本人名大辞典』（平凡社）などにおいても簡単な記述がある程度で、伝記的な事柄も断片的にしか分かりません。

このたびの目録作成を機に、従来の文献には触れられていない事柄がいくつか判明いたしました。ひとつには、高範侯が明治10-20年に学習院に在籍したこと、またひとつには、渡欧直後の滞在先がドイツのライプツィヒであったことでもあります。

東京に学習院が開学するのは明治10年のことですので、高範侯は学習院の第一期入学者ということになります。学習院の公式記録である『学習院第一年報〈自明治10年至同年12月〉』（明治12年7月）には男子小学生徒の名簿中に毛利侃二郎の幼名が記載されており、以後『学習院年報第十学年〈自明治19年9月至20年8月〉』（明治21年7月）に至るまでの間、第7年報を除き、高範侯の名前を確認することができます。しかしながら、「明治20年8月末調べ」となっているこの第10年報では、高範侯の名前が他所修学生の欄に記載されています。この場合の他所とはどこなのか、また17年8月末調べの第7年報に名前が見当たらないのはなぜなのか、この二点は今後の調べに譲らねばなりません。

ライプツィヒ滞在については本目録の資料No. 4, 531, 535がはっきりと示すとおりであります。また、上述のTaubertや一部の資料に関係するLiterarisches Museum, Johann Gottfried Richterがライプツィヒの業者であること（Vgl. Martino, S. 39, 194ff.）、新刊で購入されたと思われる本（No. 515, 516, 523）のとびらにはライプツィヒのMax Schroeter書店のシールが貼られていることなどもここで指摘しておくべきだと思います。

No. 4, 535において署名者として登場するMarggraffという苗字は珍しい部類に属し、Allgemeine Deutsche Biographie（全56巻）においてはHermann Marggraffの一例があるのみです。このHermann Marggraff（1809-1864）は本目録No. 488に現れるように劇作者であると同時に劇評家として、またAllgemeines Theaterlexikon（7 Bde. Altenburg 1839-43）の共編者として名前の知られた著述家であり、1853年以降は死亡するまでライプツィヒに住んでいた人物です。毛利侯を実の子のように暖かく迎えたMarggraff未亡人（No. 4 註記参照）がこの著述家の妻であった確証は何もありませんが、可能性は捨て切れなように思われます。

ところで、高範侯がいつ、どこでドイツ語を修得したのか、またどのような契機からドイツ語圏の演劇に興味を持ったか、この点についてもいくつかの指摘すべきことがあるように思われます。『開校五十年記念学習院史』（昭和3年）によれば、学習院では明治17年9月からそれまでの英語とフランス語にドイツ語が教科として加えられ、明治19年9月には日本のドイツ語教育の草分け的存在の一人である大村仁太郎が着任しました。本目録No. 548-553は高範侯がドイツ語を学ぶ過程で使用したと考えられる教科書で、No. 552, 553には本の裏表紙内側にT. M., T. Môriの署名があります。これらの教科書と『独和辞彙』（後学堂、明治16年）、平塚定二郎『独逸文法楷梯』前・後編（独逸学協会、明治16年・17年）などの佐伯に残されている語学関係の和書が実際に学習院で使用されたものなのかどうか、これも今後の調べに譲らなければなりません。

No. 553のヘステルの上級読本は、短いながらも75名の作家の文章を載せており、この目録との関連に限ればGoethe, Schiller, Lessingをはじめ、Brentano, Castelli, Fouqué, Gottschall,

Kind, Kotzebue, Langbeinといった作家のものも含んでいます。このように高範侯はドイツ語を学ぶ過程でドイツ文学に関する知識も相当に得たものと思われる。

しかし、ドイツ語圏の演劇と高範侯とのはっきりした接点がなんであったのかということになりますと全くの不明であります。久松定弘（1857-1913）の著した『独逸戯曲大意』（明治20年）はドイツ演劇を日本で最初に紹介した文献であるとされます。高範侯が渡欧する前年に出版されたこの著書を読んだかどうかは別として、注目すべきは久松定弘が1874-77年にドイツへ留学し、西欧の文物に直接触れてきた旧今治藩主であり、高範侯と身分を同じくする人物だということでもあります。レッシングの演劇論に多くを負う久松の著作を仮りに読んでいたとするならば、本目録No. 531のレッシングの『ハンブルク演劇論』の筆写本は誠に興味あるものとなってきます。

以上、高範侯については推測も交えながら述べてみましたが、高範侯旧蔵洋書についてはこうした推測すら不可能な問題も多く残されています。たとえば、この目録にまとめたものが果たして高範侯の蒐集した劇文学関係のコレクションの全体をなすものかという問題、宮内省式部官を辞して佐伯に戻っていた明治26-40年を除き、亡くなる昭和14年まで住んだ淀橋区柏木の東京の屋敷にもコレクションの一部が置かれていなかったのかという問題、またいかなる事情から本目録にある書籍が佐伯の屋敷（警露館）に運ばれ、近年までそこに残されたままの状態になっていたのかという問題、さらにはTaubert印のある約400冊の購入先はどこなのかという問題…… こうした問題に答える記録類が出現すれば何よりのことだといえます。

以上、いろいろと述べてきましたが、何よりも特筆すべきは憲法の制定、帝国議会の開設など近代国家としての体裁をようやく整えた頃の日本に、一個人の手によってこのような文庫がすでに成立していたという事実であります。

本目録は、資料の調査段階から最終校正に至るまで、佐伯市教育委員会の山田健一氏の特段の配慮と助力を得て完成しました。氏のこの仕事で示された誠意と熱意に対し、心から敬意を表します。校正に際しては、二校でアーデルハイト・井口女氏に、三校で山中博心氏に協力を願いました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。

実質3ヶ月という短い時間内での目録作成であったため、誤りや不備な点が随所に存在すると思いますが、その責任は編者一人にあります。容赦のないご批判とご教示を願えれば幸いに存じます。

和田 達 宜

* 久松定弘については『日本におけるドイツ語文化回顧展』（郁文堂、1990年）を参考にしました。

Verzeichnis deutschsprachiger Bücher aus der
Privatbibliothek des Vicomtes Takanori Mōri
Herausgegeben von Tatsuyoshi Wada

INHALT (目 次)

I . LITERATUR	1
文 学	
A . Sämtliche Werke	1
全 集	
B . Bühnendichtung	3
劇 文 学	
1 . Dramatische Werke einzelner Autoren	3
(個人) 戯曲	
2 . Musikalisch-dramatische Werke	46
[音] 楽劇(台本)	
3 . Sammelband dramatischer und/oder musikalisch-dramatischer Werke	48
戯曲・楽劇[選]集	
4 . Sammlungen, dramatische Almanache und Taschenbücher	55
戯曲叢書・雑誌	
5 . Dramaturgie, Theatergeschichte u.s.w.	61
演劇論・演劇史他	
C . Märchen und Sagen	62
昔話・民話	
II . VARIA	63
諸 学	
III . LEHRBÜCHER	64
教 本 類	
IV . NACHSCHLAGEWERKE	65
辞<事>典類	
V . SONSTIGES	65
そ の 他	

Zum Verweis benutzte Bibliographien (参考書誌)

- Brümmer, Franz, Lexikon der deutschen Dichter und Prosaisten vom Beginn des 19. Jahrhunderts bis zur Gegenwart. 6. völlig neu bearb. und stark verm. Aufl. 8 Bde. Leipzig, Ph. Reclam, 1913. - Unveränd. Nachdruck, 8 Bde. (in 4.) Nendeln/Liechtenstein, Kraus Reprint, 1975.
- Goedeke, Karl, Grundriß zur Geschichte der deutschen Dichtung aus den Quellen. 2. bzw. 3. ganz neu bearb. Aufl. 15 Bde. (in 21). Dresden, L. Ehlermann, 1884-1966. Neue Folge, Bd. 1 [soweit ersch.]. Berlin, Akademie, 1955-1962. - Unveränd. Nachdruck. 22 Bde. mit einem Index-Bd. Nendeln/Liechtenstein, Kraus Reprint, 1975-1979.
- Hirschberg, Leopold, Der Taschengoedeke. Bibliographie deutscher Erstausgaben. Verb. Ausgabe. 2. Aufl. München 1990. = dtv 3026.
- Holzmann, Michael/Bohatta, Hans, Deutsches Anonymen-Lexikon. Weimar, Gesellschaft der Bibliophilen, 1902-1928. 7 Bde. - Unveränd. Nachdruck. Hildesheim, Olms, 1984.
- Killy, Walter, Literaturlexikon. Autoren und Werke deutscher Sprache. Bd. 1-9 ff. Gütersloh/München, Bertelsmann, 1988-1991 ff.
- Kosch, Wilhelm, Literatur-Lexikon. Biographisches und bibliographisches Handbuch. 2. vollst. Neubearb. und stark erweiter. Aufl. 4 Bde. Bern, Francke, 1949-1958.
- Kosch, Wilhelm, Deutsches Literatur-Lexikon. Biographisch-bibliographisches Handbuch. 3., völlig neu bearb. Aufl. Hrsg. von Bruno Berger und Heinz Rupp. Bd. 1-13 ff. Bern und München, Francke, 1968-1991 ff.
- Meyer, Reinhart, Bibliographia dramatica et dramaticorum. Kommentierte Bibliographie der im ehemaligen deutschen Reichsgebiet gedruckten und gespielten Dramen des 18. Jh. nebst deren Bearbeitungen und Übersetzungen und ihrer Rezeption bis in die Gegenwart. 1. Abteilung: Werkausgaben, Sammlungen, Reihen. 3 Bde. Tübingen, M. Niemeyer, 1986.
- Wilpert, Gero von, Deutsches Dichterlexikon. Biographisch-bibliographisches Handwörterbuch zur deutschen Literaturgeschichte. 2., erweiter. Aufl. Stuttgart 1976. = Kröners Taschenausgabe Bd. 288.
- Wilpert, Gero von/Gühring, Adolf, Erstausgaben deutscher Dichtung. Eine Bibliographie zur deutschen Literatur 1600-1960. Stuttgart, A. Kröner, 1967.
- Gesamtverzeichnis des deutschsprachigen Schrifttums (GV) 1700-1910. Bearb. unter Leitung von [Peter Geils,] Hilmar Schmuck und Willi Gorzny. 160 Bde. und Nachträge (in 161 Bdn.). München/New York/London/Paris, K.G. Saur, 1979-1987.

Sekundärliteratur in Auswahl (参考文献)

- Alexander, Robert J., Das deutsche Barockdrama. Stuttgart 1984. = Sammlung Metzler Bd. 209.
- Alker, Ernst, Die deutsche Literatur im 19. Jahrhundert (1832-1914). Unveränd. Nachdruck der 3. Aufl. Stuttgart 1981. = Kröners Taschenausgabe Bd. 339.

- Cowen, Roy C., Das deutsche Drama im 19. Jahrhundert. Stuttgart 1988. = Sammlung Metzler Bd. 247.
- Dietrich, Margret, Das moderne Drama. Strömungen, Gestalten, Motive. 3., überarb. und erweit. Aufl. Stuttgart 1974. = Kröners Taschenausgabe Bd. 220.
- Frenzel, Herbert A., Geschichte des Theaters. Daten und Dokumente 1470-1890. 2., durchgeseh. und stark erweit. Aufl. München 1984. = dtv 4302.
- Gregor, Joseph, Der Schauspielführer. 13 Bde. Stuttgart, Hiersemann, 1953-1986.
- Guthke, Karl S., Das deutsche bürgerliche Trauerspiel. 4., durchgeseh. Aufl. Stuttgart 1984. = Sammlung Metzler Bd. 116.
- Herzfeld, Friedrich, Ullstein Lexikon der Musik. 8., neu bearb. Aufl. Frankfurt a./M./Berlin/Wien, Ullstein, 1976.
- Jäger, Georg/Schönert, Jäger (Hrsg.), Die Leihbibliothek als Institution des literarischen Lebens im 18. und 19. Jahrhundert. Organisationsformen, Bestände und Publikum. Hamburg, E. Hauswedell, 1980. (Wolfenbütteler Schriften zur Geschichte des Buchwesens. Bd. 3.)
- Koch, Hans-Albrecht, Das deutsche Singspiel. Stuttgart 1974. = Sammlung Metzler Bd. 133.
- Kruse, Georg Richard, Reclams Opernführer. 2., erweit. Aufl. Leipzig, Ph. Reclam, o.J. [um 1929].
- Lüdke, Gerhard, Nekrolog zu Kürschners Literatur-Kalender 1901-1935. Berlin und Leipzig, de Gruyter, 1936. - Nachdruck, ebenda, 1973.
- Martino, Alberto, Die Deutsche Leihbibliothek. Geschichte einer literarischen Institution (1756-1914). Mit einem zusammen mit Georg Jäger erstellten Verzeichnis der erhaltenen Leihbibliothekskataloge. Wiesbaden, O.Harrassowitz, 1990. (Beiträge zum Buch- und Bibliothekswesen. Bd. 29.)
- Melitz, Leo, Die Theaterstücke der Weltliteratur ihrem Inhalt nach wiedergegeben. 4. Aufl. 3 Teile in 1 Bd. Berlin, Globus, o.J.
- Prang, Helmut, Geschichte des Lustspiels. Von der Antike bis zur Gegenwart. Stuttgart 1968. = Kröners Taschenausgabe Bd. 378.
- Steinmetz, Horst, Die Komödie der Aufklärung. 3., bearb. Aufl. Stuttgart 1978. = Sammlung Metzler Bd. 47.
- Wischer, Erika (Hrsg.), Propyläen Geschichte der Literatur. Literatur und Gesellschaft der westlichen Welt. 6 Bde. Frankfurt a.M./Berlin, Ullstein, 1981-1984. - Sonderausgabe, Berlin, Propyläen, 1988. Insbes. Bd. 4: Aufklärung und Romantik 1700-1830 bzw. Bd. 5: Das bürgerliche Zeitalter 1830-1914.

凡 例

一、 本目録各項の配列は、原則として著者名のABC順とした。一著者のものが二点以上に及ぶ場合は、その間の配列を出版年順にした。編纂ものなど一部の資料については書名〈誌名〉のABC順、作者不詳のままAnonymaとしてまとめた一部の匿名資料については出版年順にした。

一、 資料各冊の昌頭に伏した一連番号は本整理までの仮番号である。

一、 記載の事項は、原則として著者、書名、巻数、出版地、出版元（または印刷所）、出版年、サイズ、ページ数、製本状態、押印の順とした。字体をイタリックに変えて印刷した部分は、編者による書誌学的な註記である。また、全集など一冊に複数の作品が収められている刊本の場合は、最後にその内容を明示した。

- 1) 著者名は、原則として他の記載事項から行を独立させ、各資料の実際の表記とは関わりなく、フルネームで掲げることにした。これは同一著者のものが何点かに及ぶ場合、著者名が匿名や偽名〈筆名〉にされたり、実名でもイニシャルの使用範囲が一定しないなどのため、実際の表記に忠実に従うと煩雑を極めること、また応分の紙幅が必要となることを心配したための措置である。ただし、匿名、匿名、偽名〈筆名〉の出版である場合にはそのことが分かるように配慮した。また、各作家の初出の箇所では生没年を可能な限り併記した。
- 2) 書名、刊記については各資料のタイトルページの綴字法、句読法に従うことを原則とし、誤植、脱字などでないことを断る必要があると思われる場合には補註を施してそのことを明確にし、[so]などのようにした。ただし、変母韻の旧字体は活字調達上の問題からä, ö, ü, äuとの区別を示すことを断念した。現行の正書法にならって表記を統一せず、歴史的な表記を尊重したこと理由は、本文庫の各資料がすべて正書法確立以前の刊本であり、書記法の推移を時代的かつ地域的に跡づけることをある程度可能にする語史的資料の一つでもあると判断したためである。
- 3) サイズはセンチで、よこ×たての実測値(小数点以下四捨五入)を示した。そのため、beschnittenとunbeschnittenの区別は割愛した。実寸と(たての長さを基準とした)本の規格との関係は次の通りである。

15 cm 以下	16°ないし12°	23.5 cm—25 cm	Gr.—8°
15—18 cm	Kl.—8°	25 cm —35 cm	4°
18—23.5 cm	8°		

- 4) ページ数の表示は原則として各資料の表示法に従った。それゆえEinzelpaginierungになっているものはその通り示した。ただし、本ページ(アラビア数字)以前の無ページ部分についてはローマ数字で示すか、既存のローマ数字に加算した。巻末の無ページ部分は、それが目次、正誤表などである場合には()内に+記号を付したアラビア数字で、また、それが出版広告のページである場合には()内に無記号のアラビア数字でページ数を示した。

一、 資料の書誌学的な特定に関する記事は斜字体部分の冒頭に記した。特に断りのない場合は、資料がそこに示した書誌の当該箇所に掲げられている刊本と同定されるものであることを意味する。

一、 本目録においては初版本と明記することは特に慎重を期し、複数の書誌との対照をおこなって、出版地、出版年だけでなく、出版元、ページ数、サイズなどの点でも異同のないことが確認された場合に限ってErste Ausgabeと付記している。

一、 資料のタイトルページにもともと含まれる()と区別するため、編者の補註は原則として[]でくくったが、混同される恐れのない範囲では(anonym)のように()も使用した。

一、 オリジナルでない合体は、+記号とAngeb.の略号を用いてそれであることを示した。

一、 書名のあとに添えた(a), (b), (c)…の記号は貸本業者特製の分冊本の分割部分を示す。

Abkürzungen (略語表)

Abt.	= Abteilung(en)	kart.	= kartoniert
a. d. T.	= auf der Titelseite	kolor.	= koloriert
a. d. Vs.	= auf dem Vorsatzpapier	Komm.	= Kommission
angeb.	= angebunden	Komp.	= Komponist
Aufl.	= Auflage	Lwd.	= Leinenband
Aufz.	= Aufzug, Aufzüge	N. N.	= nomen nescio (irgend jemand)
Bd.	= Band	OHldr.	= Original-(Verleger-) Halblederband
Bde.	= Bände	o. J.	= ohne Jahr
Bdn.	= Bänden	OLwd.	= Original-(Verleger-) Leinenband
Beamb.	= Bearbeiter, bearbeitet	o. O.	= ohne Ort
Beil.	= Beilage(n)	o. Verl.	= ohne Verlag
Bg.	= Bogen	Portr.	= Porträt
Bildn.	= Bildnis	Ppbd.	= Pappband
Bl.	= Blatt	Rad.	= Radierung(en)
br.	= broschiert	Rt.	= Rückentitel
Buchh.	= Buchhandlung	S.	= Seite(n)
Comm.	= Commission	Sp.	= Spalte(n)
Ders.	= Derselbe	St.	= Stempel
eig.	= eigentlich	St.(1)	= TAUBERT'S LEIHbibliothek
Einbd.	= Einband	St.(2)	= Lesebibliothek von J. G. Taubert
erg.	= ergänzt	St.(3)	= Takanori Mōri * Tokyo, Japan
ersch.	= erschienen	St.(4)	= Müllersche Lesebibliothek
Expl.	= Exemplar	St.(5)	= EIGENTUM DES LITERARISCHEN MUSEUM
Faks., Facs.	= Faksimile	St.(6)	= Johann Gottfried Richter
ganzs.	= ganzseitig	St.(7)	= LEIHbibliothek von R. HARTLEP
gedr.	= gedruckt	Titelbl.	= Titelblatt
gest.	= gestochen	Titelku.	= Titeltupfer
Goldpräg.	= Goldprägung	Titelvign.	= Titelvignette
Hldr.	= Halblederband	u. a.	= und andere, unter anderem
Hlwd.	= Halbleinwandband	umgearb.	= umgearbeitet
Hrsg.	= Herausgeber, herausgegeben	unveränd.	= unverändert
illumin.	= illuminiert	verb.	= verbessert
Illust.	= Illustration(en)	Vergold.	= Vergoldung
Jg.	= Jahrgang	verm.	= vermehrt
		Vign.	= Vignette(n)

I. LITERATUR

A. Sämtliche Werke

Goethe, Johann Wolfgang (von) (1749 - 1832)

- 1 Goethes Werke. Illustriert von ersten deutschen Künstlern. Hrsg. von H[einrich] Düntzer. Bd. 3 [der von 1882 - 1886 erschienenen fünfbändigen Ausgabe]. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt (vorm. E. Hallberger), o. J. 19 × 27 cm. XI, 470, (1) S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von C. Karger, E. Bosch, E. Wagner u.a. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) a.d.Vs.
Goedeke Bd. IV/3, S. 22, (§ 225, A, 6.) D. - Inhalt: Clavigo. Ein Trauerspiel. - Stella. Ein Trauerspiel. - Die Geschwister. Schauspiel in einem Akt. - Leiden des jungen Werthers. - Wilhelm Meisters Lehrjahre.
- 2 ———Bd. 4. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt, o. J. 19 × 27 cm. X, 472 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von E. Wagner, C. Karger, C. Brünner u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 3]. St. (3) a.d.Vs.
Inhalt: Wilhelm Meisters Wanderjahre oder die Entsagenden. Ein Roman. - Die Wahlverwandtschaften. Ein Roman. - Unterhaltungen deutscher Ausgewanderten. - Novelle. - Die guten Weiber. - Reise der Söhne Megabrazons. Fragmente.
- 3 ———Bd. 5. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt, o. J. 19 × 27 cm. XII, 532 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von C. Klimsch, K. Kögler, P. Grotiohann u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 3]. St. (3) a.d.Vs.
Inhalt: Aus meinem Leben. Wahrheit und Dichtung. - Reineke Fuchs.
- 4 Goethes sämtliche Werke. Neu durchgesehene und ergänzte Ausgabe in 36 Bänden. [Hrsg. von Wilhelm Vollmer.] Mit Einleitungen von Karl Goedeke. Bd. 1. Stuttgart, J. G. Cotta/Gebrüder Kröner, o.J. (1882 [- 1885]). 12 × 18 cm. 304 S. mit 1 Portr. des Dichters. OLwd. mit Rt. und Rvergold. Mit handschriftlicher Widmung. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/3, S. 17, (§ 235, A, 4.) V. - Die Widmung a.d.Vs. lautet: „Meinem lieben Pflegesohn Takanori Mōri von seiner deutschen Mutter. E. verw. Dr(?) Marggraff. Leipzig, September 1888.“ - Inhalt: Gedichte. Erster Theil.

Körner, Theodor (1791 - 1813)

- 5 Theodor Körner's sämtliche Werke. Hrsg. von Heinrich Laube. Illustrierte Pracht-Ausgabe. Bd. 1 [von 2]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, 1882. 19 × 27 cm. IV, 440 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils blattgr.) Illustr. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 844, 40. - Inhalt: Leyer und Schwert. - Nachtrag aus des Dichters Nachlasse. - Knospen. - Vermischte Gedichte. - Epische Fragmente. - Gelegenheits-Gedichte. - Unterlegte Texte zu gegebener Musik. - Nachtrag, Ungedrucktes. - Jugendscherze. - Räthsel, Charaden, Anagramme, Homonyme, Logographe, Palindrome. - Erzählungen. - Mündliche Erzählungen. - Zugabe. - Briefe.
- 6 ———Bd. 2. (Dramatische Werke.) Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, 1882. 19 × 27 cm. IV, 426 S. mit zahlr. (teils blattgr.) Illustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 844, 40 (mit falscher Jahresangabe: 1883). - Inhalt: Toni. - Die Sühne. - Zriny. - Hedwig. - Rosamunde. - Joseph Heyderich oder Deutsche Treue. - Die Braut. - Der grüne Domino. - Der Nachtwächter. - Der Vetter aus Bremen. - Die Gouvernante. - Das Fischermädchen oder Haß und Liebe. - Der vierjährige Posten. - Die Bergknappen. - Alfred der Große. - Der Kampf mit dem Drachen. - Die Blumen.

Lessing, Gotthold Ephraim (1729 - 1781)

- 7 Lessing's Werke. Hrsg. von Heinrich Laube. Illustrierte Pracht-Ausgabe. Bd. 1 [von 5]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, o.J. (1884). 19 × 27 cm. XIV, 424 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils blattgr.) Vign. und Textillustr. OLwd. mit reicher Rücken- und

Deckelgoldprägung. St. (3) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 346, 22. - *Inhalt: Lessing's Leben.* [Unterzeichn.:] Wien, 27. Mai 1882. *Heinrich Laube.* (S. III - XVI.) - *Sämmtliche Gedichte und Fabeln.* - *Lustspiele* [wie: *Damon.* - *Der junge Gelehrte.* - *Die Juden.* - *Der Misogyn.* - *Die alte Jungfer.* - *Der Freigeist.* - *Der Schatz.*].

- 8 ——— Bd. 4 und 5 [in 1 Bd.]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, o.J. (1884). 19 × 27 cm. II, 248; 279 S. mit zahlr. (teils blattgr.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.

Inhalt: (Bd. 4:) Laokoon. - *Sophokles. Erstes Buch.* - *Vom Alter der Oelmalerei aus dem Theophilus Presbyter.* - *Briefe antiquarischen Inhalts.* - (Bd. 5: unter anderem) *Abhandlungen über die Fabel.* - *Pope ein Metaphysiker.* - *Eine Duplik.* - *Eine Parabel.* - *Axiomata, wenn ...* - *Anti-Goeze. Das ist: Nothgedrungener Beiträge ...* - *Ernst und Falk. Gespräche für Freimäurer.* - *Wie die Alten den Tod gebildet. Eine Untersuchung.*

Schiller, Friedrich (von) (1759 - 1805)

- 9 Schillers Werke. Illustriert von ersten deutschen Künstlern. Hrsg. von J.G. Fischer. Bd. 1 [von 4]. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. XIX, 435 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von E. Klimsch, H. Kaulbach, W. Volz u.a. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Goedeke Bd. V, S. 147. - *Inhalt: Gedichte.* - *Semele.* - *Die Räuber. Ein Schauspiel.* - *Die Verschwörung des Fiesco zu Genua. Ein republikanisches Trauerspiel.* - *Kabale und Liebe. Ein bürgerliches Trauerspiel.*

- 10 ——— Bd. 2. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 447 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von H. Kaulbach, F. Keller, C. Häberlin u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Don Carlos, Infant von Spanien. Ein dramatisches Gedicht. - *Der Menschenfeind. Ein Fragment.* - *Wallenstein. Ein dramatisches Gedicht.* - *Maria Stuart. Ein Trauerspiel.* - *Die Jungfrau von Orleans. Eine romantische Tragödie.* - *Die Braut von Messina oder die feindlichen Brüder. Ein Trauerspiel mit Chören.*

- 11 ——— Bd. 3. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 450 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von W. Volz, C. Hammer, C. Gehrts u.a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Wilhelm Tell. Ein Schauspiel. - *Huldigung der Künste. Ein lyrisches Spiel.* - *Iphigenie in Aulis.* - *Scenen aus den Phönizierinnen des Euripides.* - *Macbeth. Ein Trauerspiel von Shakespeare.* - *Turandot, Prinzessin von China.* - *Der Parasit, oder die Kunst, sein Glück zu machen. Ein Lustspiel nach dem Französischen.* - *Der Neffe als Onkel. Lustspiel in drei Aufzügen. Aus dem Französischen des Picard.* - *Phädra. Ein Trauerspiel von Racine.* - *Nachlaß.* - *Prosaische Schriften.*

- 12 ——— Bd. 4. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 423 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von H. Knackfuß, C. Brünner, C. Häberlin u.a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Geschichte des Abfalls der Niederlande. - *Geschichte des dreißigjährigen Kriegs.* - *Herzog von Alba bei einem Frühstück auf dem Schlosse zu Rudolstadt im Jahr 1547.*

Shakespeare, William (1564 - 1616)

- 13 Shakespeare's sämmtliche Werke. Eingeleitet und übersetzt von A.W. Schlegel, Fr. Bodenstedt, N. Delius, F.A. Gelbcke, O. Gildemeister, P. Heyse u.a. Illustriert von John Gilbert. Bd. 1 [von 4]. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874 [bis 1875]). 19 × 27 cm. 1 Bl., XVIII, 506 (+1) S. mit 1 Portrait und zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. mit Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) a.d.T.

Inhalt: Shakespeare's Leben und Schaffen, von Friedrich Bodenstedt. (S. III - XVIII.) - *König Lear.* - *König Heinrich der Achte.* - *Antonius und Kleopatra.* - *Othello.* - *Zähmung*

- einer Widerspenstigen. - Cymbelin. - Die beiden Edelleute von Verona. - Die Komödie der Irrungen. - Das Wintermärchen.
- 14 ——— Bd. 2. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874/75). 19 × 27 cm. IV, 531 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Viel Lärmen um Nichts. - Coriolanus. - Verlorene Liebesmüh. - Troilus und Cressida. - Macbeth. - Maß für Maß. - Ende gut, Alles gut. - Titus Andronicus. - Romeo und Julia. - Die lustigen Weiber von Windsor.
- 15 ——— Bd. 3. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874/75). 19 × 27 cm. IV, 495 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Timon von Athen. - Perikles, Fürst von Tyrus. - König Johann. - König Richard der Zweite. - König Heinrich der Vierte. - König Heinrich der Fünfte. - König Heinrich der Sechste.
- 16 ——— Bd. 4. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1875). 19 × 27 cm. IV, 479 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.
Inhalt: König Richard der Dritte. - Julius Cäsar. - Was ihr wollt. - Der Kaufmann von Venedig. - Wie es euch gefällt. - Der Sturm. - Der Sommernachtstraum. - Hamlet. - Lyrische und epische Dichtungen.

B. Bühnendichtung

1. Dramatische Werke einzelner Autoren

Albrecht, Johann Friedrich Ernst (1752 - 1814)

- 17 — Neue Schauspiele. Für das Churfürstlich sächsische Hoftheater. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe von 1795]. Leipzig, A.G.Liebeskind, 1795. 11 × 16 cm. II, 160, 174, 112 S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 502, 41. - Inhalt: Die beschwerlichen Brüder. - Wilhelmine Relast. - Alle strafbar.
- 18 — (Bearb.) Der Domschütz und seine Gesellen. Schauspiel in 5 Aufzügen. Nach Cramers Roman bearbeitet. Hamburg, G.Vollmer, o.J. [1809]. 10 × 16 cm. 208 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 503, 83.

Amalie Marie Friederike Auguste, Herzogin zu Sachsen (1794 - 1870)

- 19 — (anonym) Original-Beiträge zur deutschen Schaubühne. Zum Besten des Frauenvereins zu Dresden. Bd. 1 [von 6]. Dresden und Leipzig, Arnold, 1836 [bis 1842]. 12 × 19 cm. II, 420 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Goedeke NF Bd. I, S. 214, 37; Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 91, 2983. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Lüge und Wahrheit. Schauspiel in vier Aufzügen. - Die Braut aus der Residenz. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Der Oheim. Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 20 — Bd. 2. Dresden und Leipzig, Arnold, 1837. 12 × 19 cm. II, 438 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 2; Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 132, 4452. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Fürstenbraut. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Landwirth. Lustspiel in vier Aufzügen. - Der Verlobungsring. Lustspiel in vier Aufzügen.
- 21 — Bd. 3. Dresden und Leipzig, Arnold, 1838. 12 × 19 cm. 443, (3) S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 3; Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 434, 13506. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Zögling. Lustspiel in vier Aufzügen. - Vetter Heinrich. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Unentschlossene. Lustspiel in 4 Aufzügen. (Neu bearbeitet.)

22 — Bd. 4. Dresden und Leipzig, Arnold, 1839. 11 × 18 cm. II, 454 S. Hldr. St. (1), (3) a. d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 4; Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 107, 3475. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Majorratserbe. Lustspiel in vier Aufzügen. - Der Pflegevater. Schauspiel in vier Aufzügen. - Das Fräulein vom Lande. Lustspiel in fünf Aufzügen.

23 — Bd. 5. Dresden und Leipzig, Arnold, 1841. 12 × 19 cm. II, 398 S. Ppbd. St. (1) a. d. T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 5; Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 252, 7941. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Unbelesene. Lustspiel in vier Aufzügen. - Die Stieftöchter. Lustspiel in vier Aufzügen. - Pflicht und Liebe. Schauspiel in zwei Aufzügen.

24 — Bd. 6. Dresden und Leipzig, Arnold, 1842. 11 × 19 cm. II, 408 S. Ppbd. St. (1) a. d. T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 6. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Capitain Firnewald. Lustspiel in vier Aufzügen. - Die Heimkehr des Sohnes. Schauspiel in vier Aufzügen. - Folgen einer Gartenbeleuchtung. Lustspiel in drei Aufzügen.

Andersen, Hans Christian (1805 - 1875)

25 — *Raphaella*. Tragödie in fünf Acten. Leipzig, C.B.Lorck, 1847. 11 × 16 cm. 116 S. [= Vom Verfasser selbst besorgte gesammelte Werke. Bd. 22.] Hldr. St. (1) a. d. T.

Angely, Louis (1787 - 1835)

26 — *Paris in Pommern, oder Die seltsame Testaments-Klausel*. Vaudeville-Posse in 1 Act und mit bekannten Melodien versehen. Berlin, L.Fernbach, 1840. 11 × 17 cm. 77 S. mit kolor. Titelbild. Kart. St. (1) a. d. T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 449, 4a; Hirschberg S. 22; Wilpert S. 16. - Erste Ausgabe.

Apel, Johann August (1771 - 1816)

27 — (anonym) *Kunz von Kauffung*. Trauerspiel in fünf Akten. Leipzig, C.G.Weigel, 1809. 13 × 21 cm. 186 S. Kart., ohne Vorderdeckel. St. (2) a. d. T.

Goedeke Bd. VI, S. 460, 6; Hirschberg S. 23; Wilpert/Gühning S. 21, 4 (irrig: „Kunz von Kauffungen“ bei diesen Bibliographien, verwechselt (?) mit dem gleichbetitelten Schauspiel von Joseph Alois Gleich, das 1808 in Wien bei Wallishausser erschien). - Eine andere, auch 1809 in Dresden und Leipzig bei Arnold erschienene Ausgabe trug den Titel: Kunz von Kaufung, und hier Apel als Verfasser mit Namen. Vgl. Arnoldsche Verlagsanzeige 1838 [wie oben Nr. 21].

Artner, Maria Therese von (1772 - 1829)

28 — *Die That*. Trauerspiel in fünf Akten. Der Schuld von Adolf Müllner erster Theil. Leipzig, Hartleben, 1817. XII, 214, (2) S. Hldr. St. (2) a. d. T.

Goedeke Bd. VII, S. 79, 9; Hirschberg S. 28.

Auerbach, Berthold (1812 - 1882)

29 — *Andree Hofer*. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G.Wigand, 1850. 13 × 20 cm. 165 S. Hldr. St. (1) a. d. T.

Goedeke NF. Bd. I, S. 488, 211; Wilpert/Gühning S. 31, 12. - Erste Ausgabe.

Auffenberg, Joseph Freyherr von (1798 - 1857)

30 — *König Erich*. Ein Trauerspiel in fünf Acten. Bamberg und Würzburg, Goebhardt, 1820. 12 × 18 cm. II, 234 S. Hldr. St. (2) a. d. T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 200, 6; Wilpert/Gühning S. 33, 5. - Erste Ausgabe.

Aurbacher, Ludwig (1784 - 1847)

- 31 — Dramatische Versuche. München, J.Lindauer, 1826. 13 × 21 cm. 288 S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.
Goedeke Bd. XII, S. 551, 24; Wilpert/Gühning S. 35, 26. - Erste Ausgabe. - Enthält: Fürstenweihe. - Fürstenkampf. - Fürstensieg.

Babo, Joseph Marius von (1756 - 1822)

- 32 — Otto von Wittelsbach, Pfalzgraf in Bayern. Ein vaterländisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin und Leipzig, o.Verl., 1782. 10 × 17 cm. VIII, 216 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Lengenfelder, Johann Nepomuk (1753 - 1783) (anonym), Ludwig der Vierte, genannt der Bajer. Ein Nationalschauspiel in fünf Aufzügen. Verbes. vom Verfasser selbst besorgte Ausgabe. München, J.A.v. Crätz, 1782. 120 S.
(Zu Babo:) Als Erstausgabe gibt Wilpert/Gühning (S. 38, 10) die 1782 in München bei Strobl erschienene Ausgabe an. - (Zu Lengenfelder:) Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 91, 2971; Goedeke Bd. V, S. 359, 24, 3.
- 33 — Otto von Wittelsbach. Schauspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Voß, 1793. Neue verb. und rechtmäßige Aufl. 11 × 17 cm. II, 182 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 262, 4, 7.

Bärmann, Georg Nikolaus (1785 - 1850)

- 34 — Alexander von Soltwedel oder der Hansa Begründung. Ein vaterländisches Schauspiel in 4 Acten. Mit einem Vorbericht und Anmerkungen. Bremen, J.G.Heyse, 1817. 11 × 16 cm. 128 S. mit Titelvign. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 398, 2; Hirschberg S. 33. - Erste Ausgabe.
- 35 — Die glücklichen Bettler. Ein tragikomisches Maskenspiel in fünf Aufzügen. Frei nach dem Italienischen des Carlo Gozzi für die deutsche Bühne bearbeitet. Leipzig, Chr.E. Kollmann, 1819. 11 × 16 cm. II, 162 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 398, 4; Hirschberg S. 33 - Erste Ausgabe.

Beck, Heinrich (1760 - 1803)

- 36 — Das Herz behält seine Rechte. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Auf der Mannheimer Nationalbühne den 25. Oktober 1787 zum erstenmal aufgeführt. Berlin, G.J.Decker und Sohn, 1788. 11 × 17 cm. 117 S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Kaffka (eig. Engelmann), Johann Christoph (1754 - 1815), Sechs Freyer und keine Braut. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Magdeburg, J.V.Hessenland, 1787. 190 (+ 1) S.
(Zu Beck:) Goedeke Bd. V, S. 290, 13. - Erste Ausgabe. - (Zu Kaffka:) Goedeke Bd. V, S. 262, 4. - Erste Ausgabe.
- 37 — Die Schachmaschine. Lustspiel in vier Aufzügen. Nach dem Englischen frey bearbeitet. Berlin, J.Fr.Anger, 1798. Rechtmäßige Aufl. 12 × 18 cm. 197 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 291, 13, 8.

Beck, Karl Isidor (1817 - 1879)

- 38 — Saul. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, L.H.Bösenberg, 1841. 12 × 18 cm. IV, 140, (2) S. Br. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 159; Wilpert S. 51.

Beer, Michael (1800 - 1833)

- 39 — Struensee. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Zum Erstenmale dargestellt auf dem königlichen Theater zu München den 27. März 1828. Stuttgart und Tübingen, Cotta, 1847. Zweite mit einem Nachtrag vermehrte Auflage. 12 × 18 cm. XII, 207 S. OLwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.

Beil, Johann David (1754 - 1794)

- 40 — Die Gauner. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 190 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Curt von Spartau. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. II, 128 S.
(Zu „Die Gauner“:) Goedeke Bd. V, S. 289, 11, 1 (Erstausgabe unter dem Titel: *Die Spieler, Mannheim 1785*). - (Zu „Curt“:) Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 5.
- 41 — Sämmtliche Schauspiele. Bd. 1 [von 2]. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 160, 190, 48 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 8; Hirschberg S. 44; Meyer Bd. 1, S. 35. - Inhalt: *Die Familie Spaden. Lustspiel in vier Aufzügen*. - *Die Gauner*. - *Dietrich von Ruben. Ein Lustspiel in einem Aufzuge*.
- 42 — Bd. 2. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 159, 128, 128 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Inhalt: *Liebe um Laune. Ein Originallustspiel in drey Aufzügen*. - *Curt von Spartau*. - *Die Freystatt müder Pilger. Ein Schauspiel in vier Aufzügen*.
- 43 — Bettelstolz. Ein Original-Lustspiel in fünf Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1797. 10 × 16 cm. II, 182 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Anonymus, Die holländische Sauce. Eine lauchstädtische Badegeschichte. Halle, gedr. bei Fr.W.Michaelis, 1782. X, 84 S. Zueignung an F. Gäde. Halle, 1782. Unterz.: K.F. Mr.
(Zu „Bettelstolz“:) Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 4 (Erstausgabe unter dem Titel: *Armuth und Hoffahrt, Berlin 1789*). - (Zu „Sauce“:) Goedeke Bd. IV/2, S. 746, 175.
- 44 — Die Einöde. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Mannheim, T.Loeffler, 1809. 12 × 19 cm. 91 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 6 (Erstausgabe: *Münster 1791*).

Benedix, Julius Roderich (1811 - 1873)

- 45 — Gesammelte dramatische Werke. Bd. 1 [der 27bändigen Ausgabe von 1846 - 1875]. Leipzig, J.J.Weber, 1846. 11 × 17 cm. XII, 310, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 180; Hirschberg S. 44; Kosch Bd. I, Sp. 386 f.; Wilpert S. 55. - Inhalt: *Die Männerfeindinnen. Lustspiel in fünf Aufzügen (1836 - 1837)*. - *Das bemooste Haupt oder Der lange Israël. Schauspiel in vier Aufzügen (1838)*. - *Die Sklaven. Drama in drei Aufzügen (1838)*.
- 46 — Bd. 5 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1849. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 118, 151 - 244 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält zwei Dramen: *Die Banditen. Ein Lustspiel in vier Aufzügen (1847)*. - *Die Sündenböcke. Lustspiel in drei Aufzügen (1848)*.
- 47 — Bd. 5 (b). 11 × 17 cm. S. 119 - 150 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: *Eigensinn. Lustspiel in einem Aufzuge (1847)*.
- 48 — Bd. 6. Leipzig, J.J.Weber, 1851. 11 × 17 cm. IV, 275 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Lügnerin. Lustspiel in einem Aufzuge (1848)*. - *Die Pensionärin. Lustspiel in drei Aufzügen*. - *Der Kaufmann. Schauspiel in fünf Aufzügen (1849)*.
- 49 — Bd. 8. Leipzig, J.J.Weber, 1854. 11 × 17 cm. II, 338 S. Hldr. St. (5) a.d.T.
Inhalt: *Die Künstlerin. Lustspiel in einem Aufzuge (1851)*. - *Angela. Liederspiel in einem Aufzuge (1851)*. - *Das Gefängniß. Lustspiel in vier Aufzügen (1851)*. - *Der Sänger. Liederspiel in einem Aufzuge (1852)*. - *Die Phrenologen. Lustspiel in einem Aufzuge (1852)*. - *Das Lügen. Lustspiel in drei Aufzügen (1852)*.
- 50 — Bd. 10. Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. II, 319 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

- Inhalt: Oben wie Unten. Lustspiel in zwei Abteilungen. - Die alte Jungfer. Lustspiel in vier Aufzügen. - Das Concert. Lustspiel in vier Aufzügen (1854).*
- 51 — Bd. 11. Leipzig, J.J.Weber, 1859. 11 × 17 cm. II, 286, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Auf dem Lande. Lustspiel in vier Aufzügen (1855). - Die Gesellschafterin. Schauspiel in drei Aufzügen (1855). - Die Schuldbewußten. Lustspiel in drei Aufzügen (1857).
- 52 — Bd. 12. Leipzig, J.J.Weber, 1860. 11 × 17 cm. II, 260 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Ohne Paß. Lustspiel in einem Aufzuge (1859). - Junker Otto. Lustspiel in vier Aufzügen (1859). - Die Stiefmutter. Schauspiel in drei Aufzügen (1859). - Nein. Lustspiel in einem Aufzuge (1860). - Das Dienstmädchen. Genrebild (1860). - Die Großmutter. Genrebild (1860).
- 53 — Bd. 13. Leipzig, J.J.Weber, 1861. 11 × 17 cm. II, 316 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Pasquillanten. Lustspiel in vier Aufzügen (1860). - Wallrade. Drama in vier Aufzügen (1860). - Eine Fuchshetze. Posse in sechs Bildern (1860).
- 54 — Bd. 15 (b). Leipzig, J.J.Weber, 1863. 11 × 17 cm. S. 135 - 245 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Crinolinen-Verschwörung. Lustspiel in drei Aufzügen (1861).
- 55 — Bd. 15 (c). 11 × 17 cm. S. 247 - 335 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Brandenburgischer Landsturm. Historisches Lustspiel in vier Aufzügen (1862).
- 56 — Bd. 16 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1863. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 111 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Fremden. Lustspiel in drei Aufzügen (1862).
- 57 — Bd. 16 (b). 11 × 17 cm. S. 113 - 235 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Gegenüber, Lustspiel in drei Aufzügen (1862). - Der Phlegmatikus, Lustspiel in einem Aufzuge (1862).
- 58 — Bd. 16 (c). 11 × 17 cm. S. 237 - 320 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Prüfung, Vorspiel in einem Aufzuge (1862). - Der Mädchen Waffen, Vorspiel in einem Aufzuge (1862). - Günstige Vorzeichen, Lustspiel in einem Aufzuge (1862).
- 59 — Bd. 17 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1864. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 96 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Verlobung, Schauspiel in drei Aufzügen.
- 60 — Bd. 17 (b). 11 × 17 cm. S. 97 - 200 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Sammelwuth, Lustspiel in drei Aufzügen (1863).
- 61 — Bd. 17 (c). 11 × 17 cm. S. 201 - 308 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Der Dritte, Vorspiel in einem Aufzuge (1863). - Die Pflgetöchter, Lustspiel in drei Aufzügen (1863).
- 62 — Bd. 19. Leipzig, J.J.Weber, 1866. 11 × 17 cm. II, 360 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Doktor Treuwald, Lustspiel in vier Aufzügen (1864). - Herrschsucht, Lustspiel in drei Aufzügen (1865). - Die zärtlichen Verwandten, Lustspiel in drei Aufzügen (1865).
- 63 — Bd. 22 (b). Leipzig, J.J.Weber, [um 1869]. 11 × 17 cm. S. 115 - 220 [unvollständig = wahrscheinlich das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Der achtundachtzigste Geburtstag, Familienbild in drei Aufzügen (1868).
- 64 — Gesammelte dramatische Werke. 2. unveränd. Aufl. Bd. 2 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 71, 295 - 327 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Sonntagsjäger, Lustspiel in einem Aufzuge (1839). - Der Weiberfeind, Lustspiel in einem Aufzuge (1843).

- 65 ——— Bd. 2 (b). Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. S. 73 - 160 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St.(1) a.d.T.
Enthält: Die Mode, Lustspiel in drei Aufzügen (1840).
- 66 ——— Bd. 8. Leipzig, J.J.Weber, 1859. 11 × 17 cm. II, 338 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Die Künstlerin (1851). - Angela (1851). - Das Gefängnis (1851). - Der Sänger (1852). - Die Phrenologen (1852). - Das Lügen (1852).
- 67 — Gesammelte dramatische Werke. 2. Aufl. Bd. 15. Leipzig, J.J.Weber, 1874. 11 × 17 cm. II, 336 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Der Störenfried, Lustspiel in vier Aufzügen (1861). - Die Crinolinen-Verschwörung (1861). - Brandenburgischer Landsturm (1862).
- 68 — Gesammelte dramatische Werke. 3. Aufl. Bd. 9. Leipzig, J.J.Weber, 1874. 11 × 17 cm. II, 305 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Mathilde, Schauspiel in vier Aufzügen (1852). - Ein Lustspiel, Lustspiel in vier Aufzügen (1853). - Paula, Drama in drei Aufzügen (1853).
- 69 — Haustheater. Sammlung kleiner Lustspiele für gesellige Kreise. Leipzig, J.J.Weber, 1862. 11 × 17 cm. [II, 418 S.](a) S. I - II; 1 - 92 [unvollständig = das erste Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 181; Kosch Bd. I, Sp. 386; Wilpert S. 55. - Erste Ausgabe dieser Sammlung. - Enthält: Der Weiberfeind. - Unerschütterlich, Lustspiel in einem Aufzuge. - Entsagung, Lustspiel in einem Aufzuge. - Eigensinn.
- 70 — (b). 11 × 17 cm. S. 93 - 224 [unvollständig = das zweite Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Der Proceß, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Lügnerin. - Die Eifersüchtigen, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Hochzeitsreise, Lustspiel in zwei Aufzügen.
- 71 — (b). 11 × 17 cm. S. 93 - 224. Hldr. St. (1) a.d.T.
- 72 — (c). 11 × 17 cm. S. 225 - 306 [unvollständig = das dritte Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Künstlerin. - Die Phrenologen. - Angela. - Der Sänger.
- 73 — (c). 11 × 17 cm. S. 225 - 306. Hldr. St. (1) a.d.T.
- 74 — (d). 11 × 17 cm. S. 307 - 418 [unvollständig = das letzte Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Dienstboten. - Nein. - Das Dienstmädchen. - Die Großmutter. - Ohne Paß.

Bering, Rudolf (•••• - ••••)

- 75 — Die Goldmine. Ein Schauspiel in 3 Aufzügen. Aus dem Holländischen ins Deutsche vom Verfasser übertragen. Leipzig, o. Verl., 1887. 17 × 22 cm. VI, 84 S. Marmor. Privat-Hlwd. St. (3) a.d.Vs.

Berthold, P. (? - ?)

- 76 — Soppo oder der leukadische Fels. Eine Komödie. Lemberg, C.G.Pfaff, 1822. 11 × 16 cm. 159, (1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 395, v; Bd. XI/1, S. 286, 4, 1. - Erste Ausgabe.

Bertuch, Heinrich Friedrich Christian (1771 - 1828)

- 77 — (anonym) Clara oder der Triumph der ersten Liebe. Ein Schauspiel in fünf Akten. Zerbst, A.Füchsel, 1794. 11 × 18 cm. II, 108 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 439, 9, 1. - Erste Ausgabe der ersten Veröffentlichung Bertuchs.
- 78 — Alexei Petrowitsch. Ein romantisch-historisches Trauerspiel in fünf Akten. Gotha, C.Steudel, 1812. 11 × 18 cm. XVI, 151 (+1) S. Mit Druckfehlerverzeichnis. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 439, 9, 6. - Erste Ausgabe.

Bilderbeck, Ludwig Franz Freyherr von (1764 - 1833)

- 79 — Schauspiele. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe von 1801]. Leipzig, Voß und Comp., 1801. 11 × 18 cm. S. 1 - 283 [nicht vollständig]. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 5; Hirschberg S. 50; Meyer Bd. 1, S. 44. - Enthält: Herzensgüte. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. - Erste Liebe. Ein Nachspiel in einem Aufzuge. - Das Manuscript. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. - Es fehlt ein Stück: Kleider machen Leute.
- 80 — Die Liebe in Spanien. Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, G.Voß, 1806. 11 × 17 cm. 136 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 10. - Erste Ausgabe.
- 81 — Das Vaterherz. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G. Voß, 1806. 12 × 19 cm. 152 S. Kart. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 11. - Erste Ausgabe.
- 82 — Das Vaterherz. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G.Voß, 1806. 12 × 19 cm. 152 S. Kart. St. (2),(3) a.d.T.
- + Angeb.: Schütze, Stefan (1771 - 1839), Die Journalisten. Lustspiel in einem Aufzuge. Leipzig, G.Voß, 1806. 88 S.
- + Angeb.: Bilderbeck, L.F.Freyherr von, Die Liebe in Spanien. Leipzig, G.Voß, 1806. 136 S. (Zu Schütze:) *Goedeke Bd. IX, S. 320, 5; Hirschberg S. 464. - Erste Ausgabe.*

Blech, Abraham Friedrich (1762 - 1830)

- 83 — (anonym) Johanna die Erste. Ein Trauerspiel in fünf Akten. Mit einem Anhang: Geschichte Johanna der Ersten, Königin von Neapel. Königsberg, Fr. Nocolvius, 1808. 11 × 17 cm. 206 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 333, 11088; Goedeke Bd. IV, S. 451, 31, 4. - Erste Ausgabe.

Blum, Carl Wilhelm August (auch: Carl Ludwig) (1786 - 1844)

- 84 — Theater. Bd. 1 [der vierbändigen Ausgabe von 1839 - 1844]. Berlin, Schlesinger, 1839. 11 × 18 cm. VIII, 285, (3) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 475, 70; Hirschberg S. 52. - Inhalt: Das laute Geheimniß. Romantisches Lustspiel in 5 Aufzügen, frei nach Carlo Gozzi bearbeitet. - Der Ball zu Ellerbrunn. Lustspiel in drei Aufzügen.
- 85 — Bd. 2. Berlin, Schlesinger, 1841. 11 × 18 cm. IV, 312, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Herrin von der Else, Schauspiel in fünf Aufzügen. (Frei nach der Idee des Sheridan Knowles.) - Ich bleibe ledig. Lustspiel in drei Aufzügen. (Nach der Idee des Alberto Nota.)

Bonin, Christian Friedrich Anselm Ferdinand von (1755 - 1813)

- 86 — (anonym) Blanfurt und Wilhelmine. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Breslau und Leipzig, Chr.Fr.Gutsch, 1779. 11 × 15 cm. II, 64 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta I, 246, 7066. - Bei Goedeke (Bd. V, S. 382, 3. 4) sowie Hirschberg (S. 59) statt Blanfurt Blanfort. - Erste Ausgabe.

Brachvogel, Albert Emil (1824 - 1878)

- 87 — Narciss. Ein Trauerspiel. 2. Aufl. Leipzig, H.Costenoble, 1860. 10 × 14 cm. 158 S. Hldr. St. (1),(3) a.d.T.
Hirschberg S. 63; Wilpert/Gühning S. 130, 3 (Erstausgabe: Jena 1857).

Brandes, Johann Christian (1735 - 1799)

- 88 — Hans von Zanow oder: Der Landjunker in Berlin. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. Hamburg, C.E.Bohn, 1785. 10 × 16 cm. VIII, 136 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
- + Angeb.: Weiße, Christian Felix (1726 - 1804), Der Fanatismus, oder: Jean Calas, Ein

historisches Schauspiel in fünf Aufzügen. Mit einem Anhang: Kurze Geschichte vom Tode des Jean Calas. Leipzig, Dyk, 1780. 200 S.

(Zu Brandes:) *Wilpert/Gühning S. 134, 9.* - Goedeke (Bd. VII, S. 566, 122) gibt eine 1785 in Hamburg bei Campe erschienene Ausgabe an. - (Zu Weiße:) *Wilpert/Gühning kennt diese Ausgabe nicht und gibt eine spätere Ausgabe (Frankfurt a.M., Jenisch, 1785) als Erstausgabe an. Vgl. S. 1368, 89.*

- 89 — Sämtliche dramatische Schriften. Bd. 5 [der achtbändigen Ausgabe von 1790 - 1791]. Hamburg 1790. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XVI, 98, 93, 130 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 146, 6; Hirschberg S. 64; Wilpert/Gühning S. 134, 11. - Inhalt: *Was dem Einen recht ist, ist dem Andern billig. Lustspiel in drey Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1782.* - *Die Mediceer. Schauspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1775.* - *Die Erbschaft, oder: Der junge Geizige. Lustspiel in vier Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1780.*

- 90 — Bd. 6. Hamburg 1790. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XXIV, 142, 190, 21 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Der Gasthof, oder: Trau, schau wem! Lustspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1769. - *Unbesonnenheit und Irrthum. Schauspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1789.* - *Ino. Melodrama in einem Aufzuge. Verfertigt im Jahr 1777.*

- 91 — Bd. 7. Hamburg 1791. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XVI, 158, 147, 67 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Otilie. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1779. - *Der Hagestolze, oder: Wie man's treibt, so geht's! Lustspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1771.* - *Die Irrthümer. Komödie in Einem Aufzuge. Verfertigt im Jahr 1786.*

- 92 — Bd. 8. Hamburg 1791. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XXIX, 142, 187, 122 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Der Schiffbruch. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1765. - *Der Landjunker in Berlin, oder: Die Ueberlästigen. Komödie in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1785.* - *Die Komödianten in Quirlequitsch. Komödie in drey Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1770.*

Braun, F.C. (? - ?)

- 93 — Ferdinand und Elise, oder Rückkehr von der Schwärmerey zur Vernunft. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Heidelberg, F.L.Pfähler, 1789. 10 × 17 cm. VII, 160 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Kaffka (eig. Engelmann), Johann Christoph (1754 - 1815), *Wer ist nun betrogen? oder der spanische Bräutigam.* Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. (Auf der Breslauer Bühne zum erstenmal aufgeführt den 12. Dez. 1788.) Breslau, Chr. Fr. Gutsch, 1789. 142 S.

(Zu Braun:) *Goedeke Bd. V, S. 369, 17, 1.* - *Erste Ausgabe.* - (Zu Kaffka:) *Goedeke Bd. VIII, S. 460, 5, 7.* - *Erste Ausgabe.*

Braun von Braunthal, Karl Johann (1802 - 1866)

- 94 — (anonym) Faust. Eine Tragödie. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1835. 12 × 19 cm. IV, 152 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Brümmer Bd. I, S. 334; Hirschberg S. 64.

Brentano, Clemens Maria (1778 - 1842)

- 95 — Viktoria und ihre Geschwister mit fliegenden Fahnen und brennender Lunte. Ein klingendes Spiel (in zwei Aufzügen). Berlin, Maurer, 1817. 11 × 17 cm. XVI, 223 (+1) S. mit 1 Titeltupfer und 3 Musikbeilagen. Mit Erklärung einiger Volksausdrücke aus der österreichischen Mundart, welche in diesem Festspiel vorkommen (S. 216 - 213). Hldr. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 61, 31; Hirschberg S. 66; Wilpert/Gühning S. 148. - *Erste Ausgabe.*

Bretzner, Christoph Friedrich (1748 - 1807)

96 — Der Geisterbeschwörer. Ein Trauerspiel in drey Akten. Leipzig, Fr.G.Jacobäer, 1790. 10 × 16 cm. 114 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Anonymus, Edinhard und Adelheid. Ein Schauspiel in drey Akten. Aufgeführt am Eichberge bey Sonnenberg, an dem Geburtsfeste der Durchlauchtigst regierenden Herzogin zu Sachsen Coburg-Meiningen, Frau Louisen Cleonoren, den 11. Aug. 1789. Meiningen, J.G.Hanisch, o. J. 62 S.

(Zu Bretzner:) *Goedeke Bd. IV/1, S. 662, 21, 12; Hirschberg S. 64. - Erste Ausgabe.*

97 — Die Erbschaft aus Ostindien. Ein Lustspiel in vier Akten. Leipzig, Fr.G.Jacobäer, 1796. 10 × 16 cm. 163 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Schauspieler Schouwärt (Pseud.), Die Ueberschwemmung. Ein Schauspiel in drey Akten. Frankfurt am Mayn, o. Verl., 1784. 105 S.

(Zu Bretzner:) *Goedeke Bd. IV/1, S. 661, 21, 3e.*

Bruckbräu, Friedrich Wilhelm (1792 - 1874)

98 — Maria von Brabant. Ein historisch-romantisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1824. 11 × 16 cm. VIII, 189 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, S. 317, 7; Hirschberg S. 68 - Erste Ausgabe.

Bulwer, Edward George, Baron Lytton of Knebworth (1803 - 1873)

99 — Das Mädchen von Lyon, oder Liebe und Stolz. Ein Schauspiel in fünf Akten. Aus dem Englischen von Otto von Czarnowsky. Aachen und Leipzig, J.A.Mayer, 1838. 12 × 18 cm. XVIII, 161 S. Br. St. (1) a.d.T.

100 — Richelieu, oder die Verschwörung. Trauerspiel in fünf Akten. Aus dem Englischen nach der achten Auflage übersetzt von Ludwig Braunfels. Aachen und Leipzig, J.A. Mayer, 1839. 11 × 18 cm. X, 229 S. [=E. L. Bulwer's sämtliche Werke. Bd. 36.] Br. St. (1) a.d.T.

Burchard, Friedrich Gottlieb Julius (Pseud.: Max Roller) (1767 - 1807)

101 — (Pseud.) Graf von Santa Vecchia. Gemählde der Schwärmereyen des achtzehnten Jahrhunderts in fünf Aufzügen. Berlin, Franke, 1792. 10 × 16 cm. IV, 143 S. Ppbd. St. (2),(6) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 385, 18, 1.

Byron, George Gordon Lord (1788 - 1824)

102 — Manfred. Dramatisches Gedicht (in drei Akten). Frei übersetzt von Adolf Seubert. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1883]. 9 × 14 cm. 47, (12) S. Lwd. [=Reclams UB. Miniatúrausgabe]. St. (3) a.d.T.

Castelli, Ignaz Vincenz Franz (1781 - 1862)

103 — Raphael. Ein historisches Lustspiel in Alexandrinern und einem Aufzuge. Wien, A. Strauß, 1810. 12 × 20 cm. 67 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/2, S. 48, 31; Wilpert/Gühning S. 177, 20. - Erste Ausgabe.

104 — Dramatisches Sträußchen für das Jahr 1824. Jg. 9. Wien, J.B.Wallishausser, 1824. 10 × 12 cm. VI, 262, (5) S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 129, 14 bzw. Bd. XI/2, S. 44 f. sowie S. 59, 105; S. 60, 108 u. 107; Wilpert/Gühning S. 177, 17. - Erste Ausgabe. - „Dramat. Sträußchen“ [Jg. 1 - 20, Wien, Wallishausser, 1809, 1817 - 1835] enthält mit Ausnahme des Jg. 1 nur Werke von Castelli. - Inhalt des Jg. 9: Gabriele. Drama in drey Aufzügen. Nach der Valerie der Herren Scribe und Melesville. - Die junge Tante. Lustspiel in einem Aufzuge. Nach Melesville. - Emmy Teels. Drama in drey Aufzügen. Nach Pixerecourt.

Caspar, Franz Xaver von (1772 - 1833)

- 105 — Aventin. Ein historisches Drama in 3 Acten. Leipzig, J.Fr.Glück, 1825. 11 × 18 cm. VIII, 131 S. Mit Anmerkungen. Ein Titelkupfer fehlt. Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten. *Goedeke Bd. VII, S. 173, 20, 4 - Erste Ausgabe.*

Collin, Heinrich Joseph von (1771/72 - 1811)

- 106 — Coriolan. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, o.Verl., 1804. 13 × 21 cm. 120 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Es handelt sich um den bei Goedeke Bd. VI, S. 106 unter Nr. 3 aufgeführten Nachdruck. [Erstausgabe: Berlin, J.Fr. Unger, 1804.] - Vgl. Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 3.

- 107 — Balboa. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, J.F.Unger, 1806. 18 × 21 cm. II, 131 S. Kart. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 106, 5; Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 5. - Erste Ausgabe.

Collin, Matthäus Casimir von (1779 - 1824)

- 108 — Dramatische Dichtungen. Bd. 1 [der vierbändigen Ausgabe von 1813 - 1817]. Pesth, K.A.Hartleben, 1813. 11 × 17 cm. X, 238 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 108, [§ 228, 4,] 3, a - c; Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 4. - Inhalt: Der Tod Friedrich des Streitbaren. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Der Cid. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen nach Corneille.

- 109 — Bd. 2. Pesth, K.A.Hartleben, 1813. 11 × 17 cm. II, 257 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke ebenda, d - e. - Inhalt: Annius und die Legionen. Vorspiel zu Marius. - Marius. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Calthon und Colmal. Ein lyrisches Schauspiel in drey Aufzügen.

- 110 — Bd. 3. Pesth, K.A.Hartleben, 1817. 11 × 17 cm. II, 316 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke ebenda, f - h. - Inhalt: Bela's Krieg mit dem Vater. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die feindlichen Söhne (im Titelbl. fälschl. Kurztitel: Die feindlichen Brüder.) Schauspiel in drei Aufzügen. - Der Tod Heinrich des Grausamen. Trauerspiel in einem Aufzuge.

Cords, G. (•••• - ••••)

- 111 — (Bearb.) Die beiden Grenadiere, Lustspiel in drei Akten. Nach dem Französischen frei bearbeitet. Berlin, Fr.Braunes, 1811. 11 × 19 cm. II, 174 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Cramer, Carl Friedrich (1752 - 1807)

- 112 — (anonym) Die Leidenschaften. Eine Reihe dramatischer Gemälde nach dem Englischen von Joanna Baillie. Theil 2 [von 3]: Der Haß. [Amsterdam und Leipzig, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1806.] 12 × 20 cm. 400 S. [unvollständig]. Es fehlt: Titelbl.; S. 65 - 112 [=Bg. 5 - 7]. Kart. St. (2) auf S. 1.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40 bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1. - Inhalt: De Monfort [, oder die Folgen des Hasses]. Ein Trauerspiel in fünf Acten. - Die Wahl. Ein Lustspiel in fünf Acten.

- 113 — (anonym) Die Probe. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 10 × 18 cm. II, 198 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 1 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40b bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1b. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 302, 9846; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 16.

- 114 — (anonym) De Montfort, oder die Folgen des Hasses. Ein Lustspiel des Hasses. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 10 × 18 cm. II, 198 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 2 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40c bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1c. (Einzeldruck: erstmals 1808.)

- 115 — (anonym) Die Wahl. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 11 × 18 cm. II, 202 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 2 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40d bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1d. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 366, 11401; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 17.

- 116 — (anonym) Die zweythe Heirath. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 12 × 18 cm. II, 216 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 3 (1806).] Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40f bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1f. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 274, 9141; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 15.

David, H. I. (•••• - ••••)

- 117 — Eine Nacht auf Wache. Vaudeville in einem Aufzuge. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1838. 12 × 17 cm. VI, 78 S. mit Titelvign. Br. St. (1) a.d.T.

Decker, Thomas (ca. 1572 - ca. 1640)

- 118 — Fortunatus und seine Söhne, eine Zauber-Tragödie. Aus dem Englischen von Fr. W. Schmidt. Berlin, Voß, 1819. 10 × 16 cm. II, 225 (+1) S. Mit einem Anhang ähnlicher Märchen dieses Kreises, und einer Abhandlung über die Geschichte von Fortunatus. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Hirschberg S. 97. - Erste Ausgabe.

Deinhardstein, Johann Ludwig Ferdinand (1794 - 1859)

- 119 — Hans Sachs. Dramatisches Gedicht in vier Acten. (Zum ersten Mahle aufgeführt am k. k. Hof-Theater nächst der Burg, den 4. Okt. 1827.) Wien, Armbruster, 1829. 12 × 19 cm. XVI, 140 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 95, 31; Hirschberg S. 98; Wilpert/Gühning S. 218, 8. - Erste Ausgabe.

Devrient, Philipp Eduard (1801 - 1877)

- 120 — Dramatische und dramaturgische Schriften. Bd. 1 - 2 (der zehnbändigen Ausgabe von 1846 - 1874). 2 Bde. in 1 Bd. Leipzig, J.J. Weber, 1846. 11 × 17 cm. IV, 322; IV, 352 S. Lwd. St. (3) a.d.T.

Hirschberg S. 100; Wilpert/Gühning S. 222, 10. - Inhalt: (Bd. 1:) Das graue Männlein. Schauspiel in fünf Akten (1833). - Die Gunst des Augenblicks. Lustspiel in drei Akten (1835). - Hans Heiling. Romantische Oper in drei Akten nebst einem Vorspiele (1827). - (Bd. 2:) Die Verirrungen. Ein bürgerliches Schauspiel in fünf Akten (1837). - Der Fabrikant. Schauspiel in drei Aufzügen (1839). - Die Kirmeß. Komische Oper in einem Aufzuge (1831).

- 121 — Bd. 3 - 4. 2 Bde. in 1 Bd. (Bd. 4 in 2. Aufl.). Leipzig, J.J. Weber, 1846. 11 × 17 cm. IV, 445; XII, 357 S. Lwd. St. (3) a.d.T.

Inhalt: (Bd. 1:) Treue Liebe. Schauspiel in fünf Akten (1841). - Wer bin ich? Posse in vier Akten (1843). - Der Zigeuner. Romantische Oper in vier Akten (1832). - (Bd. 4:) Briefe aus Paris (1839). - Ueber Theaterschule. Eine Mittheilung an das Theaterpublikum (1840).

Dyk, Johann Gottfried (1750 - 1813)

- 122 — Graf von Essex. Neu bearbeitet. 3. verb. Ausgabe. Leipzig, Dyk, 1786. 11 × 17 cm. 126 S. Mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 666, 35. 1.

Eberl, Ferdinand (1762 - 1805)

- 123 — Die Deutschen unter den Muselmännern. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Wien, J. Ochß, 1803. 11 × 17 cm. 121 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Noch seltner als Weibertreue. Ein Lustspiel in vier Aufzügen. Wien, Ochß, 1803. 126 S.
(Zu „Die Deutschen ...“:) Goedeke Bd. V, S. 332, 11. - Nachdruck der Ausgabe 1793. -
(Zu „Noch seltner ...“:) Goedeke ebenda, 14. - Nachdruck der Ausgabe 1795.

Elsholtz, Franz von (1791 - 1872)

- 124 — Schauspiele. Theil 1 [- 3]. 2., mit Goethe's Briefen über „Die Hofdame“ vermehrte Ausgabe. Leipzig, Brockhaus, 1835 [- 1854]. 12 × 19 cm. XXIV, 191 (+1) S. Hlwd. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 589, 23, a - d; Hirschberg S. 114. - Inhalt: Die Hofdame. Lustspiel in fünf Acten. - Komm her! Dramatische Aufgabe in Einem Act. - Geh hin! Dramatische Aufgabe in Einem Act mit melodramatischer Musikbegleitung (mit einem Nachspiel).
125 — Theil 2. Leipzig, Brockhaus, 1835. 12 × 19 cm. VIII, 263 S. Hlwd. St. (1) a.d.T.
Goedeke ebenda, S. 590, 23, e - g. - Inhalt: Die Cordova. Trauerspiel in fünf Acten. - Der sprechende Hund. Lustspiel in drei Acten. - Les Anglais en France. Folie-Vaudeville en un acte. (Der Text auch in französischer Sprache.)

Engel, Karl Christian (1752 - 1801)

- 126 — Biondetta. Ein allegorisches Schauspiel mit Gesang in vier Aufzügen. Berlin, Fr. Maurer, 1792. 11 × 18 cm. XVI, 168 (+1) S. Mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Saurin, Bernhard Joseph (1706 - 1781), Blanca und Guiscard. Ein Trauerspiel. Eine Nachahmung aus dem Englischen des Herrn Tomson. Aus dem Französischen übersetzt. Frankfurt und Leipzig, o. Verl., 1764. 112 S.
(Zu Engel:) Goedeke Bd. V, S. 398, 21, 1; Hirschberg S. 115. - Erste Ausgabe.

Falk, Johannes Daniel (1768 - 1826)

- 127 — Coriolan, frey nach Shakespeare. Amsterdam und Leipzig, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1812. 10 × 18 cm. X, 341 (+1) S. Mit einer Anmerkung zum Coriolan. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 708, 5b (mit Jahreszahl: 1811); Killy Bd. III, S. 330.

Feldmann, Leopold (1802 - 1882)

- 128 — Deutsche Original-Lustspiele. Bd. 1 [der sechsbändigen Ausgabe von 1845 - 1852]. Wien, Wallishausser, 1845. 11 × 19 cm. II, 297 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brittmer Bd. II, S. 196. - Inhalt: Der Sohn auf Reisen. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Die Kirschen. Lustspiel in einem Aufzuge. - Das Portrait der Geliebten. Lustspiel in drei Aufzügen. - Die freie Wahl. Lustspiel in einem Aufzuge. - Die schöne Athenienserin. Lustspiel in vier Aufzügen.

Fitger, Arthur (1840 - 1909)

- 129 — (Übers.) Philiberte. Lustspiel in drei Aufzügen von Emile Augier (1820 - 1889). Vom Verfasser autorisirte Bearbeitung. Oldenburg und Leipzig, Schulze, o.J. [1888]. 13 × 20 cm. IV, 93, (4) S. Br. St. (3) a.d.T.
Vgl. Lüdtke, Nekrolog, Sp. 184.

Fouqué (De la Motte), Friedrich Heinrich Karl (1777 - 1843)

- 130 — Hieronymus von Stauff, Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Schlesinger, 1819. 10 × 16 cm. IV, 200, (4) S. Kart. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. VII, S. 126, 93; Hirschberg. S. 132; Wilpert/Gühring S. 342, 60. - Erste Ausgabe.

- 131 — (anonym) Herr von Kotzebue in Sibirien. Ein Schauspiel in drei Aufzügen mit zwei Titeln und drei Vorreden. [Dann folgt: Erste Vorrede an den Herrn von Kotzebue. (Unterzeichner:) Frey. - (Der zweite Titel:) Die Umarmung. Ein Schauspiel in einem Aufzuge, nach einer Geschichte unserer Tage gearbeitet von Verfasser des Herrn von Kotzebue in Sibirien. - Zweite Vorrede an die Leser. - Dritte Vorrede an die Herren Recensenten.] O.O., o. Verl., 1802. 11 × 18 cm. XXII, 100 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 370, 12367; Goedeke Bd. V, S. 281, 75 f. - Sowohl Holzmann/Bohatta wie Goedeke geben 1803 (als Jahreszahl) an.

Freytag, Gustav (1816 - 1895)

- 132 — Graf Waldemar. Schauspiel in fünf Acten. Leipzig, G.Hirzel, 1858. 12 × 18 cm. II, 110 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Wilpert/Gühring S. 365, 10 (Erstausgabe: Leipzig, Verlagsbureau, 1850). Vgl. Melitz S. 114 (mit Jahreszahl: 1848).
- 133 — Die Fabier. Trauerspiel in fünf Acten. Leipzig, G.Hirzel, 1859. 12 × 18 cm. IV, 190 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 137; Wilpert/Gühring S. 365, 15. - Erste Ausgabe.

Friedrich, Friedrich (1828 - 1890)

- 134 — Eine Warte am Rhein. Schauspiel in 5 Acten. Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Leipzig, L.Weidemann, o.J. [1862]. 10 × 14 cm. IV, 122 S. Br. St. (3) a.d.T.
Brimmer Bd. II, S. 285.

Friedrich, Theodor Heinrich (1776 - 1819)

- 135 — Vetter Kukuk. Lustspiel in vier Aufzügen. Berlin, Fr.Braun, 1811. 10 × 18 cm. 143 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 391, 23, 4; Hirschberg S. 139. - Erste Ausgabe.
- 136 — Der Glückspilz und die Glücksritter. Lustspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, H.Gräff, 1816. 11 × 17 cm. VI, 185 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke (Bd. VI, S. 391, 23, 11) sowie Hirschberg (S. 139) kennt eine 1816 in Berlin erschienene Ausgabe.

Gaßmann, Theodor (1828 - 1871)

- 137 — (Bearb.) Feen-Hände. Lustspiel in 5 Aufzügen. Nach Scribe's „Les doigts de fee“ bearbeitet. Hamburg, B.S.Berendsohn, 1858. 12 × 18 cm. 79 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Geier, Johann Peter Christian (1767 - 1846)

- 138 — (anonym) Baron von Blankenstein, oder die bereuete Uebereilung. Ein Schauspiel in drey Aufzügen. Hamburg und Leipzig, H.J.Matthiessen, 1791. 12 × 19 cm. 103 S. Kart. St. (2) a.d.T.
- + Angeb.: Ernst, Valentini (anonym), Blanford und Charlotte oder die Eroberung von St. Lucie. Ein Schauspiel in einem Aufzuge nach dem Französischen. Offenbach am Main, U. Weiß und C.L.Brede, 1782. 70 S.
(Zu Geier:) Goedeke Bd. VII, S. 377, 43, 1; Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 246, 7067. - (Zu Ernst:) Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 246, 7065 (mit Angabe: Lustspiel in einem Aufzuge; aus dem Franz.).

Genast, Karl Albert Wilhelm (1822 - 1887)

- 139 — Bernhard von Weimar. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Acten. (Zum ersten Male auf dem Großherzoglichen Hoftheater zu Weimar aufgeführt am 2. Januar 1855.) Den Bühnen gegenüber Manuscript. Weimar, H.Böhlau, 1855. 14 × 18 cm. 141 S. Kart. St.

(1) a.d.T.

Brümmner Bd. II, S. 345.

Genée, Heinrich Rudolf (1824 - 1914)

- 140 — Lustspiele. Berlin, L.Lassar, 1853. 11 × 18 cm. II, 103 S. Hldr. St. (1),(3) a.d.T.
Brümmner Bd. II, S. 346; Wilpert/Gühning S. 384, 3. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Das Kloster von Camenz. Lustspiel in 2 Akten. - Ehestands-Exercitien. Dramatischer Scherz in 1 Akt. - Durch! Lustspiel in 1 Akt.

Gensicke, Friedrich (1760 - 1784)

- 141 — (anonym), Blanca und Enrico. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Hannover, Chr. Ritscher, 1795. 10 × 17 cm. 111 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Wisin, Denis Iwanowitsch (anonym), Das Muttersöhnchen. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. Aus dem russischen Original, betitelt: Nedorost, von einer Gesellschaft Freunde übersetzt. Leipzig und Wien, R.Grässer, 1787. 176 S.
(*Zu Gensicke:*) *Goedeke Bd. V, S. 326, 85, 6. - Holzmann/Bohatta Bd. VI, S. 106, 2862.*
- (*Zu Wisin:*) *Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 306, 7309.*

Gewey, Franz Xaver Karl (1764 - 1819)

- 142 — (anonym: Verfasser der Modesitten) Pigmalion, oder die Musen bey der Prüfung. Parodie in zwey Aufzügen, in Knittelversen mit Arien und Chören. Wien, Geistinger, 1813. 10 × 17 cm. 141, (3) S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/2, S. 103, 17. - Erste Ausgabe.

Goldoni, Carlo (1707 - 1793)

- 143 — Die zärtliche Ehefrau. Eine Comödie von drey Aufzügen. Aus dem Italienischen des Herrn Goldoni übersetzt. Wie sie auf dem Kochischen Theater aufgeführt worden. Leipzig, C.Fr.Schneider, 1776. 11 × 17 cm. 111 S. Mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Thilo, Friedrich Gottlieb (1749 - 1825) (anonym), Die Einsprüche oder Ende gut, alles gut. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, C.Fr.Schneider, 1780. 136 S.
(*Zu Thilo:*) *Goedeke Bd. V, S. 388, 4, 7 (Erstausgabe: Frankfurt und Leipzig 1778); Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 14, 443. - Zweite Aufl.*

Görner, Karl August (1806 - 1884)

- 144 — Almanach dramatischer Bühnenspiele zur geselligen Unterhaltung für Stadt und Land. Jg. 1 [bis 11]. (b) Breslau, Graß, Barth und Comp. Verlagsbuchh., 1851 [bis 1868]. 10 × 17 cm. S. 91 - 183 [unvollständig = die zweite Hälfte eines zweigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmner Bd. II, S. 408. - Der Almanach enthält nur Werke Görners. - Das vorhandene Expl. enthält: Nichte und Tante. Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Stiefmama. Lustspiel in zwei Akten.
145 — Jg. 4. 2. Aufl. Breslau, Graß, Barth und Comp. Verlagsbuchh., 1859. 11 × 17 cm. IV, 184 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmner Bd. II, S. 408. - Inhalt: Aufgeschoben ist nicht aufgehoben. Lustspiel in 2 Aufzügen. - Englisch. Lustspiel in einem Aufzuge. - Eine meublirte [d.h. möblierte] Wohnung. Schwank in einem Aufzuge.

Gottschall, Carl Rudolf von (1823 - 1909)

- 146 — Die Rose vom Kaukasus. Dramatisches Gedicht in zwei Aufzügen. 2. Aufl. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1881]. 9 × 14 cm. IV, 52, (16) S. Mit Bildn. des Verfassers. Olwd. [= Reclams UB. Miniaturausgabe]. Mit. St. (3) a.d.T.
Wilpert/Gühning S. 431, 42 (Erstausgabe: 1871).

- 147 — Der Vermittler. Lustspiel in vier Aufzügen. 2. Aufl. Leipzig, J.A.Brockhaus. 1884. 12 × 15 cm. VI, 147, (1) S. [=Dramatische Werke. 2. Aufl. Bd. 12 (von 12).] Br. St. (3) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Wilpert/Gühning S. 431, 55 (irrig: 149 S.). - Erste Ausgabe.

Grillparzer, Franz (1791 - 1872)

- 148 — Der Traum, ein Leben. Dramatisches Märchen in vier Aufzügen. Wien, J.B.Wallis-hausser, 1840. 13 × 21 cm. 158 S. Br. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 401, 104, e; Hirschberg S. 158; Wilpert/Gühning S. 449, 12. - Erste Ausgabe.

- 149 — Sappho. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Stuttgart, Cotta, 1883. 12 × 18 cm. 108 S. Mit einem Anhang von H. L. über Sappho. OLwd. St. (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 393, 103, k.

Grimmert, Karl Friedrich (Pseud.: Henriette Claren) (1795 - ?)

- 150 — (Pseud.) Die Familie Claren oder: Nichts als Claren. Original-Posse in zwei Akten nebst Prolog und Epilog. Zerbst, G.A.Kummer, 1827. 11 × 17 cm. II, 72 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, S. 58, 51z, 7. - Erste Ausgabe.

Grosman, Ernst (•••• - ••••)

- 151 — Neue Schauspiele. Altenburg, Chr. Fr. Petersen, 1806. 10 × 17 cm. II, 268 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Die schwarzen Brüder. Romantisches Schauspiel in 4 Akten mit Chören. - Das Taschenbuch, oder die Banknoten. Ein skizzirtes Gemälde aus dem Menschenleben in einem Akte. - Der Teufel im Aktenstübchen. Lustspiel in einem Akt.

Grüner, Christoph Sigismund (1758 - 1808)

- 152 — Das Gelübde. Ein heroisches Schauspiel in vier Aufzügen. Mannheim, Schwan und Götz, 1803. 10 × 17 cm. II, 112 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Lindheimer, Friedrich (um 1774 - 1822/36), Der Berggeist. Ein Lustspiel in zwei Akten. Mannheim, Schwan und Götz, 1798. 100 S.

+ Angeb.: Ders., Das wandernde Körbchen. Ein Lustspiel in einem Akt. Mannheim, Schwan und Götz, 1798. 83 S.

+ Angeb.: Ochsenheimer, Ferdinand (1767 - 1822), Er soll sich schlagen. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. (Zum erstenmale aufgeführt auf der Nationalbühne zu Mainz am 9. im Hornung 1792.) Mannheim, Schwan und Götz, 1792. 59, (3) S.

+ Angeb.: Anonymus, Fanny, oder der Sieg der Tugend. Ein aus den Werken des Hrn. von Arnaud entnommenes Drama in einem Aufzuge. Mannheim, C.F.Schwan, 1778. 55 S.

+ Angeb.: Anonymus, Die Aussteuer. Ein Nachspiel in einem Aufzuge. Nach dem Französi-schen einer noch ungedruckten Operetten. Mannheim, C.J.Schwan, 1778. 54 S.

(Zu Grüner:) Goedeke Bd. V, S. 396, 8, 9. - (Zu Lindheimer:) Goedeke Bd. V, S. 377, 36, 4c und 4b. - Es handelt sich wohl um die Separatdrucke aus Lindheimers „Lustspiele“.

- (Zu Ochsenheimer:) Goedeke Bd. V, S. 391, 19, 2 (irrig: 54 S.). - Erste Ausgabe.

Gubitz, Friedrich Wilhelm (1786 - 1870)

- 153 — Schriften. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe 1816]. Theater-Spiele. Berlin, Maurer, 1816. 11 × 17 cm. VI, 304 (+1) S. Mit 2 color. Holzschnitten vom Verfasser. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 439, 21, 9 - 12; Hirschberg S. 182. Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Prinzessin. Lustspiel in fünf Akten. - Sappho. Monodrama. - Die selige Frau. Lustspiel in einem Akt. - Lieb' und Friede. Schauspiel in einem Akt.

Günderode, Friedrich Justinian Freiherr von (1747 - 1785)

- 154 — (anonym) Die weibliche Beständigkeit. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Frankfurt und Leipzig, J.G.Fleischer, 1781. 12 × 19 cm. 110 S. Mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T. *Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 212, 6084; Goedeke Bd. V, S. 369, 1 (mit Bemerkung: Ohne Vorwissen des Verfassers ganz umgearbeitet).*

Guttenberg, Andreas Joseph von (1770 - 1817)

- 155 — Der mißlungene Anschlag. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, C.H.Stage, o. J. 12 × 19 cm. 128 S. Mit 1 Titelkup. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 295, 19, 6 (mit Jahreszahl: 1802).*
- 156 — Die Waffenbrüder, oder: Der Bund der Rache. Ein romantisches Trauerspiel in vier Aufzügen aus der Zeiten des Aberglaubens und der Schwärmerey. Leipzig, Stage, o.J. [1884]. 12 × 18 cm. 149 S. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 295, 19, 10; Hirschberg S. 183. - Erste Ausgabe.*

Gutzkow, Carl (auch: Karl) (1811 - 1878)

- 157 — Dramatische Werke. Bd. 4 [der neunbändigen Ausgabe von 1842 - 1857]. Leipzig. C. B.Lorck, 1847. 11 × 17 cm. IV, 288 S. Ppbd. St. (1) a.d.T. *Hirschberg S. 184; Wilpert/Gühning S. 469, 31. - Inhalt: Pugatscheff. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Das Urbild des Tartüffe. Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 158 — Bd. 5. Leipzig, C.B.Lorck, 1847. 11 × 17 cm. IV, 238 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Der dreizehnte November. Dramatisches Seelengemälde in drei Aufzügen. - Uriel Acosta. Trauerspiel in fünf Aufzügen.*
- 159 — Bd. 6. Leipzig, C.B.Lorck, 1848. 11 × 16 cm. XXIV, 272, (8) S. Mit Portr. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Wullenweber. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Aufzügen.*
- 160 — 2. verbes. Aufl. Bd. 2. Leipzig, C.B.Lorck, 1846. 11 × 17 cm. X, 268 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Es fehlen S. I - IV, S. 5 - 14. - Inhalt: Patkul. Ein politisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Schule der Reichen. Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 161 — Der Königsleutenant. Lustspiel in vier Aufzügen. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1852. 11 × 18 cm. X, 182 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Wilpert/Gühning S. 469, 43. - Erste Ausgabe.*
- 162 — Dramatische Werke. Vollständige neu umgearb. Ausgabe [von 1862 - 1863]. Bdchn. 2 [von 20]. 5. Aufl. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1862. 11 × 15 cm. 1 Bl. 107 (+3) S. Mit Anmerkung. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Zopf und Schwert. Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 163 — Bdchn. 6. 4. Aufl. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1862. 11 × 15 cm. IV, 78 (+1) S. Mit Anmerkung. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Ein weißes Blatt. Schauspiel in fünf Aufzügen.*

Hagemann, Friedrich Gustav (1760 - ca. 1830)

- 164 — Neue Schauspiele. Bd. 1. Eisenach, Wittekindt, 1798. 10 × 16 cm. 446, (1) S. Ppbd. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 289, 10, 19; Hirschberg S. 188. - Inhalt: Seliko und Berisfa oder die Liebe unter den Negern. (Schauspiel in vier Aufzügen.) - Die Martinsgänse. (Nachspiel in einem Aufzug.) - Weihnachtabend oder Edelmann und Bürger. (Schauspiel in fünf Aufzügen.)*

Hahn, Christian (? - ?)

- 165 — Die beiden Freunde. Ein Schauspiel in drei Akten. Leipzig, C.E.Kollmann, 1819. 11 × 19 cm. 66, (1) S. Br. Unaufgeschnitten. St. (2),(3) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/1, S. 300, 34.*

Hauch, Johann Carsten von (1790 - 1872)

- 166 — Die Belagerung Maastrichts. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1834. 12 × 18 cm. VI, 191 (+1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Kosch Bd. VII, Sp. 489.

Haupt, Markus Theodor von (1784 - 1832)

- 167 — Schauspiele. Bdchn. 1. Mainz, Fl. Kupferberg, 1825. 11 × 17 cm. IV, 48 (+1), (2), 98, 57, 56 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 253 f., 22, a - d. - Inhalt: Harlekins Tücke oder: Der geprellte Alte. Maskenspiel in einem Akt. - Catharina von Curland. Romantisches Schauspiel in drei Akten. - Ali-Pacha. (Bei Goedeke irrig: Ali-Pascha.) Melodram in drei Akten. - Ahasverus der nie Ruhende. Romantisches Schauspiel in drei Abtheilungen.
- 168 — Bdchn. 2. Mainz, Fl. Kupferberg, 1825. 11 × 17 cm. II, 76, 114, 95 S. Hldr.
Goedeke ebenda, e - g. - Inhalt: Der Unbekannte. Drama in drei Akten. - Der Retter wacht. Drama in drei Akten. - Die Abentheuernacht. Lustspiel in drei Akten.

Helmolt, C. G. von (•••• - ••••)

- 169 — (anonym) Der schöne Flüchtling, ein Lustspiel in fünf Akten. Nach der englischen Runaway der Mistreß Cowley, für das Herzogliche Hoftheater zu Gotha. Altenberg, Richter, 1776. 11 × 17 cm. 222 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 105, 3521.

Herbst, Joseph (? - 1798)

- 170 — Cova von Conseugra, ein Opfer der Weiber-Rache, Trauerspiel in 5 Aufzügen, aus der Spanischen Geschichte des eilften Jahrhunderts. Breslau, W.G. Korn, 1794. 10 × 16 cm. 168 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 401, 16, 1. - Erste Ausgabe.

Hertz, Henrik (1798 - 1870)

- 171 — König René's Tochter. Lyrisches Drama. Im Versmaaße [so] des dänischen Originals [1845] übersetzt von F[riedrich] A[ugust] Leo. Leipzig, C.B.Lorck, 1846. 11 × 15 cm. 100, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 213. - Erste Ausgabe.
- 172 — König René's Tochter. Lyrisches Drama in einem Aufzug. Übersetzt von Carl von Reinhardstoettner. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1884]. 9 × 14 cm. 66, (18) S. OLwd. [= Reclams UB. Miniaturausgabe.] St. (3) a.d.T.
- 173 — Svend Dyring's Haus. Romantische Tragödie in vier Akten. Im Versmaaße des dänischen Originals übersetzt von F. A. Leo. Leipzig, C.B.Lorck, 1848. 10 × 16 cm. XVI, 179, (4) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Melitz Tl. 1, S. 189.

Herzog, Adolf (•••• - ••••)

- 174 — Merrick. Schauspiel in 4 Acten (mit freier Benutzung des Romans „Die neue Magdalena“ von Wilkie Collins). Den Bühnen gegenüber Manuscript. Dresden und Leipzig, E. Pierson, 1890. 13 × 19 cm. 194 S. T. Möris Privat-Einbd. mit marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T.

Heun, Carl Gottlieb Samuel (Pseud.: Heinrich Clauren) (1771 - 1854)

- 175 — (Pseud.) Der Abend im Posthause, Lustspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1817. 11 × 17 cm. II, 128 S. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“ Bd. 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Die Folgen eines Maskenballs, Lustspiel in einem Aufzug nach dem Französischen. Dresden, Arnold, 1817. II, 64 S. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“ Bd. 1.]
Goedeke Bd. X, S. 51, 17, 3 und 1. - Erste Ausgaben.

- 176 — (Pseud.) Der Vorposten, Schauspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1821. 10 × 16 cm. 127 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 55, 31; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühring S. 189, 22. - Erste Ausgabe.
- 177 — (Pseud.) Das Vogelschießen, Lustspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1822. 11 × 17 cm. 168, (6) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 56, 33a; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühring S. 189, 22. - Erste Ausgabe.
- 178 — (Pseud.) Der Bräutigam aus Mexiko, Schauspiel in fünf Abteilungen. Dresden, Arnold, 1824. 10 × 16 cm. 217 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 56, 38 (irrig: 271 S.); Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühring S. 189, 23. - Erste Ausgabe.

Heusenstamm zu Heißenstein und Gräfenhausen, Theodor Graf von (1801 - 1889)

- 179 — Die wunderlichen Pilger. Phantastisches Lustspiel in fünf Acten. Leipzig, O. Wigand, 1884. 13 × 18 cm. 142 S. OLwd. mit Rt. St. (3) a.d.T.
Brümmer Bd. III, S. 196.

Heyden, Friedrich August von (1789 - 1851)

- 180 — Conradin. Trauerspiel [in fünf Aufzügen]. Berlin, Realschulbuchh., 1818. 13 × 20 cm. IV, 320 (+1) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 293, 4; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühring S. 549, 2. - Erste Ausgabe.

Heyne, Christian Leberecht (Pseud.: Anton-Wall) (1751 - 1821)

- 181 — (Pseud.) Die Expedition, oder: Die Hochzeit nach dem Tode. Ein Lustspiel in drey Akten (nach Charles Collé). Leipzig, Dyk, 1781. 11 × 17 cm. 200 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
 + Angeb.: Cumberland, Richard (1732 - 1815), Der natürliche Sohn. Aus dem Englischen übersetzt. Leipzig, Dyk, 1785. 128 S.
 + Angeb.: Weppen, Johann August (1741 - 1812) (anonym), Der Hessische Officier in Amerika. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Göttingen, J. Chr. Dieterich, 1783. 96 S.
 + Angeb.: Babo, Josef Marius (anonym), Das Winterquartier in Amerika, ein Original-Lustspiel in einem Aufzug. Berlin, o. Verl., 1778. 50 S.
(Zu Heyne:) Goedeke Bd. IV/1, S. 619, 97, 3. - (Zu Weppen:) Goedeke Bd. IV/1, S. 629, 3, 4; Hirschberg S. 546; Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 325, 7739. - Erste Ausgabe. - (Zu Babo:) Goedeke Bd. V, S. 26, 4, 2; Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 485, 11489.
- 182 — (Pseud.) Bagatellen. Bdchn. 2. [der zweibändigen Ausgabe von 1783/85]. Leipzig, Dyk, 1783. 10 × 16 cm. 230, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 619, 97, 8; Hirschberg S. 217. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Herr im Hause. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. - Julie. Eine Erzählung. - Der Traum in der Maynacht. - Das Mährgen aus dem Morgenlande.

Heyse, Paul (1830 - 1914)

- 183 — Meleager. Eine Tragödie (in 2 Acten). Berlin, W. Hertz, 1854. 10 × 16 cm. 112 S. Kart. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 217; Wilpert/Gühring S. 552, 8. - Erste Ausgabe.

Hilder, Gustav Oskar (1836 - 1888)

- 184 — Hochstapler. Original-Lustspiel in drei Akten. Berlin, R. Eckstein Nachf., o.J. 15 × 22 cm. II, 66 S. Ohne Einbd. St. (3) a.d.T.

Holbein, Franz Ignatz von (1779 - 1855)

- 185 — Theater. Bd. 1 [der zweibändigen Ausgabe von 1811/1812]. Rudolstadt, Hof-Buch- und Kunsthandlung, 1811. 13 × 20 cm. VI, 418 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 465, 5; Hirschberg S. 225. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Fridolin. Schauspiel in 5 Aufzügen. - Der Brautschmuck. Originalschauspiel in 5 Aufzügen. - Der Verstorbene. Ein romantisches Gemälde in 3 Aufzügen. - Der Verräther. Lustspiel in einem Acte.

- 186 — Bd. 2. Rudolstadt, Hof-Buch- und Kunsthandlung, 1812. 13 × 20 cm. II, 328 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Leonidas. Dramatisches Gedicht in 5 Aufzügen. - Mirina. Königin der Amazonen, in drei Aufzügen. - Die beiden Blinden. Oper in drei Aufzügen. - Das Wiedersehen. Ein ländliches Gemälde in einem Aufzuge.

- 187 — Das Turnier zu Kronstein oder die drey Wahrzeichen. Ein romantisches Ritter-Lustspiel in fünf Abteilungen. Pesth, Hartleben, 1820. 13 × 21 cm. 106 S. [=Neuestes Theater. Bd. 1.] Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 8. - Erste Ausgabe.

- 188 — (Bearb.) Das Käthchen von Heilbronn. Großes romantisches Ritterschauspiel in fünf Aufzügen. Nebst einem Vorspiele in einem Aufzuge, genannt: Das heimliche Gericht. Von Heinrich Kleist. Für die Bühne bearbeitet. Pesth, Hartleben, 1822. 13 × 21 cm. 88 S. [Es fehlt: S. 1 - 2.] [=Neuestes Theater. Bd. 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 8, II. - Erste Ausgabe.

- 189 — (Bearb.) Die Waffenbrüder. Gemälde der Vorzeit in fünf Abteilungen. Nach Heinrich Kleist's: Familie Schroffenstein, frei für die Bühne bearbeitet. Wien, Wallishauser, 1824. 13 × 21 cm. 147 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 10; Hirschberg S. 225. - Erste Ausgabe.

Holberg, Ludwig von (1684 - 1754)

- 190 — Lustspiele. Übersetzt von [Adam Gottlob] Oehlenschläger. Theil 2 [der vierbändigen Ausgabe von 1822 - 1823]. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1822. 12 × 16 cm. VI, 374, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Hirschberg S. 225. - Inhalt: Das arabische Pulver [in 1 Act]. - Die Weihnachtsstube [in 1 Act]. - Die Maskerade [in 3 Acten]. - Jakob von Tybo oder der großsprecherische Soldat [in 5 Acten]. - Ulysses von Ithacia oder Eine deutsche Komödie [in 5 Acten]. - Die Reise zur Quelle [in 2 Acten].

- 191 — Theil 4. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1823. 12 × 16 cm. XX, 472, (2) S. Mit Vorrede des Übersetzers zum vierten Theile. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Crasmus Montanus [in 5 Acten]. - Pernille, als Tochter vom Hause [in 3 Acten]. - Die Unsichtbaren [in 3 Acten]. - Viel Geschrei und wenig Wolle [in 3 Acten]. - Die honette Ambition [in 3 Acten]. - Der Poltergeist oder Abracadabra [in 3 Acten]. - Don Ranudo de Colibrados oder: Armuth und Hoffahrt [in 5 Acten].

Houwald, Ernst Christoph Freiherr von (1778 - 1845)

- 192 — Der Fürst und der Bürger. Ein Drama in drei Aufzügen. Leipzig, G.J.Götschen, 1823. 10 × 17 cm. VIII, 168, (2) S. Ppbd. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 312, 18; Hirschberg S. 234; Wilpert/Gühning S. 597, 7. - Erste Ausgabe.

Ibsen, Henrik (1828 - 1906)

- 193 — Brand. Ein dramatisches Gedicht. Übersetzt von L. Passarge. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1881]. 9 × 14 cm. 169, (19) S. OLwd. [=Reclams UB. Miniaturausgabe.] St. (3) a.d.T.

Iffland, August Wilhelm (1759 - 1814)

- 194 — Theater. Erste vollständige Ausgabe. Mit Biographie, Portr. und Facs. des Dichters. Bd. 1 [der 24bändigen Ausgabe 1843]. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 241 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

- Goedeke Bd. V, S. 270, 77; Hirschberg S. 240; Meyer Bd. 1, S. 368 ff.; Wilpert/Gühning S. 612, 74. - Inhalt: *Albert von Thurneisen, Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Mündel, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 195 — Bd. 2. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 257 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Verbrechen aus Eifersucht, Familien-Gemälde in fünf Aufzügen. - Die Jäger, ländliches Sittengemälde in fünf Aufzügen.*
- 196 — Bd. 3. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 254 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Bewußtsein, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Spieler, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 197 — Bd. 4. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 291 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Reue versöhnt, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Figaro in Deutschland, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 198 — Bd. 5. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 247 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Achmet und Zenide, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Frauenstand, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 199 — Bd. 6. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 248 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Komet, Posse in einem Aufzuge. - Leichter Sinn, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 200 — Bd. 7. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 256 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Herbsttag, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Friedrich von Oesterreich, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 201 — Bd. 8. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 269 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Elise von Balberg, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Gewissen. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Luassan, Fürst von Garisene, Prolog in einem Aufzuge.*
- 202 — Bd. 9. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 257 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Erinnerung, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Alte und neue Zeit, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Magnetismus, Nachspiel in einem Aufzuge.*
- 203 — Bd. 10. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 247 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Das Vermächtniß, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Aussteuer, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 204 — Bd. 11. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 263 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Hagestolzen, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Die Geflüchteten, Schauspiel in einem Aufzuge. - Die Reise nach der Stadt, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 205 — Bd. 12. Wien, I. Klang, 1843. 12 × 16 cm. 253 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Mann von Wort, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Advokaten, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 206 — Bd. 13. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 264 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Fremde, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Selbstbeherrschung, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 207 — Bd. 14. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 240 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Dienstpflicht, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Veteran, Schauspiel in einem Aufzuge. - Die Verbrüderung, Schauspiel in einem Aufzuge. - Der Eichenkranz, Dialog in einem Aufzuge. - Die Vaterfreude, Vorspiel in einem Aufzuge. - Liebe um Liebe, ländliches Schauspiel in einem Aufzuge.*
- 208 — Bd. 15. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 240 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Allzuscharf macht schartig, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Höhen, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 209 — Bd. 16. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 236 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Vormund, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Erbtheil des Vaters, Schauspiel in vier Aufzügen.*
- 210 — Bd. 17. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 283 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Kokarden, Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Familie Lonau, Lustspiel in fünf Aufzügen.*

- 211 — Bd. 18. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 264 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Hausfreunde, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Scheinverdienst, Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 212 — Bd. 19. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 299 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Künstler, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Vaterhaus, Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 213 — Bd. 20. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 308 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Oheim, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Die Marionetten, Lustspiel in einem Aufzuge. - Wohin? Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 214 — Bd. 21. Wien, I. Klang, 1843. 12 × 16 cm. 251 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Rückwirkung, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Nachbarschaft, Lustspiel in einem Aufzuge. - Der Taufschein, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die erwachsenen Töchter, Lustspiel in drei Aufzügen. - Die Müßiggänger, Lustspiel in einem Aufzuge.
- 215 — Bd. 22. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 245 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Duhautcours, oder: der Vergleichis-Kontrakt, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Heinrich's V. Jungenjahre, Lustspiel in drei Aufzügen. - Der Flatterhafte, oder die schwierige Heirath, Lustspiel in drei Aufzügen.
- 216 — Bd. 23. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 357 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Frau von Sevigné, Schauspiel in drei Aufzügen. - Der gutherzige Polterer, Lustspiel in drei Aufzügen. - Der Haustirann, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Einung, Schauspiel in einem Aufzuge. - Liebe um Wille, ländliches Gespräch in einer Handlung. - Die Brautwahl, Lustspiel in einem Aufzuge.
- 217 — Bd. 24. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 205 S. Mit Portr. und Facs. A.W.Iffland's. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Theatralische Laufbahn A.W. Iffland's. - Biographie A.W. Iffland's.

Immermann, Karl Lebrecht (1796 - 1840)

- 218 — Kaiser Friedrich der Zweite. Trauerspiel in 5 Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1828. 10 × 16 cm. II, 175 S. Mit Titelvign.
Goedeke Bd. VIII, S. 614, 46; Hirschberg S. 240; Wilpert/Gühring S. 614, 15. - Erste Ausgabe.
- 219 — Die Verkleidungen. Lustspiel in drei Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1828. 10 × 17 cm. II, 138 S. Mit Titelvign. Ohne Einbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 614, 48; Hirschberg S. 240; Wilpert/Gühring S. 614, 17. - Erste Ausgabe.

Jünger, Johann Friedrich (1759 - 1797)

- 220 — Lustspiele. Theil 1 [von 5]. Leipzig, Dyk, 1785 [- 1789]. 10 × 16 cm. II, 126, 190 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 612, 88, 6, a und b; Hirschberg S. 247; Meyer Bd. 1, S. 391 ff.; Wilpert/Gühring S. 638, 11. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Badekur. In zwey Akten. - Freundschaft und Argwohn. In fünf Akten.
- 221 — Theil 3. Leipzig, Dyk, 1788. 10 × 16 cm. XXXXI, 172, 120 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, 6, e und f. - Inhalt: Verstand und Leichtsinn. Ein Lustspiel in fünf Akten. - Der doppelte Liebhaber. Ein Lustspiel in drey Akten.
- 222 — Theil 5. Leipzig, Dyk, 1789. 11 × 16 cm. II, 131, 87, 45 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, 6, i und k sowie 7. - Inhalt: Der Wechsel. Ein Lustspiel in vier Akten. - Dank und Undank. Ein Lustspiel in drey Akten. Frey nach l'Ingrat des Destouches. - Der Instinkt oder Wer ist Vater zum Kinde? Ein Nachspiel.
- 223 — Comisches Theater. Bd. 3 [von 3]. Leipzig, G.J.Götschen, [1792 -] 1795. 10 × 16 cm. 1 Bl., S. I - II; 1 - 175, 337 - 339. [Unvollständig. Es fehlen Bogen L - X.] Mit Titelkupper. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 613, 16, f und h; Meyer Bd. 1, S. 393. - Erste Ausgabe. - Enthält

zwei [von 3] Dramen: *Die Geschwister vom Lande. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen.* - *Die Komödie aus dem Stegreif. Lustspiel in einem Aufzuge. Frey nach Poissons Idee.* - *Es fehlt „Maske für Maske“.* *Die Lücke wird ergänzt durch:*

- + Angeb.: Ders., *Maske für Maske. Lustspiel in drey Aufzügen nach Marivaux.* [Leipzig, G.J.Götschen, 1794.] 156 S. [=Einzeldruck aus: „Comisches Theater“ Bd. 3.]
Goedeke ebenda, 16, g; Wilpert/Gühning S. 638, 27; S. 639, 33.

Kind, Johann Friedrich (1768 - 1843)

- 224 — *Wilhelm der Eroberer.* Leipzig, Züllichau und Freystadt, Darnmann, 1806. 10 × 16 cm. IV, 306 (+1), (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 248, 12; Hirschberg S. 261 (irrig: Frankfurt); Wilpert/Gühning S. 674, 10. - Erste Ausgabe.
- 225 — *Der Weinberg an der Elbe.* Aufgeführt auf dem Königlichen Theater zu Dresden am 15. und 16. Nov. 1817. Leipzig, G.J.Götschen, 1817. 12 × 21 cm. VIII, 53 S. Mit Kupfer und 4 Bl. Musik von Carl Maria v. Weber. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 259, 40; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 23. - Erste Ausgabe.
- 226 — *Theaterschriften.* Bd. 1 [von 4]. Leipzig, G.J.Götschen, 1821 [- 1827]. 11 × 17 cm. IV, 398 (+1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 263, 56, 1 - 4; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 34. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Minstrel. Dramatisches Gedicht in fünf Aufzügen (1804) . - Vergeltung. Schauspiel in fünf Aufzügen (1799). - Die schwarze Frau, oder: Die Wette. Lustspiel in zwei Aufzügen (1806). - Alcindor. Fest-Oper in drei Aufzügen (1819).
- 227 — *Schön Ella.* Volks-Trauerspiel in fünf Acten. Mit einem Anhang. Leipzig, G.J.Götschen, 1825. 10 × 17 cm. 246 S. Ohne Kupfer. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 271, 63; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 38. - Erste Ausgabe.

Klähr, Karl Gottfried (Pseud.: Karl Fero) (1773 - 1842)

- 228 — (Pseud.) *Dramatische Ephemeren.* Meissen, Fr. W. Goedsche, 1810. 12 × 19 cm. II, 104, 160, 109, (16) S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 475, 78, 1; Hirschberg S. 263. - Nachdruck der Erstausgabe von 1809. - Inhalt: Die Lotterielisten. Ein Lustspiel in zwey Akten nach einer Anekdote. - Die Rettung. Ein Schauspiel in vier Akten. - Die geliebten Feinde. Ein Lustspiel in zwey Akten, nach einer Anekdote frey bearbeitet.

Kleist, Heinrich von (1777 - 1811)

- 229 — *Dramatische Meisterwerke in 2 Bdn.* Bd. 1 - 2 in 1 Bd. Berlin, S.Hahne, o.J. 11 × 16 cm. 160, 159 S. OLwd. St. (3) a.d.T.
Inhalt: (Bd. 1:) Prinz Friedrich von Homburg. - Die Herrmannsschlacht [so]. - (Bd. 2:) Das Käthchen von Heilbronn oder die Feuerprobe. - Der zerbrochene Krug.

Klingemann, Ernst August Friedrich (1777 - 1831)

- 230 — *Moses.* Ein dramatisches Gedicht in fünf Acten. Mit einem Prologe. Helmstädt, C.G. Fleckeisen, 1812. 11 × 18 cm. XVI, 230 (+2) S. Mit Titelvign. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 441, 16; Hirschberg S. 265; Wilpert/Gühning S. 683, 15. - Erste Ausgabe.
- 231 — *Die Grube zur Dorothea.* Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Helmstädt, C.G.Fleckeisen, 1817. 12 × 20 cm. II, 157 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 442, 23; Hirschberg S. 266; Wilpert/Gühning S. 684, 22. - Erste Ausgabe.
- 232 — *Dramatische Werke (in 2 Bdn.).* Bd. 2. Braunschweig, G.C.G.Meyer, 1817 [statt: 1818]. 12 × 20 cm. II, IV, 350 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 442, 25, e und f; Hirschberg S. 265; Meyer Bd. 2, S. 434; Wilpert/Gühning S. 684, 26. - Inhalt: *Das Kreuz im Norden. Trauerspiel in fünf Acten aus alter nordischer Vorwelt. - Ferdinand Cortez, oder: die Eroberung von Mexiko. Historisches Drama in fünf Acten.*

Köberle, J. Georg (1819 - 1898)

233 — Die Medicäer. Drama in fünf Acten. (Manuskript). Eigentum des Verfassers. [Leipzig um 1849.] 15 × 23 cm. 83 S. Kart. St. (1) a.d.T.

Brümmer Bd IV, S. 38; Kosch Bd. IX, Sp. 26.

234 — Heinrich der Vierte von Frankreich. Historische Tragödie in fünf Acten. (Als Manuskript gedruckt.) Eigentum des Verfassers. [Leipzig um 1851.] 14 × 12 cm. 183 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Brümmer Bd. IV, S. 38; Kosch Bd. IX, Sp. 26.

Koch, Wilhelm (1825 - 1904)

235 — Der Mutter Geist. Ein Drama in einem Aufzuge. (Den Bühnen gegenüber Manuskript.) Dresden, Adler und Dietze, 1856. 10 × 14 cm. VIII, 80 S. OKart. St. (3) a.d.T.

Brümmer Bd. IV, S. 43; Kosch Bd. IX, Sp. 26.

Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von (1761 - 1819)

236 — [Handschriftlich:] Das Epigramm. [Lustspiel in vier Akten.] 10 × 17 cm. S. 93 - 328. [Mit Bogennorm: Fünft. Bd.]. Ohne Titelbl. Ppbd. St. (2) auf der ersten S. [= Leihbibliotheks-Expl.]

Es handelt sich um das mittlere Teil eines geteilten Expl., aus: „Neue Schauspiele“ [23 Bde. Leipzig, E. Kummer, 1798 - 1819], Bd. 5 [1801]. - Vgl. Goedeke Bd. V, S. 279, 53 und S. 280, 66; Meyer Bd. 2, S. 488.

237 — Theater. Bd. 4 [der 40bändigen Ausgabe von 1840 - 1841]. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 319 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 287, 267; Hirschberg S. 279; Meyer Bd. 2, S. 588 ff.; Wilpert/Gühning S. 714, 207. - Inhalt: Sultan Wampum. - Graf Benjowski, oder: Die Verschwörung auf Kamtschatka. - Die Spanier in Peru, oder: Rollas Tod.

238 — Bd. 5. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 384 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Armuth und Edelsinn. - Der Mann von vierzig Jahren. - Die Negersklaven. - Die Verleumder.

239 — Bd. 6. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1845. 12 × 16 cm. 347 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Die Witwe und das Reitferd. - Der Wildfang. - Der Graf von Burgund. - Falsche Scham.

240 — Bd. 7. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 323 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: La Peyrouse. - Die Versöhnung. - Die Verwandtschaften. - Die Unglücklichen.

241 — Bd. 8. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 263 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Der Opfertod. - Das Dorf im Gebirge. - Die silberne Hochzeit.

242 — Bd. 9. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 355 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Die Corsen. - Der alte Leibkutscher Peter des Dritten. - Üble Laune. - Der Leineweber. - Johanna von Montfaucon.

243 — Bd. 11. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 344 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Lohn der Wahrheit. - Das Epigramm. - Die kluge Frau im Walde, oder: Der stumme Ritter.

- 244 — Bd. 12. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 295 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Zurückkunft des Vaters. - Octavia. - Die beiden Klingsberg.
- 245 — Bd. 13. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 365 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Gustav Wasa. - Bayard.
- 246 — Bd. 14. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 312 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Besuch, oder: Die Sucht zu glänzen. - Das Lustschloß des Teufels. - Die barmherzigen Brüder. - Cleopatra. - Unser Fritz. - Die schlaue Witwe, oder: Die Temperamente. - Der Hahnenschlag. - Ariadne auf Naxos.
- 247 — Bd. 15. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 343 S. Hldr. St. (1), (3) a.d.T.
Inhalt: Die deutschen Kleinstädter. - Die französischen Kleinstädter. - Der Wirrwarr, oder: Der Muthwillge. - Die Hussiten vor Naumburg im Jahr 1432.
- 248 — Bd. 18. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 328 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Mädchenfreundschaft, oder: Der türkische Gesandte. - Der Trunkenbold. Eduard von Schottland, oder: Die Nacht eines Flüchtlings. - Der Vater von Ungefähr. - Der Abschied. - Heinrich Reiß von Plauen, oder: Die Belagerung von Marienburg. - Die Stricknadeln.
- 249 — Bd. 19. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 307 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Schule der Frauen. - Das Leiermädchen Fanchon. - Die gefährliche Nachbarschaft. - Das Köstlichste. - Eulenspiegel.
- 250 — Bd. 20. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 320 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Brandschatzung. - Das verlorene Kind. - Die Organe des Gehirns. - Blinde Liebe. - Carolus Magnus. - Der Sammtrock.
- 251 — Bd. 22. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 289 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Russe in Deutschland. - Die Unvermählte. - Das Gespenst. - Die englischen Waren.
- 252 — Bd. 26. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 312 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der arme Minnesänger. - Die Komödiantin aus Liebe. - Das zugemauerte Fenster. - Die Glücklichen. - Sorgen ohne Noth und Noth ohne Sorgen. - Das arabische Pulver. - Feodora.
- 253 — Bd. 27. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 304 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die alten Liebschaften. - Das Thal von Almeria. - Der Lügenfeind. - Die Quäker. - Das unsichtbare Mädchen. - Pächter Feldkimmel von Tippelskirchen. - Die neue Frauenschule.
- 254 — Bd. 29. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 292 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Brief aus Cadix. - Die deutsche Hausfrau. - Belas Flucht. - Ungarns erster Wohlthäter. - Die Ruinen von Athen. - Der Fluch eines Römers. - Die Nachtmütze des Propheten Elias. - Die seltene Krankheit.
- 255 — Bd. 30. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 272 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Zwei Nichten für Eine. - Braut und Bräutigam in Einer Person. - Die Prinzessin von Cacambo. - Pervonte, oder: Die Wünsche. - Die Alpenhütte. - Hans Max Giesbrecht von der Humpenburg, oder: Die neue Ritterzeit. - Der Küficht.

- 256 — Bd. 32. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 289 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Kreuzfahrer. - Der Schutzgeist. - Die Großmama.
- 257 — Bd. 34. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 287 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Rehbock, oder: Die schuldlosen Schuldbewußten. - Rudolf von Habsburg und König Ottokar von Böhmen. - Des Hasses und der Liebe Rache.
- 258 — Bd. 36. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 300 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Alfred. - Der hölzerne Säbel, oder: Die Heerschau. - Die Wüste. - u. A. w. g., oder Die Einladungskarte. - Marie. - Der Vielwisser.
- 259 — Bd. 37. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 332 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Spiegel, oder: Laß das bleiben. - La Payrouse (umgearbeitet). - Der Rotmantel. - Der Kapitän Belronde. - Die Verkleidungen. - Fehler und Lehre, oder: Der fürstliche Wildfang.
- 260 — Bd. 38. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 332 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Selbst mörder. - Die Rosenmädchen. - Gisela. - Das Taschenbuch. - Die entlarvte Fromme, oder: Ein Pröbchen vom Zeitgeiste.
- 261 — Bd. 39. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 283 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der deutsche Mann und die vornehmen Leute. - Hermann und Thusnelde. - Menschenhaß und Reue (umgearbeitet). - Die eifersüchtige Frau.
- 262 — Bd. 40. Mit biographischen Nachrichten über August von Kotzebue. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1841. 12 × 16 cm. 284, XXIX S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Pfalzgraf Heinrich. - Verlegenheit und List. - Die Frau vom Hause. - Flußgott Niemen. - Noch Jemand's Reiseabenteuer. - Das Liebhabertheater vor dem Parlament. - Die schöne Unbekannte.

Kresse, Oskar (1862 - ?)

- 263 — Der Verklärte. Dramatische Dichtung in fünf Akten. 2. Aufl. [1. Aufl.: 1883]. Leipzig, Th. Kalb, 1885. 11 × 16 cm. 167 S. St. (3) a.d.T.
Brimmer Bd. IV, S. 111.

Krug von Nidda, Friedrich Albert Franz (1776 - 1843)

- 264 — Heinrich der Finkler oder die Ungarn-Schlacht. Historisches Drama in vier Akten. Leipzig, Dyk, 1818. 10 × 16 cm. 1 Bl. Bildn. VIII, 154 S. OPpbd.
Goedeke Bd. X, S. 544, 24; Hirschberg S. 281. - Erste Ausgabe.
- 265 — Heinrich der Finkler oder die Ungarn-Schlacht. Historisches Drama in vier Akten. Leipzig, Dyk, 1818. 10 × 17 cm. 1 Bl. Bildn., VIII, 154 S. OPpbd. St. (3) a.d.T.
Das gleiche Expl. wie Nr. 264.

Kuffner, (Kueffner) Christoph (1780 - 1846)

- 266 — Cervantes in Algier. Schauspiel in fünf Aufzügen. Brünn, J.G. Traßler, 1820. 10 × 17 cm. 141 S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 41, 34; Hirschberg S. 282. - Erste Ausgabe.

Kurländer, Franz August von (1777 - 1836)

- 267 — Almanach dramatischer Spiele für Gesellschaftstheater. Jg. 2. Wien und Triest, J. Geistinger, 1812. 8 × 13 cm. VI, 430 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/2, S. 241, 189 f. - Erste Ausgabe. - Kurländers Almanach [Jg. 1 bis 7 (?): Wien und Triest, J. Geistinger, 1811 bis 1817(?), Jg. 8: Wien, Wallishausser, 1818

- und ab Jg. 9 - Jg. 27 unter dem veränderten Titel „Lustspiele oder dramatischer Almanach“: Leipzig, Baumgärtner, 1819 - 1837] enthält nur seine Werke. - Inhalt des zweiten Jahrgangs: *Der Abschied. Lustspiel in zwey Aufzügen. Nach Roegemont und Justin frei bearbeitet.* - *Wiedervergeltung. Eine freye Uebersetzung des Französischen Lustspiels „La Revanche“ in drey Aufzügen.* - *Die Krankenwärterinn. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. Nach Dupaty und nach einer kleinen Erzählung bearbeitet.* - *Der falsche König Stanislaus. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Nach Duval als Gegenstück zur Wiedervergeltung bearbeitet.*
- 268 — Jg. 8. Wien, J.B. Wallishausser, 1818. 9 × 12 cm. IV, 284 S. Kart. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/2, S. 241, 189 f. (irrig: Wien und Triest, J.Geistinger).* - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Shak[e]spere als Liebhaber. Lustspiel in einem Act. Nach Duval frey bearbeitet.* - *Leichtsinn und Heucheley. Lustspiel in fünf Aufzügen. Nach Scheridans Lästerschule neu bearbeitet.* - *Die Charade. Lustspiel in zwey Acten.*
- 269 — *Lustspiele oder dramatischer Almanach für das Jahr 1831. Jg. 21 [=Fortsetzung des „Almanach dramatischer Spiele für Gesellschafts-Theater“].* Leipzig, Baumgärtner, 1831. VIII, 378, (8) S. 5 [von 6] illumin. Kupfer mit Figuren, die dem Inhalte entnommen sind. Ppbd. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/2, S. 241, 189 f.* - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Der Ehemann als Bittsteller. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach Waylli frei bearbeitet.* - *Das Geheimniß. Schauspiel in einem Aufzuge. Nach Scribe.* - *Die kleine Schwärmerinn. Lustspiel in zwei Aufzügen.* - *Der Rothkopf. Lustspiel in einem Aufzuge.*
- 270 — Jg. 25. Leipzig, Baumgärtner, 1835. 10 × 16 cm. X, 324 S. Ohne Kupfer. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/2, S. 241, 189 f.* - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Hanns als Schildwache. Ländliche Szene in einem Aufzuge, als Fortsetzung von Hanns am Scheidewege [in: Jg. 13] und dem Wiedersehen [in: Jg. 15].* - *Die Altistinn. Lustspiel in zwei Aufzügen.* - *Zufall und List. Lustspiel in zwei Aufzügen.* - *Haushaltung einer Dichterinn. Lustspiel in einem Aufzug.*

Lafontaine, August Heinrich Julius (1758 - 1831)

- 271 — *Dramatische Werke.* Görlitz, C.G.Anton, 1805. 10 × 16 cm. IV, 150, 159 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T. *Kosch Bd. IX, Sp. 803; Meyer Bd. 2, S. 614; Wilpert/Gühning S. 742, 54.* - *Inhalt: Die Tochter der Natur. Eine Familienszene [in 3 Aufzügen]. Die Prüfung der Treue, oder: die Irrungen. Ein Lustspiel [in 3 Aufzügen].*

Lamotte, Karl August De (? - ?)

- 272 — *Schauspiele.* Mannheim und Heidelberg, Schwan und Götz, 1806. 10 × 17 cm. II, 134, (2); 91, (5) S. Kart. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. VI, S. 464, 59.* - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Ida Münster. Schauspiel (bei Goedeke: Trauerspiel) in fünf Aufzügen.* - *Der beste Wucher. Schauspiel in drei Aufzügen.*

Langbein, August Friedrich Ernst (1757 - 1835)

- 273 — *Die Schule der Eleganz. Eine Posse in drey Aufzügen.* Berlin, Schüppel, 1805. 11 × 18 cm. II, 210 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. IV/1, S. 642, 7; Wilpert/Gühning S. 748, 14.* - *Auszug aus: Neue Schriften [2 Bde., Berlin, Schüppel, 1804].*

Lebrun (auch: Lebrün), Carl August (1792 - 1842)

- 274 — *Kleine Lustspiele und Possen.* Mainz, F.Kupferberg, 1816. 10 × 17 cm. II, 41, 45, 64, 115 (+8) S. Hldr. St. (2),(3) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/1, S. 389, 2.* - *Inhalt: Die Empfehlungsbriefe. Dramatische Maske in einem Akt.* - *Liebe und Geheimniß. Lustspiel in einem Akt. Nach le Pain's Vaudeville frei*

bearbeitet. - *Der Krämerzwist in Fehdingen, Posse in zwei Aufzügen. Nach Langbeins Roman „Franz und Rosalie“ frei bearbeitet.* - *Die diebische Elster, oder Der Schein trügt. Schauspiel in drei Abteilungen nach dem Französischen des Cainez und d'Aubigny frei bearbeitet. Mit einem Anhang.*

- 275 — Neue kleine Lustspiele und Possen. Mainz, F.Kupferberg, 1818. 10 × 17 cm. VI, 70, 54, 51 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 389, 3. - *Inhalt: Die Zudringlichen. Lustspiel in vier Acten.* - *Alles gefoppt oder: Der erste April. Scherzhafte Scene. Weiberlist und Männertreue. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach dem Französischen des Étienne bearbeitet.* - *Shakespeare. Ein Spiel in Versen.*

- 276 — Lustspiele. Original[e] und Bearbeitungen. Theil 2 [der zweibändigen Ausgabe 1822]. Mainz, F.Kupferberg, 1822. 10 × 16 cm. IV, 98, 51, 150 S. Hldr.

Goedeke Bd. XI/1, S. 390, 9. - *Inhalt: Er ist sein eigener Gegner. Lustspiel in drei Aufzügen.* - *Ninon, Moliere und Tartüffe. Lustspiel in einem Aufzug. Nach Simon bearbeitet.* - *Die Schauspieler. Lustspiel in fünf Aufzügen, in Versen. Mit einem Prolog. Nach Casimir Delavigne.*

- 277 — (Bearb.) Lustspiele und Possen von L.B.Picard. Für die deutsche Bühne bearbeitet. Mainz, F.Kupferberg, 1826. 11 × 16 cm. IV, 85 (+15), 55, 68, 102 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. XI, S. 392, 18. - *Inhalt: Aller Welt Freund. Lustspiel in zwei Aufzügen. Mit einem Anhang zu „Aller Welt Freund“.* - *Aller Welt Vetter. Lustspiel in einem Act.* - *Der Empfindliche. Lustspiel in einem Aufzug.* - *Verwechselungen. Lustspiel in zwei Aufzügen.*

- 278 — (Bearb.) Lustspiele und Possen von L.B.Picard. Für die deutsche Bühne bearbeitet. Mainz, F.Kupferberg, 1826. 11 × 17 cm. IV, 85 (+15), 55, 68, 102 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Das gleiche Expl. wie Nr. 277.

- 279 — Neueste Bühnenspiele in Original-Lustspielen und Bearbeitungen [auch unter dem Titel: Neue Bühnenspiele in Original-Lustspielen und Bearbeitungen Bd. 2 (als Fortsetzung vom Bd. 1: 1826)]. Mainz, F.Kupferberg, 1830. 11 × 17 cm. 92, (4), 112, 96 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 393, 21. - *Inhalt: Die Stimme der Natur. Schauspiel in vier Aufzügen von F.L.Schröder. Für die Darstellung eingerichtet.* - *Zeitspiegel. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach Picard's und Mazere's „Trois Quartiers“ frei bearbeitet.* - *Hans Luft. Dramatische Skizze in drei Abteilungen. Frei nach dem Französischen.*

Lehndorff, August Adolf Leopold von (1771 - 1820)

- 280 — Ulldolini. Schauspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Chr. Fr. Himburg, 1790. 10 × 16 cm. 130 S. Mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke (Bd. V, S. 253, 1) sowie Hirschberg (S. 296) kennt diese Ausgabe nicht. Goedeke gibt an: O.O. 1791 bzw. Berlin 1792.

Lenz, Johann Reinhold (Pseud.: J. R. Lenz-Kühne) (1778 - 1854)

- 281 — (Pseud.) Schauspiele nach Walter Scott's Kenilworth und Ivanhoe. Mainz, F.Kupferberg, 1826. 11 × 17 cm. II, 178, 162 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 594, 2. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Die Flucht nach Kenilworth. Tragödie in fünf Acten nach Walter Scott's Roman: Kenilworth.* - *Das Gericht der Templer. Romantisches Schauspiel in fünf Aufzügen, nach Walter Scott's Roman: Ivanhoe.*

- 282 — Lustspiele. Bd. 1 [von 2]. Mainz, F.Kupferberg, 1835. 11 × 16 cm. 124, (4), 120, 68, 80 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 594, 4, I (Irrig wäre die Angabe über Seitenzahl: 168, 68, 96, 124.). - *Inhalt: Die Nacht der Irrungen. Lustspiel in fünf Aufzügen. Dem Englischen des Samuel Tuke entlehnt.* - *Katharina II. und ihr Hof. Lustspiel in drei Acten. Nach dem Französischen.* - *Die vornehme Welt in der Bedientenstube. Lustspiel in zwei Aufzügen.*

- Aus dem Englischen. - Carl der Zweite oder der lustige Monarch. Lustspiel in zwei Aufzügen. Nach dem Französischen des Alexander Duval.*
- 283 — Bd. 2. Mainz, F.Kupferberg, 1835. 11 × 16 cm. 168, 160 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke ebenda, 4, II (Seitenzahl: 80, 120). - Inhalt: Margarethe von Valois und die Mißvergnügten im Jahr 1579. Drama in fünf Aufzügen. Nach dem Französischen. - Hochmuth kommt vor dem Fall. Lustspiel in fünf Aufzügen. Frei nach dem Englischen.
- Lindheimer, Friedrich (? - 1822)
- 284 — Das Friedensfest. Ein Lustspiel in zwei Akten. Mannheim, Schwan und Götz, 1797. 12 × 18 cm. II, 123 (+1), (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke (Bd. V, S. 377, 36, 2.) kennt diese Ausgabe nicht und gibt 1798 an.
- Lohmann, Johanna Friderike, geb. Ritter (1749 - 1811)
- 285 — (anonym) Der blinde Harfner. Schauspiel in vier Aufzügen. Nach Veit Webers Sagen der Vorzeit fürs Theater bearbeitet. O.O., o. Verl., 1794. 10 × 17 cm. II, 126 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 477, 19, 1 (Erstausgabe: Wittenberg 1791); Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 264, 8810.
- Lohmann, Peter (1833 - 1907)
- 286 — Oliver Cromwell. Historisches Schauspiel in 5 Aufzügen. Leipzig, H.Luppe, 1858. 14 × 21 cm. 67, (1) S. Br.
Brümmer Bd. IV, S. 293.
- Marschner, Eduard (1799 - ?)
- 287 — Coligny, Admiral von Frankreich. Trauerspiel in fünf Akten. Leipzig, Baumgärtner, 1820. II, 300 (+ 1), (3) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 311, 1. - Erste Ausgabe.
- Matte, Heinrich (? - ?)
- 288 — Der Criminal-Prozeß, oder: Wer ist der Schuldige? Schauspiel in drei Acten. Nach einer Erzählung von Blumengarten frei bearbeitet. Als Manuscript für die Bühnen gedruckt. O.O., o. Verl., o.J. [um 1834]. 10 × 14 cm. 160 S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 278, 41a, 2.
- Meisl, Karl (1775 - 1853)
- 289 — Carolo Carolini, der Banditenhauptmann. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Als Gegenstück zum Rinaldo Rinaldini nach dem Roman gleichen Namens frey bearbeitet. Wien, M.A.Schmidt, 1801. 13 × 19 cm. 94 S. Hldr. St. (2), (3) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/2, S. 264, 1; Wilpert/Gühning S. 843, 1. - Erste Ausgabe.
- 290 — Theatralisches Quodlibet oder sämmtliche dramatische Beyträge für die Leopoldstädter Schaubühne. Bd. 2 [der zehnbändigen Ausgabe von 1820 - 1825]. Pesth, Hartleben, 1820. 12 × 19 cm. VI, 252, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/2, S. 264; Wilpert/Gühning S. 843, 2. - Inhalt: Orpheus und Euridice, oder So geht es im Olymp zu! Eine mythologische Karrikatur in zwei Acten in Knittelreimen. Musik von Ferdinand Kauer. - Die Aloe im botanischen Garten zu Krähwinkel. Eine Posse in einem Act. - Ein Tag in Wien. Eine lokale Original-Posse in drey Acten. - Der Flügelmann, oder Er muß sie heirathen. Ein Original-Lustspiel in einem Act.
- 291 — Bd. 3. Pesth, Hartleben, 1820. 12 × 19 cm. IV, 266, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T. und (3) a.d.Vs.
Inhalt: Amor und Psyche. Eine mythologische Karrikatur in Knittelreimen mit Gesang in

- zwey Acten. Musik von Ferdinand Kauer. - Das Gespenst auf der Bastei. Eine Posse mit Gesang in zwey Acten. Musik von [Franz] Volkert. - Die alte Ordnung kehrt zurück. Ein Gemählde in drey Acten, mit einem Epiloge. Musik von Wenzel Müller. - Die Schwaben-Wanderung. Eine Posse mit Gesang in drey Acten. Musik von Ignatz Schuster.
- 292 — Bd. 4. Pesth, Hartleben, 1820. IV, 236 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Die travestirte Zauberflöte. Eine parodirende Posse in zwey Acten. Musik von Wenzel Müller. - Die Damenhütte im Theater. Eine Posse in einem Act. - Odioso, der kleine Teufel. Ein Schauspiel in fünf Acten voll natürlicher Wunder. Als Seitenstück zum Abellino. - Die Frau Ahndel. Eine Parodie der Ahnfrau in zwey Acten, mit Gesang, in Knittelreimen. (Musik von Wenzel Müller.)

Mendelssohn, Joseph (1817 - 1856)

- 293 — Ein Weib aus dem Volke! Drama in fünf Acten. Frey nach Dennery und Mallian. Hamburg, Berendsohn, 1846. 9 × 12 cm. 96 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brimmer Bd. IV, S. 427.

Milman, Henry Hart (1791 - 1868)

- 294 — Der Fall von Jerusalem, ein dramatisches Gemälde. Aus dem Englischen von A[braham] F[riedrich] Blech. Königsberg, A.W.Unzier, 1823. 10 × 12 cm. 190 (+1) S. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 451, 31, 6 (mit Angabe: Dramatisches Gedicht).

Molière, Jean Baptiste Poquelin (1662 - 1673)

- 295 — Molière's Charakter-Komödien. Aus dem Französischen von Adolf Laun. Mit Anmerkungen. Leipzig, Bibliographisches Institut, o.J. 13 × 19 cm. 378 (+1), (8) S. [=Die Klassiker der deutschen und ausländischen Literatur. Franz. Literatur.] OLwd. St. Mit Rt. und Rvergold. (3) a.d.T.
Inhalt: Einleitung (Molière's Leben und Wirken). - Misanthrop. - Der Tartüff oder der Betrüger. - Die gelehrten Frauen. (Es fehlen S. 274 - 368.)

Mühlbach, Luise (1814 - 1873)

- 296 — Pariserin nach der neuesten Mode. Modernes Sittenbild in 1 Akt. Nach einer französischen Idee. Berlin, Artistische Anstalt, 1857. 10 × 15 cm. VI, 58 S. OHLwd. St. (3) a.d.T.
Kosch Bd. X, Sp. 1400 (Jahreszahl: 1856).

Müllner, Amadeus Gottfried Adolf (1774 - 1829)

- 297 — Spiele für die Bühne. Lieferung 1. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o.J. [1815]. 11 × 15 cm. II, 328 S. mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 301, 13: Wilpert/Gühning S. 905, 10 - Inhalt: Der neun und zwanzigste Februar. Trauerspiel in einem Akt. - Die Vertrauten. Lustspiel in zwey Akten. - Der angolische Kater, oder die Königin von Golkonde. Lustspiel in einem Akt. - Die Zurückkunft aus Surinam. Lustspiel in drei Akten, nach Voltaire's „La femme qui a raison“ frey bearbeitet.
- 298 — Die Schuld. Trauerspiel in vier Akten. 3. Aufl. Mit einer Beilage: Beurtheilung des Stückes und seiner Aufführungen in Wien aus der Zeitschrift Thalia, mit Anmerkungen des Verfassers. Leipzig, G.J. Göschen, 1817. [1. Aufl.: 1816.] 10 × 17 cm. 1 Bl. mit Portr., XX, 250 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 304, 24; Wilpert/Gühning S. 905, 12.
- 299 — König Yngurd. Trauerspiel in fünf Akten. Leipzig, G.J.Göschen, 1817. 10 × 16 cm. Mit einer Beilage: Über die Darstellung des Trauerspiels, König Yngurd, auf der Volksbühne. Leipzig, G.J. Göschen, 1817. 10 × 16 cm. XII, 362 (+2) S. mit 2 Kupfern. Ppbd. St. (2), (3) a.d.T.

- Goedeke Bd. VIII, S. 303, 22; Wilpert/Gühring S. 906, 14. - Erste Ausgabe.*
- 300 — Spiele für die Bühne. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe 1818/1820]. Leipzig, G.J. Göschen, 1820. 10 × 15 cm. VI, 456 (+1) S. Hldr.
- Goedeke Bd. VIII, S. 304, 29; Hirschberg S. 350; Wilpert/Gühring S. 906, 16. - Inhalt: Die Zweiflerin. - Die großen Kinder. - Der Wahn. - Der Blitz. - Die Onkelei.*
- 301 — Die Albaneserin. Trauerspiel in fünf Akten. Mit einer Beilage für Bühnenvorsteher: Fata libelli. Stuttgart und Tübingen, J.G.Cotta, 1820. 10 × 12 cm. X, 255 (+1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
- Goedeke Bd. VIII, S. 305, 34; Wilpert/Gühring S. 906, 17. - Erste Ausgabe.*
- 302 — Dramatische Werke. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1881]. 9 × 14 cm. IV, 87, (1), 113, (1), 97, (3), 76, 44, 67, (1), 64, (16) S. OLwd. St. (3) a.d.T.
- Inhalt: Die Schuld. - König Yngurd. - Die Albaneserin. - Der neunundzwanzigste Februar. - Die Zurückkunft aus Surinam. - Die Vertrauten. - Die großen Kinder. - Die Onkelei. - Der Blitz. - Die Zweiflerin. - Der angolische Kater.*

Nagel, Herm. (•••• - ••••)

- 303 — Das Glas Wasser, oder: Ursachen und Wirkungen. Lustspiel in fünf Akten. Nach dem Französischen des M.E. Scribe. Berlin, L.Fernbach, 1841. 11 × 17 cm. 144 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Naubert, Christiane Benedicte, geb. Hebenstreit (1756 - 1819)

- 304 — (anonym) Conradin von Schwaben. Ein Drama in fünf Acten. 2. Aufl. Leipzig, o.Verl., 1783. [1. Aufl.: Frankfurt und Leipzig 1782.] 12 × 19 cm. XII, 148 S. Mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.
- Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 344, 10011; Goedeke (Bd. V, S. 497, 5) gibt nur eine spätere Ausgabe [Leipzig 1787] mit dem Titel: Konradin von Schwaben oder Geschichte des Enkels Kaisers Friedrichs II. an.*

Nencke (auch: Nenke), Karl Christoph (1750 - 1811)

- 305 — Carvallo, oder: der Fluch der Aeltern. Ein Schauspiel in fünf Acten. Berlin, A.Weber, 1784. 11 × 18 cm. XVI, 176 S. Kart. St. (2) a.d.T.
- Goedeke Bd. V, S. 396, 11, 1.*

Neustädt, Bernhard (1796 - ?)

- 306 — Ben David, der Knabenräuber, oder: Der Christ und der Jude. Schauspiel in fünf Aufzügen. Nach Spindels Erzählung „Der Jude“ [Stuttgart 1827] für die Bühne bearbeitet. Breslau, F.E. Leuckart, 1832. 11 × 19 cm. VIII, 164 S. Br. St. (2) a.d.T.
- Goedeke Bd. X, S. 356, 12b.*

Nicolay, Ludwig Heinrich (Freiherr von) (1737 - 1820)

- 307 — (anonym) Die Familien-Neckereyen. Ein Lustspiel in drey Akten. Nach Goldoni bearbeitet. Königsberg, Fr. Nicolovius, 1808. 11 × 17 cm. 184 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
- Holzmann/Bohatta (Bd.II, S. 88, 2929) gibt an: Lustspiel in vier Akten.; Killy Bd. VIII, S. 404.*

Oehlenschläger, Adam Gottlob (1779 - 1850)

- 308 — Ludlam's Höhle. Dramatisches Märchen in fünf Akten. Berlin/Wien, Nicolai/C. Gerold, 1818. 10 × 18 cm. 176 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
- + Angeb.: Ders., Freya's Altar. Lustspiel in fünf Akten. Berlin/Wien, Nicolai/C.Gerold, 1818. II, 220 S.
- (Zu Ludlam's Höhle:) Goedeke Bd. VI, S. 168, 13 (irrig: 220 S.); Hirschberg S. 364. - (Zu Freya's Altar:) Goedeke Bd. VI, S. 168, 14; Hirschberg S. 364.*

- 309 — Die Räuberburg. Singspiel. (Vom Verfasser zur Kuhlauschen Musik aus dem Dänischen übersetzt.) Stuttgart und Tübingen, J.G.Cotta, 1821. 11 × 17 cm. 144 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 169, 22; Hirschberg S. 364. - Erste Ausgabe.
- 310 — Erich und Abel. Trauerspiel [in 5 Handlungen]. Stuttgart und Tübingen, J.G.Cotta, 1821. 11 × 17 cm. 190 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 169, 23; Hirschberg S. 364.
- 311 — Die Wäriinger in Konstantinopel. Trauerspiel in fünf Akten. Berlin, Schlesinger, 1828. 11 × 18 cm. II, 191, (6) S. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 170, 28; Hirschberg S. 365. - Erste Ausgabe.

Oldenburg, Johann Ferdinand August (1799 - 1868)

- 312 — Unterthanentreue, oder: Die Belagerung Rendsburg's im Jahr 1645. Historisches Schauspiel in 5 Aufzügen. Rendsburg, gedr. und in Comm. bei J.G. Wendell, 1827. 10 × 17 cm. V, 127 (+1) S. Kart. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 371, 1.

Pleisner (Pleißner), Heinrich Christian (1756 - ?)

- 313 — Komm mir noch Einer mit heyrathen! Ein Lustspiel in drey Handlungen. Neuwied, J. L.Gehra, 1791. 10 × 16 cm. 141 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 375, 16, 3.

Rambach, Friedrich Eberhard (1767 - 1826)

- 314 — Vaterländische Schauspiele. Bd. 1. Berlin, Fr. Maurer, 1797. 10 × 17 cm. 1 Bl. 184; VI, 167 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 294, 17, 10; Hirschberg S. 394. - Goedeke sowie Hirschberg kennt diese Ausgabe nicht und gibt eine andere, dreibändige Ausgabe [Leipzig 1798 - 1880] an. - Inhalt: Der große Kurfürst von Rathenau. Ein vaterländisches Schauspiel in vier Aufzügen. - Otto mit dem Pfeile, Markgraf von Brandenburg. Ein vaterländisches Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 315 — Dramatische Gemälde. Berlin, Schüppel, 1803. 10 × 17 cm. II, 172, 160 [es fehlt: S. 4 - 5], 62 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 294, 17, 15; Hirschberg S. 394; Meyer Bd. 2, S. 842. - Inhalt: Nabob oder Geheimniß [in 5 Akten]. - Der Triumph des Frohsinns [in 5 Akten]. - Die Terne oder Künstlerglück [in 1 Akt].

Raupach, Ernst Benjamin Salomo (1784 - 1852)

- 316 — Die Gefesselten, dramatische Dichtung in fünf Abtheilungen mit einem Prolog. Leipzig, C.Cnobloch, 1821. 11 × 17 cm. II, 220 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 661, 9; Wilpert/Gühning S. 1005, 8. - Erste Ausgabe.
- 317 — Die Liebe Zauberkreis, ein dramatisches Gedicht in fünf Akten. Leipzig, C.Cnobloch, 1824. 12 × 16 cm. IV, 130 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 661, 20; Wilpert/Gühning S. 1005, 11. - Erste Ausgabe.
- 318 — Die Freunde. Ein Schauspiel in fünf Acten. Leipzig, C.Cnobloch, 1825. 11 × 18 cm. 171, (2) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 662, 22; Wilpert/Gühning S. 1006, 12. - Erste Ausgabe.
- 319 — Die Bekehrten. Lustspiel in fünf Akten. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1827. 11 × 18 cm. IV, 127 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 663, 34; Wilpert/Gühning S. 1006, 15. - Erste Ausgabe.
- 320 — Rafaele. Trauerspiel in fünf Akten, nach einer neu-griechischen Sage. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1828. 11 × 17 cm. II, 136 S. mit Titelvign. Hldr.
Goedeke Bd. VIII, S. 663, 36; Wilpert/Gühning S. 1006, 17. - Erste Ausgabe.

- 321 — Tasso's Tod. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1835. 11 × 17 cm. VI, 142 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 665, 58; Wilpert/Gühning S. 1006, 35. - Erste Ausgabe.
- 322 — Vormund und Mündel. Schauspiel in fünf Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1835. 11 × 17 cm. 140 S. Br. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 665, 59; Wilpert/Gühning S. 1006, 36.
- 323 — Der Zeitgeist. Possenspiel in vier Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1835. 11 × 17 cm. IV, 138 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 665, 60 (Irrig wäre die Angabe über Seitenzahl: 140.); Wilpert/Gühning S. 1006, 38. - Erste Ausgabe.

Reinhard, Bernhard Heinrich Carl (1760 - 1799)

- 324 — Der Pasquillant, oder: Es lebe Friedrich der Große! Ein Schauspiel in zwei Aufzügen. Braunschweig, C.A.Schröder, 1792. 11 × 17 cm. 61 (+1) S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Hesler, Ernst Friedrich (1771 - ?) (anonym), Der Prozeß. Ein Schauspiel in vier Akten. Frankfurt a. M., J.L.E.Zeßler, 1792. II, 174 S.
(*Zu Reinhard:*) *Goedeke Bd. V, S. 379, 10, 1. - (Zu Hesler:) Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 304, 9885; Goedeke Bd. VI, S. 439, 7, 1.*

Reinhold Carl Wilhelm (1777 - 1841)

- 325 — Die Eheleute vor der Hochzeit oder sie sind zu Hause. Lustspiel in Einem Aufzuge. Nach dem Französischen frey bearbeitet. Leipzig, C.A.Solbrig, 1809. 11 × 16 cm. 96 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Albrecht, Johann Friedrich Ernst, Claus Storzenbecher. Ein dramatisches Gemälde aus den frühern Zeiten des hanseatischen Bundes, in fünf Aufzügen. Neu bearbeitet. Hamburg und Altona, G.Vollmer, 1804. 144 S.
(*Zu Reinhold:*) *Goedeke Bd. VI, S. 472, 73, 7. - (Zu Albrecht:) Goedeke Bd. V, S. 503, 84.*

Reilstab, Ludwig (1799 - 1860)

- 326 — Karl der Kühne. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Dunker und Humblot, 1824. 12 × 18 cm. XX, 194 S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 539, 83, 2; Wilpert/Gühning S. 1022, 3. - Erste Ausgabe.

Riesch, Franz Josef Graf von (1793 - 1833)

- 327 — Bühnenspiele. Bd. 2 [der vierbändigen Ausgabe 1820]. Wien, Tendler, 1820. 10 × 16 cm. 2 Bl., XIV, 314 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 541, 4. - Inhalt: Der Sturz in den Abgrund. Drama in drei Aufzügen. - Gabriele. Trauerspiel in fünf Aufzügen.

Ritter, Heinrich Ludwig (? - ?)

- 328 — Der Vampyr oder die Todten-Braut, romantisches Schauspiel in drei Acten; in Verbindung eines Vorspiels: Der Traum in der Fingalshöhle; nach einer Erzählung des Lord Byron. Deutsch bearbeitet. Braunschweig, G.C.E.Meyer, 1822. 11 × 17 cm. II, 128, (1) S. mit 1 Kupfer. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 225, 3; Kosch Bd. XIII, Sp. 64.

Rittershausen, Joseph Sebastian (1748 - 1820)

- 329 — Die Tochter Jephthe. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. 2. verb. Aufl. O.O. [München], o.Verl. [Lentner], 1790. [1. Aufl.: Bregenz 1785.] 11 × 17 cm. 187, (1) S. mit Titelvign. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 363, 42, 1.

Rochlitz, Johann Friedrich (1769/70 - 1842)

- 330 — Das Blumenmädchen. Operette in Einem Aufzuge. Züllichau und Freystadt, Darnmann, 1803. 12 × 18 cm. 46, (2) S. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“ 1803.] Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.

Goedeke Bd. V, 485, 10a.

- 331 — Revenche [so]. Lustspiel in zwey Aufzügen, nach dem Französischen. Züllichau und Freystadt, Darnmann, 1804. 10 × 16 cm. 60, (4) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 485, 12; Kosch Bd. XIII, Sp. 108.

Rüdinger, Carl August (1775 - ?)

- 332 — Erich und Abel, Könige von Dänemark. Ein vaterländisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Schleswig, J.G.Röhß, 1796. 10 × 16 cm. VIII, 246 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 385, 23, 4.

Sanct-Hilar (•••• - ••••)

- 333 — Charlotte Stieglitz. Drama in 5 Aufzügen. Leipzig, H.Luppe, 1859. 12 × 18 cm. IV, 128 S. Br. Unaufgeschnitten.

- 334 — Charlotte Stieglitz. Drama in 5 Aufzügen. Leipzig, H.Luppe, 1859. 12 × 18 cm. IV, 128 S. Br. Unaufgeschnitten.

Das gleiche Expl. wie Nr. 333.

Schiller, Friedrich (von) (1759 - 1805)

- 335 — Die Braut von Messina oder die feindlichen Brüder. Ein Trauerspiel mit Chören. 12 × 20 cm. S. 453 - 604. (152 S.) Ohne Titelblatt. Hldr. St. (2) auf der Anfangsseite. [Lesebibliotheks-Expl.]

Es handelt sich wohl um das letzte Teil eines zwei- oder dreigeteilten Expl., aus: „Theater von Schiller“ [5 Bde. Tübingen, C.G.Cotta, 1805 - 1807], Bd. 3 [1806], S. 453 - 604. - Vgl. Goedeke Bd. V, S. 151, 2, III; S. 227, 9.

- 336 — Wilhelm Tell. Ein Schauspiel [in 5 Aufzügen]. Mit einer Einleitung und mit kritischen Noten von W. Vollmer. Stuttgart, J.G.Cotta, 1879. 12 × 18 cm. XXIV, 174 S. OLwd. *Goedeke V, 230, 12.*

Schink, Johann Friedrich (1755 - 1835)

- 337 — Ein Grab mit der Geliebten. Romantisches Trauerspiel in fünf Abtheilungen. Berlin, Bureau für Literatur und Kunst, 1821. 12 × 19 cm. XVIII, 174 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke IV/1, S. 919, 101; Hirschberg S. 447.

Schmidt, Friedrich Ludwig (1772 - 1841)

- 338 — Cervantes Portrait. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach dem Französischen. Frei übersetzt. Leipzig, W.Rein, 1804. 10 × 16 cm. 158 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Ders., Der bestrafte Argwohn. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. Nach dem Französischen. Leipzig, W.Rein, 1804. 76 S.

Goedeke Bd. V, S. 293, 16, 10b; 10c.

Schneider, Ludwig (1805 - 1878)

- 339 — (Hrsg.) Jokosus. Repertoire für das deutsche Liederspiel, Vaudeville und Quodlibet. Bdchn. 1. Berlin, A.W.Hahn, 1838. 12 × 19 cm. II, 248, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Brümmner Bd. VI, S. 264. - Inhalt: Der reisende Student oder das Donnerwetter, musikalisches Quodlibet in zwei Aufzügen. Musik von mehreren Komponisten. - Der Kapellmeister von Venedig, Musikalisches Quodlibet in einem Aufzuge. - Fröhlich, musikalisches Quodlibet in zwei Aufzügen. Musik von mehreren Komponisten. - Wohl-gemuth, musikalischer Scherz in einem Aufzuge. Musik von mehreren Komponisten.

Schulze, Friedrich August (Pseud. 1: Friedrich Laun; 2: Hans Helldunkel) (1770 - 1849)
340 — (Pseud. 1) Schauspiele. Dresden, Arnold, 1807. 11 × 17 cm. 142, 192 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, 526, 32; Wilpert/Gühning S. 1183, 33. - Inhalt: Gabriele d'Estées. (Trauerspiel in fünf Aufzügen.) - Das Hochzeitgeschenk. (Lustspiel in fünf Aufzügen.)

341 — (Pseud. 2) Possenspiel. Leipzig, K.Tauchnitz, 1808. 10 × 17 cm. IV, 228 S. mit 1 kolor. Kupfer. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 526, 34; Hirschberg S. 466; Wilpert/Gühning S. 1183, 35. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Das Schicksal. Marrionetten-Trauerspiel. - Die Namensvetter. Lustspiel.

Schütze, Stephan (1771 - 1839)

342 — Die Journalisten. Lustspiel in einem Aufzuge. Leipzig, G.Voß, 1806. 12 × 19 cm. 88 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 320, 5; Hirschberg S. 464. - Erste Ausgabe.

343 — (Pseud.) Der Dichter und sein Vaterland, Lustspiel in drei Aufzügen. Als Vorschlag zu einer Todtenfeier für alle Dichter, die gestorben sind, und noch sterben werden. Leipzig, E.F.Steinacker, 1806. 12 × 18 cm. 171, (4) S. Ppbd. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 320, 6; Hirschberg S. 464. - Erste Ausgabe.

Sensenstein, Sanenz von (Pseud.: Friedrich Karl Sannens) (1761 - 1849)

344 — (Pseud.) Das Jagdschloß. Lustspiel in zwey Aufzügen bey Gelegenheit der zweyten Entbindung Ihrer Majestät der Kaiserinn Therese. Wien, A.A.Patzowsky, 1796. 11 × 17 cm. 78 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V. S. 339, 134, 3.

Shakespeare, William (1564 - 1616)

345 — Romeo und Julia. Übersetzt von Johann Heinrich Voß. Mit Erläuterungen. Leipzig, F. A.Brockhaus, 1818. 13 × 20 cm. 168 S. [=Einzeldruck aus der von 1818 - 1829 in Leipzig erschienenen neunbändigen Ausgabe: Shakespeares Schauspiele.] Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1075, 46.

Sievers, Georg Ludwig Peter (1766 - 1830)

346 — Hans von Krikkraf, oder: Eine Lüge ist der andern werth. Posse in einem Aufzuge. Nach dem Französischen des: Monsieur de Crac dans son petit castel, ou les Gascons, par J.F.Collin-Harville frei bearbeitet. Leipzig, W. Rein, 1802. 11 × 16 cm. Hldr. 132, (1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 452, 3.

347 — Die Narbe an der Stirn, Lustspiel in vier Aufzügen. Leipzig, W.Rein, 1802. 11 × 16 cm. VI, 238 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke, VI, 452, 4.

348 — Er und Sie. Lustspiel in einem Aufzuge. Hamburg und Altona, G.Vollmer, 1805. 10 × 16 cm. 88 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Anonymus, Der Inquisitor von Tortosa. Ein Schauspiel in drei Aufzügen. Frei nach dem Französischen. Hamburg und Altona, G.Vollmer, 1805. 110, (2) S.

+ Angeb.: Leuchert, Michael (1751 - ?) (anonym), Wohlthun macht glücklich. Ein Schauspiel in zwey Aufzügen. Zum Besten der Armen. Dessau, in Comm. bey G.Vollmer, 1794. 126 S.

(Zu Sievers:) Goedeke Bd. VI, S. 452, 8. - (Zu Anonymus:) Derselbe Titel auch bei Heinrich Gottlieb Schmieder, ein Trauerspiel in 4 Aufzügen (Hamburg 1804). Vgl. Goedeke Bd. V, S. 383, 15. - (Zu Leuchert:) Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 410, 12799.

349 — Die Schatzgräber. Posse in einem Aufzuge. Fortsetzung der beiden Billets. Hamburg G.Vollmer, o.J. [1807]. 10 × 16 cm. 56 S. Ppbd.

+ Angeb.: Schmidt, Friedrich Ludwig (anonym), Die Belagerung von Magdeburg im Jahre

1551. Vaterländisches Schauspiel in fünf Aufzügen. Hamburg, G.Vollmer, 1808. 221 S. [Auszug aus: „Neue Schauspiele“ (2 Bde. 1807 - 1810.).] (Zu Sievers:) *Goedeke Bd. VI, S. 452, 12; Hirschberg S. 477.* - (Zu Schmidt:) *Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 167, 4885; Goedeke Bd. V, S. 293, 11b.*
- 350 — Der Citronen-Wald. Ein Original-Lustspiel mit Gesang in vier Aufzügen. Die Composition der Gesänge vom Verfasser. Leipzig, C.G.Weigel, 1809. 10 × 16 cm. 206, (1) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 453, 18; Hirschberg S. 478.
- Soden, Friedrich Julius Heinrich Reichsgraf von (1754 - 1831)
- 351 — Romio und Juliette. Ein dramatisches Gedicht nach della Cortes Geschichte von Verona. Leipzig und Camburg, W.Rössler, 1803. 12 × 21 cm. Frontispiz, II, 150 (+1) S. Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.
Hirschberg S. 482.
- Solbrig, Karl Friedrich (1773 - 1838)
- 352 — Vaterliebe oder der Engländer in Amerika. Ein Trauerspiel in drei Akten. Magdeburg, A.Fr.v.Schütz, 1811. 11 × 18 cm. 110 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 330, (Dramatisches:) 1.
- Sophokles (497 - 406/05 v. Chr.)
- 353 — Tragödien. 2 Teile (in 1 Bd.). Übersetzt von Heinrich Viehhoff. Leipzig, Bibliographisches Institut, o.J. 13 × 19 cm. 463 S. [=Die Klassiker der deutschen und ausländischen Literatur: Altertum.] OLwd. St. (3) a.d.T.
Inhalt: (Teil 1:) König Oedipus. - Oedipus auf Kolonos. - Antigone. - (Teil 2:) Der rasende Ajas. - Philoktetes. - Elektra. - Die Trachinierinnen.
- Tarnow, Fanny (eigentl.: Franziska Christiane Johanna) (1779 - 1862)
- 354 — Reseda. Bd. 1 [von 2]. Leipzig, Rein, 1827. 11 × 17 cm. IV, 284 S. Hldr. St. (2) a.d. T.
Goedeke Bd. VI, S. 433, 18; Hirschberg S. 504. - Inhalt: Weibliche Seelenstärke. - Fragmente über Irland. - Die Spanier auf Fühnen. Schauspiel in vier Aufzügen. Frei nach einem ausländischen Original bearbeitet. - Stummer Schmerz.
- Thümmel, August Wilhelm von (1774 - 1814)
- 355 — Die kleinstädtischen Freier. Lustspiel in drei Aufzügen. Koburg und Leipzig, Sinner, 1807. 11 × 18 cm. 119 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 394, 47, 3; Hirschberg S. 514. - Erste Ausgabe.
- Tilly, Johann Baptist (um 1754 - 1795)
- 356 — (anonym) Caroline, oder die unbelohnte Geliebte. Ein Schauspiel in fünf Acten. Leipzig und Rostock, Kopp, 1790. 11 × 19 cm. 144 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 303, 8847; Goedeke Bd. V, S. 450, 17, 2; Kosch 2. Aufl. Bd. IV, S. 3013. - Erste Ausgabe.
- Toepfer (auch: Töpfer), Carl Friedrich Gustav (1792 - 1871)
- 357 — Spenden für Thaliens Tempel. Leipzig, Fr.A.Leo, 1823. 10 × 16 cm. VI, 196 S. Mit 1 Portr. und Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI, S. 408, 11 (Jahreszahl: 1822). - Inhalt: Der Tagsbefehl, ein Drama in zwei Akten. - Die blonden Locken. Dramatisches Spiel in Versen. - Cyprian und Barbara. Ein Lustspiel in Versen in einem Aufzuge.
- 358 — Lustspiele. Bd. 1 (a) [bis 7]. Berlin, Dunker und Humblot, 1830 [- 1857]. 11 × 16 cm. S. I - VI, 1 - 156 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-

Expl.] Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 409, 22, 1; Hirschberg S. 512. - Enthält: Der beste Ton. Lustspiel in vier Aufzügen.

- 359 — Bd. 1 (b). 11 × 16 cm. S. 157 - 208. Ohne Titelbl. [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) auf S. 159.

Goedeke Bd. XI/1, S. 409, 22, 2. - Enthält: Nehmt ein Exempel d'ran. Lustspiel in Alexandrinern und einem Aufzuge.

- 360 — Bd. 1 (c). 10 × 16 cm. S. 209 - 360 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Mit handschriftl. Titelbl. Hldr. St. (1) auf der S. 209.

Goedeke Bd. XI/1, S. 409, 22, 3. - Enthält: Schein und Sein. Lustspiel in fünf Aufzügen.

- 361 — Bd. 2 (a). Berlin, Duncker und Humblot, 1835. 11 × 16 cm. S. I - II, 1 - 141 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 409, 22, 4. - Enthält: Bube und Dame oder Schwache Seiten. Lustspiel in drei Aufzügen.

- 362 — Bd. 2 (c). 11 × 16 cm. S. 319 - 502 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) auf S. 221.

Goedeke Bd. XI/1, S. 409, 22, 6. - Enthält: Freien nach Vorschrift, oder Wenn Sie befehlen. Lustspiel in vier Aufzügen.

Tremler, Wenzel (Pseud.: J.W.Lembert) (1770 - 1851)

- 363 — (Pseud.) Der Papa und sein Söhnchen. Posse in drei Akten. Dem Französischen frei nachgebildet. Leipzig, in Comm. bei C.J.G.Hartmann, 1812. 10 × 16 cm. 176 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 30, 2. - Erste Ausgabe.

- 364 — (Pseud.) Schauspiele. Bd. 1. [Mehr nicht erschienen.] Leipzig, in Comm. bei C.J.G. Hartmann, 1813. 10 × 16 cm. VI, 146; II, 146; II, 163 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 30, 4; Hirschberg S. 515. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Trauring. Schauspiel in drei Aufzügen. - Der Dichter und der Schauspieler oder das Lustspiel im Lustspiel. Ein Lustspiel in drei Aufzügen frei nach Dupaty. - Arete oder Kindestreue. Schauspiel in fünf Aufzügen. Dem Französischen frei nachgebildet.

- 365 — (Pseud.) Der Dichter und der Schauspieler oder das Lustspiel im Lustspiel. Ein Lustspiel in drei Aufzügen frei nach Dupaty. Leipzig, in Comm. bei C.J.G.Hartmann, 1813. 10 × 16 cm. II, 146 S. [=Separatdruck aus: „Schauspiele.“] Ppb. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 30, 40, 2. - Erste Ausgabe.

- 366 — (Pseud.) Dramatische Spiele. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1816. 10 × 13 cm. 344 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 31, 9; Hirschberg S. 514. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Ehemann in der Klemme. Lustspiel in Versen und einem Aufzuge. - Professor Hackler, oder Er nimmt alles übel. Lustspiel in einem Akt. - Die Verwandten des Groß-Veziers. Posse in einem Aufzuge. - Der Gemahl von ungefahr. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Die verbündeten Truppen in Frankreich. Schauspiel in zwei Aufzügen.

- 367 — (Pseud.) Die Brautwahl. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach Picard. Zum ersten Mahle auf dem Berliner National-Hoftheater aufgeführt im Jahre 1817. Wien, Tendler und v. Manstein, 1821. 11 × 18 cm. Br. 124 S. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 32, 14. - Erste Ausgabe.

- 368 — (Pseud.) Das öffentliche Geheimniß. Lustspiel in vier Aufzügen, nach Calderon. (Mit Benützung der Gozzischen Bearbeitung und der Gries'schen Uebersetzung.) Wien, Tendler und v. Manstein, 1824. 11 × 19 cm. 167 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 32, 17; Hirschberg S. 514. - Erste Ausgabe.

- 369 — (Pseud.) Der Ehemann auf Schleichwegen oder: Das verhängnißvolle Rendezvous. Lustspiel in drey Acten. Nach Casimir Bonjour's „Le Mari á bonnes Fortunes.“ Wien,

- Goedeke Bd. XI/1, S. 557, 10, 5 - 8. - Inhalt: *Loos des Genies, oder die alte Fabel. Lustspiel in fünf Akten.* - *Der Pseudopatriotismus. Ein politisch[es] Lustspiel in drei Akten.* - *Der Lendemain. Eine physische Tragikomödie in zwei Akten.* - *Die Tresorscheine. Lustspiel in einem Akt.*
- 377 — Bd. 3. Berlin, J.W.Schmidt, 1809. 11 × 17 cm. II, 156, (2); 80; 36; 30 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 557, 10, 9 - 12. - Inhalt: *Künstlers Erdenwallen. Originallustspiel in fünf Aufzügen.* - *Die Wittwenkasse. Schauspiel in drei Akten.* - *Die Sterbekasse. Posse in einem Akt.* - *Chamarante. Dramatisirte Anekdote aus den Zeiten Ludwigs XIV. (Lustspiel in einem Akt.)*
- 378 — Bd. 4. Berlin, J.W.Schmidt, 1811. 10 × 17 cm. IV, 168, 153 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 557, 10, 13 - 14. - Inhalt: *Vorrede [des Verfassers].* - *Klippen der Frauenzucht. Posse in vier Akten. Ein Gegenstück zur Fausse coquette des Gherardi.* - *Die Emporkömmlinge, oder Harlekin als Gespenst. Posse in vier Akten.*
- 379 — Bd. 5. Berlin, J.W.Schmidt, 1811. 10 × 17 cm. 1 Bl.; II, 130; II, 86; II, 68; 32 S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 557, 10, 15 - 18. - Inhalt: *Die Leuchte ins Gemüth, oder Harlekin der Patriot. Posse in drei Akten.* - *Die Flötenzauber. (Bei Goedeke irrig: Der Flötenspieler.) Lustspiel in drei Akten. Nach einer Begebenheit aus dem Leben des Virtuosen Quanz.* - *Der Besenbinder. Posse in zwei Akten. Nach einem Volksmärchen.* - *Der Jude und der Grieche. Posse in einem Akt.*
- 380 — Bd. 6. Berlin, J.W.Schmidt, 1811. 11 × 17 cm. IV, 36; II, 178; 44; 56 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 558, 10, 19 - 22. - Inhalt: *Beförderung nach Verdienst. Lustspiel in einem Akt.* - *Die seltsame Heirath. Posse in drei Akten.* - *John Horse und Jack Dog, oder Tuchweberpatriotismus. Ein merkantilisch-heroisch-tragisches Lustspiel.* - *Die Re traite pour les dames. Posse in einem Akt.*
- 381 — Bd. 7. Berlin, J.W.Schmidt, 1812. 10 × 17 cm. II, 136, 96, 120 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 558, 10, 23 - 25. - Inhalt: *Die Pfarre. Lustspiel in vier Akten.* - *Quint und Bätely, oder die schnelle Vermählung. Lustspiel in drei Akten. Zum Theil nach einem Roman des Herrn Zschokke. (In Knittelversen.)* - *Die Blume vom Ganges. Ein romantisches Lustspiel in vier Akten.*
- 382 — Bd. 8. Berlin, J.W.Schmidt, 1816. 11 × 17 cm. II, 300 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 558, 10, 26 - 27. - *Zu diesem Band zählt Goedeke noch ein Werk mit dem Titel: „Purismus“ (Nr. 10, 28). Entsprechend der Inhaltsangabe des Titelbl. enthält das vorliegende Expl. zwei Dramen: Die blühende und die verblühte Jungfer. Lustspiel in zwei Theilen.* - *Die Einnahme von Breda. Schauspiel in fünf Akten.*
- 383 — *Die Griechheit. Original-Lustspiel in fünf Aufzügen. Aufgeführt zum Erstenmal auf dem Königlichen Nationaltheater zu Berlin. Berlin, J.W.Schmidt, 1807. 11 × 20 cm. 120 S. Hldr. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“, Bd. 1.]*
Goedeke Bd. XI/1, S. 558. - *Erste Ausgabe.*
- 384 — *Farcen der Zeit. Berlin, J.Fr.Weiß, 1808. 10 × 16 cm. VIII, 62, 104, 88, 56, 120 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.*
Goedeke Bd. XI/1 S. 558, 12; Hirschberg S. 531; Wilpert/Gühning S. 1315, 25. - *Erste Ausgabe - Inhalt: Vorerinnerung.* - *Der Proceß in Südpreußen. Posse von einem Akt.* - *Die Musen im Kriege. Ein traurig[es] Lustspiel in zwei Akten.* - *Er muß heirathen. Opera-Buffera in einem Akt, nach Moliere.* - *Der Kriegs Rath von Cölln. Posse in einem Akt.* - *Die Weinlese [auch unter dem Titel: Das Fest der Winzer]. Komische Oper in drei Aufzügen.*
- 385 — *Neue dramatische Schwänke. Berlin, Schüppel, 1817. 10 × 16 cm. II, 348, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.*
Goedeke Bd. XI/1, S. 560, 24 (irrig: 248 S.); Hirschberg S. 532; Wilpert/Gühning S. 1316, 70 (irrig: 248 S.). - *Erste Ausgabe - Inhalt: Die Einquartierungspein. Posse in*

- einem Aufzug. - *Frau Rußkachel, oder die betrogene Stiefmutter. Posse mit Gesang in einem Aufzug.* - *Die Bettelherberge. Lustspiel nach dem Spanischen.* - *Die Seiltänzer. Lustspiel in vier Aufzügen.* - *Der Erste April. Lustspiel in einem Aufzug.*
- 386 — Die beiden Gutsherrn. Lustspiel in fünf Aufzügen. Mit einer Abhandlung über den Rezensentenunfug in Berlin und das hier zu erwartende zweite Theater. Berlin, Neue Berlinische Buchh., 1820. 11 × 16 cm. 1 Bl., XXXV, 184, (2) S. mit 1 kolor. Bildn. des Fräulein Franz als Margarethe von Rohrshof. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 561, 28; Hirschberg S. 532; Wilpert/Gühning S. 1317, 96. - *Erste Ausgabe.*
- 387 — Neuere Lustspiele. Berlin, Schüppel, 1821. 11 × 16 cm. II, 446 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 562, 30; Hirschberg S. 532; Wilpert/Gühning S. 1317, 104. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Der Weg zum Halsbrechen. Lustspiel in vier Aufzügen [(nach Goedeke:) nach dem Französischen: Les voitures versées, opera comique]. - Der blühende und der verblühte Jüngling. Lustspiel in Zwei [so] Theilen. Gegenstück zu dem Lustspiel: Die blühende und die verblühte Jungfrau. (Theil 1:) Der blühende Jüngling, in 4 Aufzügen. (Theil 2:) Der verblühte Jüngling, in 3 Aufzügen.*
- 388 — Fünf und zwanzig dramatische Spiele. Nach deutschen Sprüchwörtern. Zur Unterhaltung für frohe Zirkel bearbeitet. Berlin, Schüppel, 1822. 11 × 17 cm. 1 Bl. IV, 388 S. mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 562, 31; Hirschberg S. 532; Wilpert/Gühning S. 1317, 108. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: 1) Keine Rose ohne Dornen. Sprüchwortspiel in einem Aufzug. - 2) Der Apfel fällt nicht weit vom Stamm, oder, wie die Alten sangen, zwitscherten die Jungen. - 3) Wie der Mann ist, wird ihm die Wurst gebraten. - 4) Gut macht Muth. - 5) Jung gefreit, hat Niemand gereut. - 6) Wenn die Katze nicht zu Hause ist, springen die Mäuse auf Tisch und Bank. - 7) Dessen Brot ich esse, dessen Lied ich singe. - 8) Gleiche Brüder, gleiche Kappen. - 9) Einem geschenkten Pferde darf man nicht ins Maul sehn. - 10) Besser ein Sperling in der Hand, wie eine Taube auf dem Dache. - ... 25) Was Hänschen nicht lernt, lernt Hans nicht mehr.*
- 389 — Sphinx oder dreißig kleine Räthsel-Lustspiele. Zur leichten Darstellung in frohen Zirkeln bearbeitet. Berlin, Schüppel, 1823. 10 × 16 cm. 1 Bl., II, 458 S. mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 563, 35; Hirschberg S. 533; Wilpert/Gühning S. 1318, 115. - *Erste Ausgabe.* - *Enthält u.a.: 1) Sprüchwords-Räthselspiel. - 5) Ländernamens Räthselspiel - 10) Ortsnamen-Räthselspiel. - 15) Eigennamens-Räthselspiel. - 23) Gegenstands-Räthselspiele. - 29) Blumen-Räthselspiele.*
- 390 — Neuere Lustspiele. Bd. 1 [der siebenbändigen Ausgabe von 1823 - 1827]. Berlin, Schlesinger. 1823. 11 × 17 cm. II, 311, (12) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 563, 36, 1 - 5; Hirschberg S. 533; Wilpert/Gühning S. 1317, 112. - *Erste Ausgabe dieser Sammlung.* - *Inhalt: Die Erbschaft aus Surinam. Lustspiel in fünf Abtheilungen. - Die Sprüchlein. Lustspiel in drei Abtheilungen. - Der Juweelenhändler. Lustspiel in Einem Aufzug. - Die Wei[h]nachtsausstellung. Lustspiel in einem Aufzug. - Der Schwab in Berlin, Posse in Zwei Aufzügen.*
- 391 — Bd. 2. Berlin, Schlesinger, 1825. 11 × 18 cm. II, 238 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 563, 36, 6 - 8. - *Inhalt: Quintin Messis. Spiel in zwei Handlungen. - Die Stecknadel. Lustspiel in drei Aufzügen. - Das schlechtgerathne Bildniß.*
- 392 — Bd. 3. Berlin, Schlesinger, 1825. 11 × 17 cm. II, 248 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 564, 36, 9 - 12. - *Inhalt: Des Fahnjunkers Treue oder Besser spät wie gar nicht. Lustspiel in drei Aufzügen. - Der Geheime-Registrator oder die versalznen Klöße. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Nichts als liebe Jugend. Lustspiel in einem Aufzug. - Der Waisenknabe. Ein Schicksalslustspiel in Zwei Handlungen.*
- 393 — Bd. 4. Berlin, Schlesinger, 1826. 11 × 17 cm. II, 278 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 564, 36, 13 - 16. - *Inhalt: Die Wittwe aus Polen. Lustspiel in vier Aufzügen mit einigem Gesang. (Zum Theil nach Meisl.) - Das Fräulein von Boren.*

Lustspiel in einem Aufzuge. - Die kleine Erinnerung. Lustspiel in zwei Aufzügen. - [Hier ein Zwischenspiel, das im Inhaltsverzeichnis nicht zu finden ist:] Wodan und der deutsche Zeitgeist. Spiel in Knittelreimen von einem Aufzug. - Zur Hochschule. Lustspiel in zwei Aufzügen.

- 394 — Bd. 5. Berlin, Schlesinger, 1826. 11 × 17 cm. II, 262 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 564, 36, 17 - 19. - Inhalt: Das kluge Städtchen. Lustspiel in fünf Aufzügen. - Von der Hochschule. Lustspiel in drei Aufzügen. (Zweiter Theil des Lustspiels: Zur Hochschule.) - Die Erfindung des Schachspiels. Lustspiel in einem Aufzug.
- 395 — Bd. 7. Berlin, Schlesinger, 1827. 11 × 18 cm. II, 238 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 565, 36, 23 - 25. - Inhalt: Schnellpost und Schnelldichter. Original-Lustspiel in vier Aufzügen. - Das Versehen. Lustspiel in drei Aufzügen. - Wiedersehen in der Ferne. Lustspiel in einem Aufzug.
- 396 — Auswahl neuer Lustspiele für das Königliche Hof-Theater in Berlin. Berlin, Schlesinger, 1824. 10 × 16 cm. VI, 405, (1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 565, 37: Wilpert/Gühning S. 1318, 117. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Vorwort [des Verfassers]. - Versailler Hofluft, Original-Lustspiel in fünf Aufzügen. - Berlin im Jahre 1724. Lustspiel in einem Aufzug. - Berlin im Jahre 1824. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Berlin im Jahre 1924. Lustspiel in zwei Aufzügen.

Werner, Franz von (Pseud.: Murad Efendi) (1836 - 1881)

- 397 — (Pseud.) Dramatische Werke. Bd. 2 [von 3]. Leipzig/Leiden, T.O.Weigel/E.J.Brill, 1881. 13 × 18 cm. VIII, 156, 38, 44, 133 S. OLwd. St. (3) a.d.T.
Kosch Bd. X, Sp. 1640. - Inhalt: Mirabeau. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Durch die Vase. Lustspiel in einem Aufzug. - Bogadil. Lustspiel in einem Aufzug. - Johanna Gray. Trauerspiel in fünf Aufzügen.
- 398 — Bd. 3. Leipzig/Leiden, T.O.Weigel/E.J.Brill, 1881. 13 × 18 cm. IV, 94, 112, 139, (1) S. OLwd. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Professors Brautfahrt. Schwank in drei Aufzügen. - Mit dem Strom. Lustspiel in drei Aufzügen. - Ines de Castro. Trauerspiel in fünf Aufzügen.

Wichert, Ernst (1831 - 1902)

- 399 — Die gnädige Frau von Paretz. Dramolet[t] in 1 Aufzug. 2. Aufl. Leipzig, Ph. Reclam, o.J. 11 × 18 cm. 46, (2) S. OLwd. St. (3) a.d.T.
Wilpert/Gühning S. 1382, 30 (Erstausgabe: 1878); Brümmer (Bd. VII, S. 420) sowie Kosch (2. Aufl. Bd. IV, S. 3330) kennt eine 1877 erschienene Ausgabe.

Wiese, Sigismund (1800 - 1864)

- 400 — Drei Trauerspiele. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1835. 12 × 19 cm. II, 306 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. VII, S. 436; Kosch 2. Aufl. Bd. IV, S. 3367. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Wilden und die Ansiedler. Trauerspiel in drei Acten. - Die Märtyrer. Trauerspiel in drei Acten. - Clothar und Sulamith. Trauerspiel in drei Acten.

Winkes, Sebastian (1764 - ?)

- 401 — Adelkunde und Friedrich, oder an einem Tage Braut, Wittwe und wieder Braut. Ein Ritterschauspiel in fünf Aufzügen. Wien, Fr.Haas, 1793. 10 × 16 cm. 121, (2) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 338, 125. - Erste Ausgabe.

Winkler, Karl Gottfried Theodor (Pseud.: Theodor Hell) (1775 -1856)

- 402 — (Pseud.) Die glückliche Entdeckung. Ein Nachspiel. Leipzig, C.G.Weigel, 1806. 10 × 16 cm. 94 (+1) S. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4).
Goedeke Bd. IX, S. 281 8, II, 9. - Erste Ausgabe.

- 403 — (Pseud.) Neue Lustspiele. Bd. 1 (der fünfbändigen Ausgabe von 1807 - 1817). Leipzig, J.C.Hinrichs, 1807. 11 × 17 cm. VI, 164, 55, 148 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 282, 13, 1 - 3; Hirschberg S. 555. - Erste Ausgabe dieser Sammlung. - Inhalt: Glückswechsel, oder die Marionetten. Lustspiel in fünf Akten, nach Sicard. - Er ist es selbst! Lustspiel in einem Akt, nach dem Französischen bearbeitet. - Die beyden Väter oder der Blumenkelch, in zwey Akten, nach Dupaty.
- 404 — Bd. 4. Leipzig, J.C.Hinrichs, 1811. 10 × 17 cm. IV, 78, 224, 126 S. [Es fehlt: S. 1 - 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 282, 13, 11 - 13. - Inhalt: Drei Stockwerk hoch oder das Lustspiel auf der Treppe nach dem Französischen bearbeitet. Nachspiel in einem Akte. - Der Feuerlärm. Original-Lustspiel in vier Aufzügen. - Alisbertha, die Kriegerin der sieben Berge. Ein Schauspiel in 3 Aufzügen.
- 405 — (Pseud.) Der Flatterhafte oder er muß heirathen. Ein Lustspiel in 3 Akten nach Caigniez bearbeitet. Leipzig, J.C.Hinrichs, 1808. 11 × 18 cm. II, 150 S. [=Separatdruck aus: „Neue Lustspiele“, Bd. 3.] Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 282, 13, 9.
- 406 — (Pseud.) Die Verwechslung oder Kleider machen Leute. Nachspiel nach dem Französischen. Leipzig, J.C.Hinrichs, 1809. 11 × 19 cm. S. 231 - 303. [=Separatdruck aus: „Neue Lustspiele“, Bd. 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 282, 13, 6.
- 407 — (Pseud.) Muttermilde, Schauspiel in 3 Akten. [Leipzig, J.C.Hinrichs, 1810.] 11 × 18 cm. 108 S. Ohne Titelbl. [Wohl Separatdruck aus: „Neue Lustspiele“, Bd. 3.] Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 282, 13, 8.
- 408 — (Pseud.) Angelika, oder Der Tochter Opfer. Drama in fünf Akten. Zum erstenmale dargestellt von den Königl. Sächs. Hofschauspielern zu Leipzig am 14. Oktober 1807. Dresden, Arnold, 1811. 13 × 20 cm. 175 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 284, 24. - Erste Ausgabe.
- 409 — (Pseud.) Dramatisches Vergißmeinnicht aus den Gärten des Auslandes nach Deutschland verpflanzt von Theodor Hell. Bdchn. 1 [bis 26]. Dresden [und Leipzig], Arnold, 1823 [bis 1849]. 11 × 17 cm. VI, 194 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 131, 28 sowie Bd. IX, S. 290, 82, 1 f.; Hirschberg S. 555. - Erste Ausgabe. - Mit Ausnahme von Bdchn. 24, in dem sich eine Übersetzung aus dem Französischen befindet, enthält „Dramat. Vergißmeinnicht“ nur Bearbeitungen Winklers (insges. 63 Theaterstücke). - Inhalt des ersten Bändchens: Der Unschuldige muß viel leiden! Lustspiel in drei Akten nach dem Französischen [(nach Goedeke:) der Picard, Wafflard u. Fulgence: „Les deux menages“] bearbeitet. - Clementine. Schauspiel in einem Akte nach dem Französischen [(nach Goedeke:) des Scribe: „Valelie“] bearbeitet.
- 410 — Bdchn. 3. Dresden, Arnold, 1825. 11 × 16 cm. VI, 136, 68 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 291 f. [82, III] 5 - 6. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die beiden Sergeanten. Schauspiel in drei Akten nach dem Französischen des Aubigny. - Der Herr Gevatter. Lustspiel in Einem Aufzuge. Nach dem Französischen [(nach Goedeke:) „Le Parrain“ von Dulestre, Scribe u. Melesville].
- 411 — Bdchn. 4. Dresden und Leipzig, Arnold, 1826. 11 × 17 cm. VI, 200 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 292, [82, IV] 7 - 8. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Benefiz-Vorstellung. Posse in Einem Akte mit fünf Verwandlungen. Nach dem Französischen. - Maria. Schauspiel in drey Acten. Nach dem Französischen.
- 412 — Bdchn. 6 [unter dem Titel: Dramatisches Vergißmeinnicht für das Jahr 1829 aus den Gärten des Auslandes nach Deutschland verpflanzt]. Bdch. 6. Dresden und Leipzig, Arnold, 1829. 11 × 17 cm. VI, 200 S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 292 f., [82, VI] 11 - 12. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Flitterwochen. Lustspiel in zwei Aufzügen. Nach dem Französischen. - Die Unzertrennlichen. Lustspiel in

Einem Aufzuge. Nach dem Französischen.

413 — Bdchn. 10. Dresden und Leipzig, Arnold, 1833. 11 × 18 cm. VI, 106, 123 S. Br. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 294, [82, X] 19 - 20. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Die Verstorbene, oder Abreise und Rückkehr. Drama in zwei Abtheilungen [Abt. I: Die Abreise, in zwei Aufzügen. Abt. II: Die Rückkehr, in zwei Aufzügen.]. Nach dem Französischen.* - *Der lustige Rath. Lustspiel in zwei Aufzügen. Nach dem Französischen.*

414 — Bdchn. 15. Dresden und Leipzig, Arnold, 1838. 11 × 17 cm. IV, 131, 118 S. Ohne Umschlag. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 294, [82, XV] 29 - 30. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt: Der nächtliche Dämon. Lustspiel in zwei Aufzügen. Nach dem Französischen.* - *Clementinens Ehestand. (Als Fortsetzung des Schauspiels Clementine in ersten Bdchn. des dramat. Vergißmeinnicht.) Schauspiel in 2 Aufzügen. Nach dem Französischen des Lafitte und Desnoyer.*

415 — (Pseud.) Drei Tage aus dem Lebenslaufe eines Spielers. Dramatisches Gemälde in drei Abtheilungen, nach dem Französischen bearbeitet. Braunschweig, Fr. Vieweg, 1830. 9 × 13 cm. IV, 243 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 298, 113. - *Erste Ausgabe.*

Wolfart, Karl Christian (1778 - 1832)

416 — Die Katakomben. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, J.E. Hitzig, o.J. [1810]. 10 × 14 cm. 1 Bl., II, 104 (+1), (1) S. mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Bartholdy, J.L.S. (1779 - 1825), Der Liebe Lustgewebe. Lustspiel in zwei Aufzügen. Berlin, J.E. Hitzig, o.J. [um 1809]. 1 Bl., VI, 152 (+2) S. mit 1 kolor. Kupfer. (Zu Wolfart:) Goedeke Bd. VI, S. 475, 77, 4. - *Erste Ausgabe.* - (Zu Bartholdy:) Goedeke Bd. VI, 478, 86, 2. - *Erste Ausgabe.*

Zschokke, Johann Heinrich Daniel (1771 - 1848)

417 — (Bearb.) Molières Lustspiele und Possen. Für die deutsche Bühne. Bd. 2 [der sechsbändigen Ausgabe von 1805 - 1806]. Zürich, H. Geßner, 1805. 11 × 18 cm. 1 Bl., 276 S. mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, 79, 62, 4 - 6; Hirschberg S. 570; Wilpert/Gühring S. 1449, 54. - *Inhalt: Der Sicilianer [Le Sicilien ou l'amour peintre]. Lustspiel in einem Aufzuge.* - *Die Münnerschule [L'école des maris]. Lustspiel in drei Aufzügen.* - *Alles zur Unzeit [L'étourdi ou les contre-tems]. Lustspiel in fünf Aufzügen.*

418 — Bd. 3. Zürich, H. Geßner, 1805. 11 × 18 cm. 2 Bl., 253 S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, 79, 62, 7 - 10. - *Inhalt: Tartüffe in Deutschland [L'Imposteur ou le Tartuffe]. Lustspiel in fünf Aufzügen.* - *Die sympathetische Kur [L'amour médecin]. Posse in einem Aufzuge.* - *Die Heurath wider Willen [Le mariage forcé]. Posse in einem Aufzuge.* - *Die Gräfin von Hohennasen [La comtesse d'Escarbagnas]. Posse in einem Aufzuge.*

419 — Bd. 5. Zürich, H. Geßner, 1806. 11 × 18 cm. 1 Bl., 299 S. mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, 79, 62, 14 - 16. - *Inhalt: Der Adelsüchtige [Le bourgeois gentilhomme]. Posse in drei Aufzügen.* - *Eifersucht in allen Ekken. Lustspiel in einem Aufzuge.* - *Der Misant[h]rop. Lustspiel in fünf Aufzügen.*

420 — Bd. 6 [mit dem veränderten Titel: Molières Lustspiele und Possen für die deutsche Bühne]. Zürich, H. Geßner, 1809 [Druckfehler (?)]. 12 × 18 cm. 1 Bl., 235 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, 79, 62, 17 - 18. - *An Stelle von Titelvign. die Meldung: „Die Verfertigung des Titelblattes mit Vignette ist durch Zufall verspätet worden; wird aber ehestens folgen.“* - *Inhalt: Jean-Baptiste Pocquelin, genannt Moliere. (Biographie.) Mit Anmerkungen.* - *Baldrian von Schabernak [Monsieur de Pourceaugnac]. Posse in drei Auf-*

zügen.

Anonyma

- 421 — Claly. Ein Schauspiel in 5 Aufzügen. Frankfurt a.M., Andreä, 1770. 11 × 19 cm. 1 Bl., 158 S. Mit Titelkupfer. Kart. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Goethe, Johann Wolfgang, Claudine von Villa Bella. Ein Schauspiel mit Gesang. Berlin, K. Mylius, 1776. 127 S.
(Zu „Claly“:) *GV Bd. 24, S. 359.* - (Zu Goethe:) *Goedeke Bd. IV/3, S. 134, 114; Hirschberg S. 160; Wilpert/Gühning S. 416, 16.*
- 422 — (H, O.L.V.) Beverley. Ein bürgerliches Trauerspiel in fünf Aufzügen nach dem Französischen des Herrn Saurin. Frankfurt am Mayn, Andreä, 1776. 12 × 19 cm. 80 S. mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Fischer, Franz Joseph (um 1745 - nach 1799) (anonym), Das große Beyspiel oder Welch ein Mensch! Ein Schauspiel in drey Aufzügen. Prag, W. Gerle, 1778. IV, 63 S.
(Zu Fischer:) *Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 153, 4437; Goedeke Bd. V, S. 348, 216, 2; Kosch Bd. V, Sp. 92.*
- 423 — Betrug und Eigenliebe, ein Schauspiel in drey Aufzügen. Breslau, Chr.Fr.Gutsch, 1790. 12 × 19 cm. 109 S. Kart. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Unger, Friederike Helene, geb. von Rothenburg (1741 - 1813) (anonym), Der Betbruder. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. Nach Molier's [so] Tartüff frei übersetzt. Berlin, J.Fr.Unger, 1787. 108 S.
(Zu Unger:) *Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 213, 6115.*
- 424 — Agnes Bernauerin. Ein vaterländisches Trauerspiel. Mannheim, Schwan und Götz, 1791. 12 × 19 cm. 86 S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Derselbe Titel bei Joseph August von Törring-Cronsfeld (1753 - 1826). Die Identität nicht sicher. Vgl. Goedeke Bd. V, S. 263, 5, 1; Hirschberg S. 513.
- 425 — Die Patrioten in Deutschland oder: Der Teufel ist los. Eine komi-tragische Farce, aufgeführt auf dem Mainzer Nationaltheater. 2. Aufl. Mainz, o. Verl., im zweiten Jahr der Republik [1793(?)]. 11 × 17 cm. 56 S. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Anonymus, Die Kabalisten oder Leidenschaft, und Reue. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Leipzig, Chr.G.Hilscher, 1795. 80 S.
- 426 — Weiberintrigen. Posse in fünf Aufzügen. Eisenach, J.G.E.Wittekindt, 1793. 11 × 17 cm. 214 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
GV Bd. 154, S. 474; Hirschberg S. 596.
- 427 — Schildwache, Tod und Teufel; oder So prellt man die Füchse. Posse mit Gesang in zwei Akten, zum Behufe des Kuhne'schen Theaters frei bearbeitet. Pilsen und Leipzig, J. J.Morgensäuler, 1794. 11 × 18 cm. 108 S. Widmung für Ernst Kuhne [unterz. von R***]. Br. St. (2) a.d.T.
- 428 — (R - s) Ritterspruch und Gewissensprobe. Ein Gemälde aus der Vorzeit in vier Akten. Breslau und Leipzig, W.G.Korn, 1795. 10 × 15 cm. II, 198 S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
- 429 — Saffar, König in Kambaja. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen, Leipzig, H.Gräff, 1795. 11 × 18 cm. VI, 110, (8) S. Br. St. (2) a.d.T.
- 430 — Die Richter. Schauspiel in fünf Aufzügen. Breslau und Leipzig, W.G.Korn, 1796. 11 × 18 cm. 150 S. Br. St. (2) a.d.T.
- 431 — (Verfasser der Ruinen) Dramatisirte Novellen der Vorzeit und morgenländische Erzählungen. Halberstadt, Großsche Erben, 1799. 10 × 16 cm. II, 254 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
- 432 — Der Dominikaner. Staatskomödie in fünf Aufzügen. Leipzig, P.G.Kummer, 1806. 13 × 21 cm. 164 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
GV Bd. 29, S. 407.
- 433 — Heinrich der Vierte, König von Frankreich und Navarra. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, C.A.Solbrig, 1808. 12 × 19 cm. II, 142 S. mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2)

a.d.T.

- 434 — (Verfasser der Amerikanerin) Die Weiberfeinde. Ein Lustspiel in zwei Aufzügen. Leipzig, C.A.Solbrig, 1808. 10 × 17 cm. II, 178 S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.
- 435 — Almanach dramatischer Scherze zur Darstellung in Familienkreisen. 1847. Jg. 1. Leipzig, Köhler, [1846]. 11 × 16 cm. VIII, 182, (1) S. Ppbd. St. (1) a.d.T.
GV Bd. 3, S. 278. - Inhalt: Ein Wort von vier Sylben. (= Unglücksvogel.) - Ein Wort von fünf Sylben. (= Reisekrumschachtel.) - Ein Wort von sechs Sylben. (= Liebhabertheater.)
- 436 — 1848. Jg. 2. [und mehr nicht]. Leipzig, Köhler, 1848. 11 × 16 cm. IV, 188 S. Ppbd. St.(1) a.d.T.
Inhalt: Ein Wort von drei Sylben. (= Brieftaube.) - Ein Wort von drei Sylben. (= Geldkasten.) - Eine Sylbe. (= Peel, Name des großen englischen Staatsmannes.)

2. Musikalisch-dramatische Werke

André, Johann (1741 - 1799)

- 437 — Die Bezauberten. Eine komische Oper in einem Aufzuge. Nach dem Französischen der Madame [Marie Justine] Favart verfertigt und in Musik gesetzt. Berlin, Chr.Fr.Himburg, 1777. 11 × 18 cm. 70 S. Kart. St. (2) a.d.T.
- + Angeb.: Ders., Die Bezauberten. Eine komische Oper in einem Aufz. [Das gleiche Expl. wie oben.]
 - + Angeb.: Bock, Carl Gottlieb (1746 - 1829) (anonym), Gedichte eines Preußen. Danzig, J. H.Flörke, 1775. 48 S.
 - + Angeb.: Anonymus, Gedichte eines Schwaben, mit einer Zueignungsschrift an alle Buchbinder, Köche, Peruckenmacher, Gewürzkrämer, Zuckerbecker, Schneider und Mägde. Gedr. bei Chr. U. Wagner 1756 und zu finden in Ulm, Memmingen, Stuttgart, Tübingen und überhaupt in ganz Schwaben. 94 S.
(*Zu André:*) *Goedeke Bd. V, S. 372, 14 (Erstausgabe: Frankfurt 1772, mit dem Untertitel: Singspiel in einem Acte aus dem Französischen Favart.); Hirschberg S. 21. - (Zu Bock:) Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 160, 5369; Goedeke Bd. IV/1, S. 674, 12, 1. - Erste Ausgabe. - (Zu „Gedichte“:) Goedeke Bd. IV/1, S. 122, 48; Hirschberg S. 580.*

Auber, Daniel François Esprit (1782 - 1871)

- 438 — (Komp.) Der Feensee. Große romantische Oper in 4 Akten, nach dem Franz. des Scribe u. Melesville von J[ohann] G. [?] [Christian] Grünbaum (1785 - 1870). [Text der Gesänge.] Leipzig, gedr. bei J.F.Fischer, o.J. 11 × 17 cm. 67 S. Kart. St. (1) a.d.T.
Über Aufführungen ist zu verweisen auf Goedeke Bd. XI/2, S. 173, 24.

Baczko, Ludwig Adolph Franz Joseph von (1756 - 1823)

- 439 — Operetten. Königsberg, Hartung, 1794. 10 × 16 cm. 1 Bl., XVI, 71, 96, 84 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 496, 10; Hirschberg S. 33. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Rinaldo und Alcina. Eine komische Oper in drei Aufzügen. - Die Kantons-Revision. Eine komische Oper in drei Aufzügen. - Die Singschule oder drei Heirathen an einem Tage. Eine komische Oper in drei Aufzügen.

Choulant, Johann Ludwig (1791 - 1859)

- 440 — (anonym) Libussa, Herzogin von Böhmen. Zauberoper in drei Aufzügen. Nach einer Böhmisches Volkssage bearbeitet. Leipzig, L.Voß, 1823. 11 × 17 cm. 68 S. Br. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 57, 1873; Goedeke Bd. XI/1, S. 288, 14. - Erste Ausgabe.

Claudius, Georg Carl (1757 - 1815)

- 441 — (anonym) Der Onkel aus Amsterdam. Eine comische Oper in zwei Aufzügen. Nach dem Italienischen: „Il pittore parigino“ frei bearbeitet und der Musik des [Domenico] Cimarosa (1749 - 1801) unterlegt. Aufgeführt von der [Joseph] Secondaschen Gesellschaft in Leipzig und Dresden. Riga und Mitau, W.Chr.Müller, 1796. 11 × 18 cm. 1 Bl., VI, 104 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Börnstein, S. (•••• - ••••), Die gute Landesmutter oder Unschuld siegt. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Regensburg, o. Verl., 1796. 84 S.
(Zu Claudius:) Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 326, 7757.

Chezy, Helmine (eigentl.: Wilhelmine Christiane) von (1783 - 1856)/Weber, Carl Maria von (1786 - 1826)

- 442 — Euryanthe. Große romantische Oper in drey Aufzügen. Musik von Carl Maria von Weber, königl. sächsischem Hof-Kapellmeister. Für das k.k. Hoftheater nächst dem Kärnthnerthore. Wien, J.B.Wallishausser, 1824. 13 × 20 cm. II, 47 S. OBr. St. (2) a.d.T. Goedeke Bd. VI, S. 137, 36; Hirschberg S. 83. - Erste Ausgabe.

Gilbert, William Schweck (1836 - 1911)/Sullivan, Arthur (1842 - 1900)

- 443 — Der Mikado, oder Ein Tag in Titipu. Burlesk-Operette in 2 Akten. Text von W.S. Gilbert. Musik von Arthur Sullivan. In's Deutsche übertragen von C. Carlotta. [Zweisprachige Ausgabe: Englisch u. Deutsch.] O.O., o.Verl., o.J. 13 × 21 cm. S. 1 - 80. [Unvollständig. Es fehlt: S. 81 - 95.] Br. St. (3) a.d.T.

Kaffka, Johann Christoph (1754 - 1815)

- 444 — Die Ehestandskandidaten, oder die Parodie aus dem Stegreif. Ein komisches Singspiel in zwei Aufzügen. In Musik gesetzt von Herrn Kapellmeister Bierey. Riga und Leipzig, Nordische Commissionshandl., 1809. 10 × 15 cm. IV, 114 S. [Mit einem Vorbericht vom Verfasser. Riga, im März 1805.] Hldr.
Der Text zuerst in: Kaffkas „Polyhymnia, oder vaterländische Singbühne“, Leipzig 1805. Vgl. Goedeke Bd. V, S. 262, 3, 9d.

Kreutzer (auch: Kreuzer), Conradin (1780 - 1849)

- 445 — (Komp.) Das Nachtlager von Granada. Romantische Oper in zwei Akten. Nach Friedrich Kind's gleichnamigem Schauspiele [von Karl Johann Braun von Braunthal (1802 - 1866) (anonym)]. Text der Gesänge, mit den sämtlichen Recitativen. Offizielle Bearbeitung für Leipziger Bühne. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. [1881]. 10 × 16 cm. 24 S. [= Breitkopf & Härtel's Textbibl. Nr. 223. (Opern-Textbuch.)] Br. St. (2) a.d.T. Goedeke Bd. IX, S. 254, 29, 11, d. Vgl. auch Koch, das deutsche Singspiel. S. 98.

Lobe, Johann Christian (1797 - 1881)

- 446 — (Komp.) Die Fürstin von Grenada, oder Der Zauberblick. Große Zauberoper mit Tanz, Pantomime und Tableaux in fünf Aufzügen. [Ein Opern-Textbuch.] Mainz, B. Schott's Söhne, 1834. 13 × 22 cm. 42 S. OBr. St. (1) a.d.T.

Paisiello, Johann [=Giovanni] (1740 - 1816)

- 447 — (Komp.) Figaro als Barbier zu Sevilla, ein Lustspiel mit Gesang in 4 Akten. Text nach Beaumarchais. Passau, gedruckt bei Ambrost, 1796. 11 × 17 cm. 108 S. Ppbd. St.(2), (3) a.d.T.
+ Angeb.: Koller, Benedict Joseph von (1767 - 1817), Obrist von Steinau. Häusliches Lustspiel in fünf Aufzügen. Basel, J.J.Flick, 1795, 103, (32) S.
(Zu Koller:) Holzmann/Bohatta (Bd. IV, S. 120, 3714) sowie Goedeke (Bd. V, S. 295, 18, 4) gibt 1796 als Jahreszahl an.

- Perinet, Joachim (1763 - 1816)/Müller, Wenzel (1767 - 1835)
448 — (Bearb.) Kasperl's neu errichtetes Kaffeehaus, oder der Hausteufel. Eine komische Oper in drey Aufzügen, nach einem Manuskripte für die k.k. privil. Schaubühne in der Leopoldstadt frey bearbeitet. Die Musik von Wenzel Müller. Wien, gedr. bei M.A. Schmidt, 1803. 12 × 19 cm. 90 S. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 333, 24; Wilpert/Gühning S. 958, 27. - Erste Ausgabe.

Schmieder, D. [Pseud. (?)]

- 449 — (Bearb.) Der Wasserträger. Eine Oper in drei Aufzügen. Frei nach dem Französischen [des Jean Nicolas Bouilly:] „Les deux journées“ bearbeitet. Die Musik von Cherubini. Hamburg und Altona, G.Vollmer, 1805. 11 × 18 cm. 116 S. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.
Die romantische Oper „Les deux journées“ von Luigi Cherubini (1760 - 1842) wurde von Heinrich Gottlieb Schmieder (1763 - 1828) ins Deutsche übersetzt. Die deutsche Erstaufführung fand 1802 in Mannheim statt. Hier handelt es sich wohl um H.G. Schmieders Bearbeitung. Vgl. Kruse, Opernführer S. 43 f.

Schoepfel, Johann Wolfgang Andreas (1752 - nach 1784)/Preu, Friedrich (•••• - ••••)

- 450 — Die Puzmacherinn. Eine Operette in drei Akten. In Musik gese[t]zt von Friedrich Preu. Baireuth, J.A.Lübeks Erben, 1790. 10 × 16 cm. 173, (3) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Rossini, Gioacchino (1792 - 1868)

- 451 — (Komp.) Der Barbier von Sevilla. Komische Oper in 2 Akten, nach dem gleichnamigen französischen Lustspiel des Beaumarchais, bearbeitet von Cesare Sterbini. Neu revidirter deutscher Text der Gesänge mit Angabe des Inhalts der Oper und einer Einführung in dieselbe von Hermann Mendel. Berlin, S. Mode, o.J. 10 × 15 cm. VIII, 19, (1) S. [= Gustav Mode's Operntext-Bibliothek Nr. 25.] OBr. St. (3) a.d.T.

Wohlbrück, Wilhelm August (1794/96 - 1861)/Marschner, Heinrich (1795 - 1861)

- 452 — Der Templer und die Jüdin. Große romantische Oper in drei Aufzügen nach Walter Scott's Roman: „Ivonhoe“ frei bearbeitet. In Musik gesetzt von Heinrich Marschner. Leipzig, C.Focke, 1829. 11 × 17 cm. 164, (4) S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 415, 3; Hirschberg S. 557. - Erste Ausgabe.

*

(nicht gelungen, den Verfasser zu ermitteln)

- 453 *N.N.*, Die Jagd. Eine komische Oper in drey Aufzügen. [Nebst drei anderen komischen Opern.] [Handschriftlich:] Leipzig, Dyk, 1770. 10 × 17 cm. 414 S. Ohne Titelbl. Ppbd. St. (2) auf der Anfangsseite.
Nicht ausgeschlossen, daß es sich hier um „Komische Opern“ von Christian Felix Weiße (1726 - 1804) handelt. Vgl. Goedeke Bd. IV/1, S. 139, 6. - Enthält außer „Die Jagd“: Der Abend im Walde. Eine komische Oper in zween Aufzügen. - Das große Loos. Eine komische Oper in zwey Aufzügen. - Der Dorfbalbir. Eine komische Oper in zwey Aufzügen.

3. Sammelband dramatischer und/oder musikalisch-dramatischer Werke

- 454 Altenglisches Theater. Hrsg. von Robert Pröhl (1821 - 1906). Bd. 1 [bis 2]. Leipzig, Bibliogr. Institut, o.J. [1880]. 13 × 19 cm. IV, 456 (+1) S. Lwd. mit Rt. St. (3) a.d.T.
Brümmers Bd. V, S. 354. - Inhalt: Kyd, Thomas (1558 - 1594), Spanische Tragödie. Übersetzt von Richard Koppel. - Marlowe, Christopher (1564 - 1593), Eduard der

Zweite. Übersetzt von Robert Prölß. - Webster, John (um 1580 - um 1625), *Weißer Teufel oder Vittoria Corombona*. Übersetzt von Robert Prölß.

- 455 — Bd. 2. Leipzig, Bibliogr. Institut, o. J. [1880]. 12 × 18 cm. II, 272 (+2) S. Lwd. mit Rt. St. (3) a.d.T.

Inhalt: Ford, John (1586 - 1640), *Perkin Warbeck*. Übersetzt von Robert Prölß. - Massinger, Philip (1583 - 1640), *Großherzog von Florenz*. Übersetzt von Robert Prölß.

- 456 Das Liebhabertheater. Eine Sammlung der neuesten und besten leicht darstellbaren Theaterstücke des In- und Auslandes, für Privat Bühnen und Familienkreise. Hrsg. von Theodor Hell (d.i. Winkler, Karl Gottfried Theodor). 7 Hefte in 1 Bd. Grimma, Verlags-Comptoir, o.J. [1846]. 8 × 13 cm. II, 64; X, 55; II, 64; II, 64; VI, 105; 68 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 303, 181 (irrig: 6 Hefte). - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt:* (Heft 1:) Theodor Hell, *Zur Gesundheit. Lustspiel in Einem Akt. Nach dem Französischen des Anselët und Dupari.* - (Heft 2:) Anonymus (Y***), *Der Schatz aus Egypten. Originallustspiel in Einem Akt.* - (Heft 3:) Theodor Hell, *Eine homöopathische Kur. Lustspiel in Einem Aufzuge nach Fonrnier [statt: Fournier] und Bieville.* - (Heft 4:) Anonymus, *Maske für Maske. Lustspiel in Einem Aufzuge.* - (Heft 5 u. 6:) Schröder, F.L., (•••• - ••••) *Gold und Ahnen. Lustspiel in drei Aufzügen. Nach Destouches und Holcraft.* - (Heft 7:) a. Hermann Ploetz (d.i. Johann Edler von Plötz) (1786 - 1856), *Die Flucht. Komische Operette in einem Act. Nach dem Französischen frei bearbeitet.* (Musik von Carl Stoer.) b. Anonymus, *Herrn Michels Noth. Ein dramatischer Scherz.*

- 457 Neues Gesellschaftstheater zu Anspach und Triesdorf, aus dem französischen übersetzt [und bearbeitet] von Johann Jakob Christian von Reck (1756 - ?). Schwabach, J.G. Mizler, 1790. 13 × 18 cm. VIII, 144, 79, 87 S. Kart. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 362, 38, 6. - *Erste Ausgabe.* - *Inhalt:* Collé, Charles (1709 - 1783), *Die Jagd Heinrich des Vierten, ein Schauspiel in drey Aufzügen.* - Graven, Milady, *Nurjad oder der gute Genius, ein Schauspiel in drey Aufzügen, aus dem Franz. für's deutsche Theater bearbeitet.* Nebst: *Nurjad und Fatme als Gefangene. Ein mit Arien vermishtes Ballet, in zwey Aufzügen.* - *Madame de Baunoir, Fanfan oder die Milchbrüder, ein Lustspiel in einem Aufzug, für's deutsche Theater bearbeitet.* [Nebst:] *Bereuung der Gelübde. Ein mit Arien vermishtes Ballet in einem Aufzug.*

- 458 Schauspiele aus der Vorzeit. Wien und Leipzig, A.Doll, 1792. 12 × 18 cm. 222 (+2) S. mit Titelvign. Hldr. St. (1) a.d.T.

Inhalt: Gieseke, Karl Ludwig von (1761 - 1833), *Lutz von Unterstain. Ein ritterliches Schauspiel in vier Aufzügen.* - Lendenfeld, Franz Xaver von (•••• - ••••), *Knapp Konrad von Hohenberg, oder der Stählerne. Ein heroisches Schauspiel in fünf Aufzügen.* - (Zu Gieseke:) *Goedeke Bd. V, S. 331, 104, 3.*

*

- 459 Gesammelte Dramen. [5 Bde. Gesammelt und betitelt durch Takanori Mōri.] Bd. 1. [= 4 einzelne Hefte in 1 Privat-Bd.] 12 × 18 cm. Lwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d. T. des ersten Heftes.

1) Laengin, Georg (1827 - 1897), *Marc Aurel. Trauerspiel in fünf Aufzügen.* Tauberbischofsheim, J. Lang, 1883. 100 S.

2) Marbach, Oswald (1810 - 1890), *Die Perser des Aeschylos. Deutsche Nachdichtung.* Leipzig, o. Verl., 1881. 1 Bl., VIII, 39 S.

3) Wendlandt, Wilhelm (•••• - ••••), *Magnus. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Aufzügen,* Berlin, Funke und Naeter, 1886. 116 S.

4) Lassalle, Ferdinand (1825 - 1864), *Franz von Sickingen. Eine historische Tragödie.*

2. Aufl. Berlin, F. Duncker, 1867. XVI, 224 S.
(Zu 1:) *Brümmer Bd. IV, S. 186.* - (Zu 4:) Vgl. Cowen, *Das deutsche Drama im 19. Jh., S. 160 f.*
- 460 — Bd. 2. [=6 einzelne Hefte in 1 Privat-Bd.] 13 × 20 cm. Lwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T. des ersten Hefes.
- 1) Bleibtreu, Karl (1859 - 1928), *Weltgericht*. Tragödie in 5 Akten. Leipzig, W. Friedrich, o.J. IV, 199, (1) S.
 - 2) Claar, Emil (1842 - 1908), *Shelley*. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Wien, L. Rosner, 1876. 95 S.
 - 3) Waldeck, Oskar (..... -), *Die Nihilisten*. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, O. Mutze, 1822. 107 S.
 - 4) Gottfried Alexander (d.i. Kottwitz, Gottfried Alexander Viktor) (1857 - ?), *Haß und Liebe*. Schauspiel in fünf Aufzügen. (Als Manuskript gedruckt.) Leipzig, O. Mutze, 1884. 174 S.
 - 5) Ders. Autor wie 4), *Sozialisten*. Drama in fünf Aufzügen. (Als Manuskript gedruckt.) Leipzig, O. Mutze, 1884. II, 161 S.
 - 6) Ernstlieb, Joseph (1846 - ?), *Faust*. Zweiter Theil. Dramatische Dichtung. (Fragment.) Mannheim, J. Bensheimer, o.J. II, 72 S.
(Zu 1:) *Wilpert/Gühning S. 94, 26.* - (Zu 2:) *Brümmer Bd. I, S. 422.* - (Zu 4 und 5:) *Brümmer Bd. IV, S. 84.* - (Zu 6:) *Kosch Bd. IV, Sp. 484.*
- 461 — Bd. 3. [=6 einzelne Hefte in 1 Privat-Bd.] 13 × 19 cm. Lwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T. des ersten Hefes.
- 1) Gustav Wacht (d.i. Algardi, Friedrich) (1841 - 1918), *Der Ehrenmann*. Originaldrama in fünf Aufzügen. (Den Bühnen gegenüber Manuscript.) Leipzig, gedr. bei O. Mutze, 1875. 131 S.
 - 2) *N.N.*, *Attila*. 60 S. Handschriftl. Titel a.d.Vs. Es fehlt: Titelbl.
 - 3) Krüer, Wilhelm (1825 - 1896), *Die Wahrheit bist du*. Schauspiel in 3 Akten. Den Bühnen gegenüber als Manuskript. Im Selbstverlage des Verfassers. Minden i.W., gedr. bei P. Leonardy, 1884. II, 41 S.
 - 4) Giseke, Robert (1827 - 1890), *Kurfürst Moritz von Sachsen*. Geschichtliche Tragödie. 2. Aufl. Neue Bearbeitung. Breslau, Trewendt, 1872. II, 110 S.
 - 5) Hölty, Hermann (1828 - 1887), *Lonoda*. Schauspiel in fünf Aufzügen. Den Bühnen gegenüber Manuscript. Hannover, A. Weichert, 1882. 88 S.
 - 6) Friedrich, Friedrich, *Den Kopf oben! Lustspiel* in 5 Acten. (Als Manuscript gedruckt.) Leipzig, gedr. bei Bär und Hermann, 1864. IV, 77 (+1) S.
(Zu 1:) *Brümmer Bd. I, S. 48.* - (Zu 3:) *Brümmer Bd. IV, S. 121; Kosch Bd. IX, Sp. 529.* - (Zu 4:) *Brümmer Bd. II, S. 374 (1. Aufl.: 1860).* - (Zu 5:) *Brümmer Bd. III, S. 277.*
- 462 — Bd. 4. [=9 einzelne Hefte in 1 Privat-Bd.] 12 × 17 cm. Lwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T. des ersten Hefes.
- 1) Eschstruth, Nataly von (eig. Knobelsdorff-Brenkenhoff, Nataly Auguste von) (1860 - 1939), *Die Ordre des Grafen von Guise*. Schauspiel in 1 Act. Gedr. bei R. Vittner in Berlin, o.J. [1884]. 30 S.
 - 2) Jordan, Wilhelm (1819 - 1904), *Tausch enttäuscht*. Lustspiel in fünf Aufzügen. 2. Aufl. Den Bühnen gegenüber Manuscript. Frankfurt a.M., Selbstverlag, und Leipzig, F. Bolckmar, 1884. IV, 147, (2) S.
 - 3) Wolff-Kassel, Ludwig, *Ruth*. Biblisches Schauspiel in einem Act. Gedr. bei R. Vittner in Berlin, o. J. 30 S.
 - 4) Ringler, Alexander, Philipp Palm. Ein vaterländisches Schauspiel in fünf Aufzügen. Den Bühnen gegenüber Manuscript. Leipzig, L. Denicke, 1860. 124 S.
 - 5) Kühne, Ferdinand Gustav (1806 - 1888), *Die Verschwörung von Dublin*. Drama in fünf Acten. (Bühnen gegenüber Manuscript.) Leipzig, E.H.Mayer, 1856. IV, 148 S.
 - 6) Ruffer, Friedrich (1851 - ?), *Die Idealisten*. Schauspiel in vier Aufzügen. Bühnen-

Manuscript. Leipzig, gedr. bei O. Mutze, 1875. 102 S.

7) Erstenberg, Eduard Baron von (1812 - ?), Der Sieger von Gravelingen. Drama in fünf Akten und einem Vorspiele. Leipzig, J.J.Weber, 1860. 143 (+1) S.

8) N.N., Medeia. [Trauerspiel in 5 Akten.] Gedr. bei Nies in Leipzig. 102 (+2) S. Es fehlt: Titelbl.

9) Rüffer, Friedrich, Agis der Dritte, König von Sparta. Tragödie in fünf Aufzügen. Den Bühnen gegenüber Manuscript. Leipzig, J.H. Webel. 1876. 134 (+1) S.

(Zu 1:) *Brümmer*, Bd. IV, S. 31. - (Zu 2:) *Brümmer* Bd. III, S. 373; *Hirschberg* S. 246; *Wilpert/Gühning* S. 633, 46. - (Zu 5:) *Hirschberg* S. 283; *Wilpert/Gühning* S. 728, 20. - (Zu 6 und 9:) *Brümmer* Bd. VI, S. 78. - (Zu 7:) *Brümmer* Bd. II, S. 159.

463 — Bd. 5. [=7 einzelne Hefte in 1 Privat-Bd.] 12 × 18 cm. Lwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T. des ersten Heftes.

1) Siegert, Georg (1836 - 1921), Klytaemnestra. Tragödie. 3. Aufl. Bühnen-Ausgabe. München, C. Merhoff, 1882. 96 S.

2) Meyer, Martin (1821 - 1897), Ulrich von Starkenberg. Ein Drama in fünf Akten. Innsbruck, Selbstverlag, 1858. 1 Bl., VIII, 186 S. Mit Titelkupfer.

3) Henzen, Wilhelm, Bettina de Monk. Ein modernes Schauspiel in vier Acten. Berlin, Fr. Luckhardt, o.J. [1881] IV, 76 S.

4) Ders., Die Geißel. Lustspiel in vier Acten. Berlin, Fr. Luckhardt, 1882. IV, 76 S.

5) Kellner, Albert (1857 - ?), Dido. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berliner Verlagsanstalt, 1884. IV, 81 S.

6) Voß, Richard (1851 - 1918), Regula Brandt. Schauspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, W. Friedrich, o.J. [1883]. IV, 69, (1) S.

7) Loewenthal, Wilhelm (1850 - 1894), Graf Reckenhorst. Ein Schauspiel in fünf Akten. Leipzig, W.Friedrich, 1882. VIII, 100 S.

(Zu 1:) *Brümmer* Bd. VI, S. 427. - (Zu 2:) *Brümmer* Bd. VI, S. 451. - (Zu 5:) *Brümmer* Bd. III, S. 438; *Kosch* Bd. VIII, Sp. 1049; - (Zu 6:) *Brümmer* Bd. VII, S. 290; *Wilpert/Gühning* S. 1318, 13. - (Zu 7:) *Brümmer* Bd. IV, S. 313.

* *

464 [Bühnenwerke (=6 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 11 × 17 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes, St. (7) a.d.T. des vierten.

1) Bizet, Georges (1838 - 1875), Carmen. Oper in 4 Akten von Henry Meilhac und Ludovic Halevy. [Textbuch.] Köln und Leipzig, A. Ahn, und Paris, Choudens, o.J. 54 S.

2) Goldmark, Karl (1830 - 1915), Die Königin von Saba. Oper in vier Akten nach einem Text von [Salomon Hermann] Mosenthal. Ausgabe C. [=Text der Gesänge.] Hamburg, H. Pohle, o. J. 40, (23) S.

3) Marschner, Heinrich August, Der Templer und die Judin. Große romantische Oper in 3 Akten. Nach Walter Scott's Roman „Ivanhoe“ frei bearbeitet von Wilhelm August Wohlbrück. Text der Gesänge. Leipzig, Fischer und Kürsten, o. J. 40 S.

4) Auber, Daniel François Esprit (1782 - 1871), Fra Diavolo oder: Das Gasthaus in Terracina. Komische Oper in 3 Aufzügen, von Scribe. [Text der Gesänge. Deutsch von Carl Blum (?)] Leipzig, J.F.Fischer, o. J. 36 S.

5) Donizetti, Gaetano (1797 - 1848), Lucia von Lammermoor. Tragische Oper in 3 Akten von Salvator Cammarono. Uebersetzt von C.E.Käßner. Text der Gesänge. Leipzig, Fischer und Kürsten, o. J. 30 S.

6) Mühlendorfer, Wilhelm Carl (1836 - 1919), Im Kyffhäuser. Romantisch-komische Oper in 2 Akten. Nach einem vorhandenen Stoffe frei bearbeitet und in Musik gesetzt. Text der Gesänge. Leipzig, Fischer und Kürsten, o. J. 19 S.

- 465 [Bühnenwerke (=5 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 10 × 16 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.
- 1) Donizetti, Gaetano, Lucia von Lammermoor. Tragische Oper in drei Akten von Salvator Cammarano. Texte der Gesänge. Offizielle Bearbeitung für die Leipziger Bühne. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. 32 S. [=Breitkopf & Härtel's Textbibliothek 212.]
 - 2) Weber, Carl Maria von, Freischütz. Oper in 3 Akten von Fr[iedrich] Kind. [Text der Gesänge.] Wiesbaden, R. Bechtold, o.J. 24 S. mit Titelvign.
 - 3) Flotow, Friedrich von (1812 - 1883), Martha oder Der Markt zu Richmond. Oper in vier Abtheilungen, theilweise nach einem Plan von St. Georges, von W. Friedrich (? - 1879). Text der Gesänge. Offizielle Bearbeitung für die Leipziger Bühne. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. 48 S. [=Breitkopf & Härtel's Textbibliothek 216.]
 - 4) Rossini, Giachino Antonio, Arien und Gesänge aus: Der Barbier von Sevilla. Komische Oper in zwei Aufzügen. Aus dem Italienischen frei übersetzt von [Ignaz] Kollmann. Berlin, Breitkopf und Härtel in Leipzig, o. J. 46 S.
 - 5) Adam, Adolphe-Charles (1803 - 1856), Die Willys, oder Gisela. Fantastisches Ballet in 2 Aufzügen von Saint Georges und Coraly. Für die hiesige Bühne eingerichtet von M. Hoguet. Berlin, o. Verl., 1875. 30 S.
- 466 [Bühnenwerke (=8 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 12 × 17 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.
- 1) Donizetti, Gaetano, Die Tochter des Regiments. Komische Oper in 2 Akten. Nach dem Französischen des Saint-Georges und Bayard. Text der Gesänge. [Deutsch von Karl Gollmick(?)] Offizielle Bearbeitung für die Leipziger Bühne. Leipzig, gedr. bei G.Reusche, o. J. 24 S.
 - 2) Vollmann, Richard (1868 - ?), Intellos. Ein Trauerspiel in 3 Akten. Mit einem Geleitwort von Ludwig Aub und einem einleitenden Gedichte von Gust. Wenug. 2. Aufl. München, J. Hiller, 1889. VI, 46 S.
 - 3) Wagner, Richard (1843 - 1883), Tannhäuser und der Sängerkrieg auf Wartburg. Große romantische Oper in 3 Akten. Berlin und Dresden, C.F.Meser, o. J. 42, (6) S.
 - 4) Kaiser, Emil (1868 - 1916), Der Trompeter von Säckingen. Oper in 2 Akten und einem Nachspiel. Text nach Victor von Scheffel's gleichnamiger Dichtung [von 1854] frei bearbeitet. Berlin, A. Fürstner, o. J. 35, (1) S.
 - 5) Wagner, Richard, Der fliegende Holländer. Romantische Oper in 3 Aufzügen. Berlin, C.F.Meser, o. J. 40 S.
 - 6) Ders., Tannhäuser und der Sängerkrieg auf Wartburg. Große romantische Oper in 3 Akten. O.O., C.F.Meser, o. J. 42, (6) S. [Das gleiche Expl. wie 3), ausgenommen das Impressum und die Verlagsanzeige Seite 6.]
 - 7) Verdi, Giuseppe (1813 - 1901), Der Troubadour. Oper in vier Akten von Salvatore Cammarano. Text der Gesänge. [Deutsch von H. Poch (?)] Berlin, A. Kühling, o. J. 32 S.
 - 8) Bizet, Georges, Arien und Gesänge aus Carmen. Oper in 4 Akten nach einer Novelle des Prosper Merimée von Henry Meilhac und Ludovic Halévy. [Deutsch von Julius Hopp (?)] Paris, Choudens, und Berlin, A. Fürstner, o. J. 48 S.
(Zu 2:) *Brümmer Bd. VII, 283 f. (1. Aufl.: 1889).* - (Zu 3, 6 u. 5:) *Wilpert/Gühning S. 1332, 3 u. 2.*
- 467 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 20 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.
- 1) Etell, Konrad (1847 - 1924), Ideale und Idole. Schauspiel in fünf Akten. Gotha, Stollberg, o. J. [1885]. 132 S.
 - 2) Gilbert, William Schweck/Sullivan, Arthur, Der Mikado, oder Ein Tag in Titipu. Burlesk-Operette in 2 Akten. Text von W.S. Gilbert. Musik von Arthur Sullivan. In's

Deutsche übertragen von C. Carlotta. [Zweisprachige Ausgabe: Englisch und Deutsch.] O.O., o. Verl., o. J. 95 S.

(Zu 1:) *Brümmner Bd. II*, S. 166; *Kosch Bd. IV*, Sp. 556.

- 468 [Bühnenwerke (=3 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 18 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.
1) Frick, Max (•••• - ••••), Ein Sieg der Liebe. Dramatisches Gedicht in fünf Aufzügen. Leipzig-Reudnitz, M. Hoffmann, 1889. 72 S.
2) Neßler, Victor E. (1841 - 1890), Der Trompeter von Säkkingen. Oper in 3 Akten, nebst einem Vorspiel. Mit autorisierter theilweiser Benutzung der Idee und einiger Originallieder aus J[oseph] Viktor von Scheffel's Dichtung von Rudolf Bunge (1836 - 1907). [Text der Gesänge.] Leipzig, J. Schuberth, o. J. [nach 1884]. 53, (3) S.
3) Griepenkerl, Wolfgang Robert (1810 - 1868), Die Girondisten. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Bremen, F. Schlotdmann, 1852. 1 Bl., VIII, 131 S. [=Dramatische Werke (3 Bde. 1851 - 1855), Bd. 2.]
(Zu 2:) *Herzfeld, Lexikon der Musik*, S. 373; *Brümmner Bd. I*, S. 383 f. - (Zu 3:) *Hirschberg S. 175*. - *Erste Ausgabe*.
- 469 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 19 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.
1) Klein, Ida (d. i. Nowotny, Isabella) (1828 - 1899), Drama. Welt- und Selbstschmerz. Prag, H. Mercy, 1889. VIII, 154 S.
2) Henzen, Karl Georg Wilhelm (1850 - 1910), Konrad von Wettin. Historisches Drama in fünf Akten. Leipzig, gedr. bei O. Mutze, o. J. [1889]. 142 S.
(Zu 1:) *Brümmner Bd. V*, S. 161. - *Inhalt: Das Herz. Drama in Form einer Allegorie in acht kurzen Aufzügen. - Welt- und Selbstschmerz. [Gedichte.] - Anhang: Aus meinem Tagebuche.* - (Zu 2:) *Brümmner Bd. III*, S. 158.
- 470 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 19 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.
1) [Bogennorm:] L'Arronge (eig. Aaron), Adolf (1838 - 1908), Mein Leopold. Ohne Titelbl. Gedr. bei C.H. Müller in Berlin. [1873(?) S. 5 - 163 [unvollständig, es fehlt: S. 1 - 4, 129 - 144 (=Bg. 9)].
2) *N.N.*, Maria und Magdalena. Schauspiel in vier Acten. (Juli, August 1872.) [Erscheinungsjahr der ersten Veröffentlichung (?)] Gedr. bei Metzger & Wittig in Leipzig. S. 135 - 257 [aus einem Sammelbd. Ohne Titelbl. Sonderabdruck (?)].
(Zu 1:) *Killy Bd. VII*, S. 155; *Melitz S. 257*. Vgl. *Wilpert/Gühring S. 753, 2*.
- 471 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 10 × 14 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.
1) Lohmann, Peter (1833 - 1907), Valmoda. Eine dramatische Dichtung [in drei Aufzügen]. Mit Vorwort vom Verfasser. Leipzig, H. Matthes, 1862. 100 S.
2) Goethe, Johann Wolfgang von, Iphigenie auf Tauris. Ein Schauspiel. Offizielle Ausgabe, nach dem Scenarium des Herzogl. Meiningen'schen Hoftheaters bearbeitet. Dresden, R.v.Grumbkow, 1881. 62, (1) S.
(Zu 1:) *Brümmner Bd. IV*, S. 293. - (Zu 2:) *Nachdruck der 1881 in Leipzig erschienenen, bei Goedeke unter § 239, 1), V, x aufgeführten Ausgabe(?) Vgl. Goedeke Bd. IV/3, S. 264*.
- 472 [Bühnenwerke (=3 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 10 × 14 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.
1) Mannstädt, Wilhelm Heinrich (1837 - 1904)/A. Weller (d. i. Müller, Johann August Karl) (1838 - 1900), Die schöne Ungarin. Gesangsposse in vier Aufzügen. Musik von G.

Steffens. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [um 1885]. 86, (2) S.

2) Ohnet, Georges (1848 - 1918), *Der Hüttenbesitzer*. (*Le Maître de Forges*.) Schauspiel in vier Aufzügen. Deutsch von R. Schelcher. Einzige autorisierte Ausgabe mit Dekorationsplänen und dem vollständigen Scenarium. Regie- und Soufflierbuch. [Den Bühnen gegenüber als Manuskript gedruckt.] Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [um 1885]. 93, (3) S.

3) Goethe, Johann Wolfgang von, Egmont. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [um 1885]. 87, (1) S. [=Reclams UB 75.]

(Zu 1:) *Brümmner Bd. IV S. 362 (Erstausgabe: 1883)*. - (Zu 3:) *Goedeke Bd. IV/3, S. 283, 3, f. (zuerst: um 1869)*.

473 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 19 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.

1) Moser, Gustav von (1825 - 1903), *Lustspiele*. Bd. 11. *Der Bibliothekar*. Schwank in 4 Akten. Berlin, E. Bloch, o. J. II, 127 S.

2) Anonymus, Maximilian Robespierre. Historisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Leipzig, Fr. Fleischer, 1868. 159 S.

(Zu 1:) *Nach Wilpert/Gühning (S. 888, 33) erschien „der Bibliothekar“ zuerst 1878 in Berlin bei Behr als Bd. 10 der 22bändigen „Lustspiele“ (1872 - 1897). Brümmner (Bd. V, S. 42) kennt eine andere, 20bändige Ausgabe von „Lustspiele“ (1873 - 1894). - Hier handelt es sich wohl um einen Nachdruck von einer der beiden Ausgaben.*

474 [Bühnenwerke (=4 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 11 × 16 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.

1) Offenbach, Jacques (1819 - 1880), *Arien und Gesänge aus: Die Banditen (Les brigands)*. Buffo-Oper in 3 Acten nach dem Französischen des Meilhac und Halévy. Deutsch von E. Dohm. (Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt.) Berlin, E. Bote und G. Bock, 1873. 50, (4) S.

2) Ders., *Arien und Gesänge aus: Blaubart*. Burleske Oper in 4 Bildern von Meilhac und Halévy. Deutsch von Julius Hopp. Für die hiesige Bühne bearbeitet von C. Pohl. (Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt.) Berlin, E. Bote und G. Bock, 1869. 60 S.

3) Ders., *Die Großherzogin von Gerolstein*. Operette in 4 Akten von Henry Meilhac und Ludwig Halévy. Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Berlin, E. Bote und G. Bock, 1869. 40 S.

4) Ders., *Arien und Gesänge aus Kakadu*. (Vert-vert.) Komische Oper in 3 Akten nach dem Französischen von Meilhac und Nutter. Deutsch von Julius Hopp. Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Berlin, E. Bote und G. Bock, 1870. 46, (2) S.

475 [Bühnenwerke (=3 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 11 × 16 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.

1) Pape, Joseph (1831 - 1898), *Das Kaiser-Schauspiel*. Büren i/W., Chr. Hagen, 1886. IV, 154, (1) S.

2) Auber, Daniel François Esprit, *Der Schnee*. Oper in 4 Akten. Nach dem Französischen des Scribe und Delavigne von I[gnaz] F[rantz] Castelli. Text der Gesänge. Leipzig, Fischer und Kürsten, o. J. 23 S.

3) Offenbach, Jacques, *Arien und Gesänge aus: Die schöne Helena*. Burleske Oper in 3 Abtheilungen von Meilhac und Halévy. Deutsch von C. Dohm. (Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt.) Berlin, E. Bote und G. Bock, 1867. 47, (3) S.

(Zu 1:) *Brümmner Bd. V, S. 225 f. - Inhalt: Auf nach Lamparten. - Legnano. - Hie Staufer, hie Welf. - Der Löwe vor dem Kaiser. - Des Kaisers Fest.*

476 [Bühnenwerke (=4 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 20 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.

1) Paul, A. G. (•••• - ••••), *Liebe und Lieberei*. Dramatisches Lebensbild in 3 Aufzügen,

nach Bayard. Berlin, A.W.Hayn's Erben, o. J. 64 S. [=L. W. Both's Bühnen-Repertoire des In- und Auslandes. Nr. 290.]

2) Reuling, Carlot Gottfried (1861 - ?), Geopfert. Drama in 5 Acten. Den Bühnen gegenüber als Manuscript. Frankfurt a. M., gedr. bei Gebrüder Fey, 1885. 64 S.

3) Adami, Friedrich (1816 - 1893), Königin Margot und die Hugenotten. Dramatisches Gemälde in 2 Abtheilungen und 5 Akten. Der „Reine Margot“ des A. Dumas frei nachgebildet. Berlin, A.W.Hayn, 1885. 72 S. [=L. W. Both's Bühnen-Repertoire des Auslandes. Nr. 167.]

4) Heemstede, Leo von (d.i. Tepe, Leo) (1842 - 1928), Arnold von Brescia. Trauerspiel in 5 Aufzügen. Frankfurt a.M., A.Foesser Nachfolger, 1889. 118, (2) S.

(Zu 2:) *Brümmner Bd. V, S. 445.* - *Die erste Veröffentlichung des Verfassers.* - (Zu 4:) *Brümmner Bd. VII, S. 167; Kosch Bd. VII, Sp. 615.*

477 [Bühnenwerke (=2 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 18 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. der beiden Hefte.

1) Rudolf Hermann (d.i. Carsted, Rudolf Hermann) (1840 - nach 1884), Straßburg. Historisches Schauspiel in 5 Acten. Unter Benutzung des Romans „Der Raub Straßburgs“ von Heribert Rau. Berlin, Fr. Luckhardt, 1888. 75 S.

2) Geißler, Karl Wilhelm (1863 - 1904), Phaëthon. Ein Trauerspiel in vier Akten. Cöthen, P. Schettler, 1889. VIII, 70 S.

(Zu 1:) *Brümmner Bd. I, S. 411; Kosch Bd. II, Sp. 505.* - (Zu 2:) *Brümmner Bd. II, S. 339.*

478 [Bühnenwerke (=3 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 10 × 14 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.

1) Schiller, Friedrich von, Maria Stuart. Ein Trauerspiel. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. 126, (2) S. [=Reclams UB 64.]

2) Pohl, Emil/Wilken, H., Auf eigenen Füßen. Gesangsspiessen in sechs Bildern. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [nach 1882]. 90, (2) S. [=Reclams UB 1696.]

3) Ibsen, Henrik, Die Wildente. Schauspiel in fünf Aufzügen. Aus dem Norwegischen von Ernst Brausewetter. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [nach 1884]. 108 S. [=Reclams UB 2317.]

479 [Bühnenwerke (=5 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 13 × 18 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T. eines jeden Heftes.

1) Spalteholz, Robert (1840 - ?), Mein Freund Belany. Schauspiel in vier Aufzügen. O. O. gedr. bei Schmidt und Banmaun(?) in Leipzig-Reudnitz, o. J. [1886 (?)]. 100 S.

2) Millöcker, Carl (1842 - 1899), Text der Gesänge zu: Der Feldprediger. Operette in 3 Acten von H. Wittmann und A. Wohlmuth. Hamburg, A. Cranz, o. J. 60, (2) S.

3) Zeller, Carl (1842 - 1898), Text der Gesänge zu: Der Vagabund. Operette in drei Acten nach einer Idee des Souvestre von M. West und L. Held. Wien, V. Kratochwill, o.J. 63 S.

4) Rheinberger, Joseph (1839 - 1901), Toggenburg. Ein Romanzen-Cyclus. Dichtung von Fanny von Hoffnaab. Bremen, Praeger & Meier, 1875. 7 S.

5) Marschner, Heinrich, Text der Gesänge zu: Der Holzdieb. Komische Oper in 1 Aufzuge von Friedrich Kind. O.O., gedr. bei O. Leiner in Leipzig, o. J. 14 S.

(Zu 5:) *Diese Oper wurde zuerst [1825] in einem von Heinrich Marschner herausgegebenen, dramatischen Taschenbuch „Polyhymnia“ veröffentlicht. Vgl. Goedeke Bd. IX, S. 271, 62, 1.*

4. Sammlungen, dramatische Almanache und Taschenbücher

480 Jahrbuch deutscher Bühnenspiele. Hrsg. von F[riedrich] W[ilhelm] Gubitz (1786 - 1870). Jg. 11 [bis 45], für 1832 [bis 1866]. Berlin, Vereins-Buchh., 1832 [bis 1866]. 11 × 17 cm. IV, 343 (+1) S. Hldr. St. (1) a.d.T.

- Goedeke Bd. VIII, S. 130, 20γ; Bd. IX, S. 442, 41; Bd. XI/1, S. 149, 5 f. (insbes. 5, 11).
 - Die Jgg. 1 - 3, für 1822 - 1824 [unter dem Titel: Jahrbuch deutscher Nachspiele. Blesrau, Graß, Barth und Comp.], und die Jgg. 4 - 10, für 1825 - 1831 [Berlin, Vereins-Buchh.], wurden von Karl v. Holtei (1798 - 1880) herausgegeben. - Inhalt des Jg. 11: Vorwort. Berlin, den 9. Sept. 1831. F.W. Gubitz. (S. III - IV.) - Wolff, Pius Alexander (1782 - 1828), *Der Kammerdiener. Posse in vier Aufzügen.* - Schiff, David [Hermann] Bär (1801 - 1867), *Das April-Märchen oder der gefährliche Harnisch. Phantastisches Lustspiel in vier Akten.* - Albini (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von) (1777 - 1838), *Frauenliebe. Schauspiel in vier Akten (als Fortsetzung des Lustspiels „Kunst und Natur“).* - J.E. Mand (d.i. Goldschmidt, Karl Wilhelm) (1792 - 1857), *Demoiselle Bock. Lustspiel in einem Akt.* - Norbeck, C. (•••• - ••••), *Er hat den Hals gebrochen. Schwank in einem Akt.*
- 481 — Jg. 12, für 1833. Berlin, Vereins-Buchh., 1833. 11 × 17 cm. II, 328 (+1), (5) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Töpfer, Carl Friedrich Gustav, *Der Empfehlungsbrief. Lustspiel in vier Aufzügen.* - Seidel, W.F. (•••• - ••••), *Künstler-Liebe oder die moderne Galathe. Lustspiel in einem Aufzuge.* - Holtei, Karl von, *Margarethe. Possenspiel in einem Akt.* - Lüdemann, Georg Wilhelm von (1796 - 1863), *Der Mystiker oder die Schuld. Lustspiel in einem Aufzuge.* - Itter, W. (•••• - ••••), *Die Gefangene. Trauerspiel in einem Aufzuge.* - Schiff, David [Hermann] Bär, *Der Graf und Bürger. Trauerspiel in vier Akten.*
- 482 — Jg. 13, für 1834. Berlin, Vereins-Buchh., 1834. 10 × 17 cm. II, 339, (3) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: J.E. Mand (d.i. Goldschmidt, Karl Wilhelm), *Das Räthsel. Lustspiel in fünf Akten.* - Albini (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Studenten-Abenteuer, oder Eine Helene des neunzehnten Jahrhunderts. Eine Posse für den Carneval in zwei Akten.* - Bartsch, Johann Leopold Gustav (1797 - 1840), *Schildwach-Abenteuer. Posse in zwei Akten. Nach einer Anekdote.* - Töpfer, Carl Friedrich Gustav, *Des Königs Befehl. Lustspiel in vier Aufzügen.* - Cosmar, Alexander (1805 - 1842), *Der brave Mann. Drama in zwei Akten. Nach Bürger's Lied dieses Namens bearbeitet.*
- 483 — Jg. 15, für 1836. Berlin und Königsberg, Vereins-Buchh., 1836. 11 × 16 cm. II, 356 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Albini (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Endlich hat er es doch gut gemacht! Ein Lustspiel in drei Akten. Nach einer englischen Idee für die deutsche Bühne bearbeitet.* - Birch-Pfeiffer, Charlotte (1800 - 1868), *Hinko. Drama in fünf Akten, und einem Vorspiel, genannt: Der jüngere Sohn. Mit freier Benutzung des Storchischen Romans.* - Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Mulier taceat in ecclesia, oder: Die kluge Königin. Eine Tragikomödie in drei Aufzügen.* - Another (der eigentl. Verfasser nicht ermittelt), *Uns're Frau Generalin, Lustspiel in zwei Akten.* - Angely, Louis, *Von Sieben die Hässlichste! Lustspiel in 3 Akten und einem Vorspiele nach Told's Erzählung.*
- 484 — Jg. 16, für 1837. Berlin und Königsberg, Vereins-Buchh., 1837. 11 × 17 cm. II, 331 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Birch-Pfeiffer, Charlotte, *Der Glöckner von Notre-Dame. Romantisches Drama in sechs Tableau's. Nach dem Roman des Victor Hugo, frei bearbeitet.* - Holtei, Karl von, *Der dumme Peter. Original-Schauspiel in zwei Aufzügen.* - Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Der Narr seiner Freiheit. Lustspiel in zwei Aufzügen.* - Albini (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Im Kleinen wie im Grossen. Lustspiel in einem Akt.* - Robert, Ludwig (1778 - 1832), *Der Fussfall. Dramatischer Scherz in zweiundsiebzig Reimzeilen.* - Angely, Louis, *Die Reise auf gemeinschaftliche Kosten. Komische Gemälde in fünf Akten, frei nach dem Französischen.*
- 485 — Jg. 17, für 1838. Berlin, Vereins-Buchh., 1838. 11 × 17 cm. IV, 312 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Albini (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Der General-Hof-Schneider. Posse in zwei Akten.* - Holm, K. Ferdinand (d.i. Witzleben, Ferdinand August von) (?)

- ?), *Die Zeitungsbraut. Posse in drei Aufzügen.* - Devrient, Philipp Eduard, *Die Gunst des Augenblicks. Original-Lustspiel in drei Akten.* - Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Die alte und die junge Gräfin. Lustspiel in drei Aufzügen.* - Birch-Pfeiffer, Charlotte, *Die Engländer in Paris. Posse in vier Aufzügen.* - Anonymus, *Die Haushälterin. Schwank in einem Aufzuge.*
- 486 — Jg. 18, für 1839. Berlin, Vereins-Buchh., 1839. 11 × 17 cm. IV, 328, (4) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Devrient, Philipp Eduard, *Das graue Männlein. Schauspiel in fünf Akten.* - Albin (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Was den Einen tödtet, giebt dem andern Leben. Dramatischer Scherz in einem Akt.* - Robert, Ludwig, *Ein Schicksals-Tag in Spanien. Comödie mit Gesang in drei Aufzügen.* (Nachlaß.) - Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Ein theurer Spaß. Dramatische Anekdote in zwei Aufzügen.* - Thale, Adalbert vom (d.i. Decker, Friedrich Karl Otto von) (1784 - 1844), *Guten Morgen, Vielliebchen! Lustspiel in einem Akt.* - Albin (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Mir gelingt Alles! Lustspiel in vier Akten.*
- 487 — Jg. 19, für 1840. Berlin, Vereins-Buchh., 1840. 11 × 17 cm. IV, 365, (4) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Hahn und Hektor. Lustspiel in drei Aufzügen.* - Geisheim, Johann Karl Wilhelm (1784 - 1847), *Schlag Sieben. Lustspiel in fünf Aufzügen.* - Benedix, Julius Roderich, *Die Männerfeindinnen. Original-Lustspiel in fünf Akten.* - Birch-Pfeiffer, Charlotte, *Die Günstlinge. Original-Schauspiel in fünf Aufzügen.* - Albin (d.i. Meddlhammer, Albin Johann Baptist von), *Der Familien-Congreß. Burleskes Familiengemälde in zwei Akten.*
- 488 — Jg. 20, für 1841. Berlin, Vereins-Buchh., 1841. 11 × 17 cm. IV, 362, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Devrient, Philipp Eduard, *Verirrungen. Ein historisches Schauspiel in fünf Akten.* - Raupach, Ernst Benjamin Salomo, *Die Brautführer. Posse in drei Aufzügen.* - Alexis, Willibald (d.i. Haering, Georg Wilhelm Heinrich) (1798 - 1871), *Der verwunschene Schneidergesell. Ein Fastnachtsschwank in drei Akten.* - Marggraff, Hermann (1809 - 1864), *Elfride. Trauerspiel in fünf Akten.* - Maria, Franz (..... -), *Das Lustspiel. Dramatischer Scherz in einem Aufzuge.*
- 489 Neueste deutsche Schaubühne, oder dramatische Bibliothek der neuesten Lust-, Schau-, Sing- und Trauerspiele für das Jahr 1817. Bd. 3 [von 6]. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1817. 11 × 17 cm. 1 Bl., IV, 274 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [= Deutsche Schaubühne Bd. 37.]
Goedeke Bd. XI/1, S. 145, 3 f; Meyer Bd. 3, S. 1392. - *Erste Ausgabe.* - *Die Sammlung erschien als Fortsetzung der „Deutschen Schaubühne oder dramatischen Bibliothek der neuesten Lust-, Schau-, Sing- und Trauerspiele“ [22 Bde. 1810 - 1813].* - *Inhalt:* Lögler, Benedict (1790 - 1820), *Das Turnier zu Konstanz, oder: der Waldbruder am Bodensee. Ein romantisches Drama aus dem Hegäu in vier Aufzügen.* [Goedeke a.a.O. mit falscher Titelangabe. Vgl. aber Bd. XI/1, S. 220, 35, 5.] - Weiner, Heinrich (? - ?), *Die eisernen Brüder. Ein romantisches Schauspiel in vier Aufzügen, nach der Geschichte bearbeitet.* - Müllner, Amadeus Gottfried Adolf, *Die Großen Kinder. Ein Lustspiel in zwei Aufzügen.*
- 490 — Bd. 4. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1817. 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 266 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (3) a.d.T. [= Deutsche Schaubühne Bd. 38.]
Inhalt: Lögler, Benedict, *Das Quartieramt. Ein Schauspiel in einem Aufzuge.* (Nach einer wahren Geschichte.) - Weiner, Heinrich, *Der Todtengräber; oder: das heimliche Gericht. Ein romantisches Schauspiel in vier Aufzügen.* - Wolff, Pius Alexander (1782 - 1828), *Pflicht um Pflicht. Ein Schauspiel in einem Aufzuge.* - Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, *Bäbbel, oder aus zweyen Uebeln das Kleinste. Eine historische Posse in einem Aufzuge.* - Anonymus, *Die schöne Pilgerin. Eine Oper in einem Aufzuge.*

- 491 — Bd. 5. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1817. 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 289 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 39.]
Inhalt: Lögler, Benedict, *Der Weiße und der Rothe. Ein Nachspiel in zwey Aufzügen.* (Nach einer wahren Begebenheit vom Jahre 1811.) - Pichler, Caroline (1769 - 1843), *Ferdinand der Zweite, König von Ungarn und Böhmen. Ein historisches Schauspiel in fünf Aufzügen.* - Voß, Julius von, *Die Frankfurter Messe. Eine Posse in zwey Aufzügen.* - Ders., *Euer Verkehr. Eine Posse in einem Aufzuge. Gegenstück zur Judenschule oder Unserm Verkehr, von [Karl Borromäus Alexander] Sessa.*
- 492 — Bd. 6. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1817. 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 250 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 40.]
Inhalt: Adam, Joseph August (? - ?), *Der Hund des Aubri de Montdidier, oder der Zweikampf auf der Insel Notré-Dame. Ein romantisches Schauspiel in vier Aufzügen.* - Waibel, J.R.v. (? - ?), *Die Najaden. Eine Oper in vier Aufzügen.* - Lebrun, Carl August, *Die Empfehlungsbriefe. Eine dramatische Maske in einem Aufzuge.*
- 493 Neueste deutsche Schaubühne, oder dramatische Bibliothek der neuesten Lust-, Schau-, Sing- und Trauerspiele für das Jahr 1818. Bd. 1 [bis 6]. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1818. 11 × 17 cm. 1 Bl., II, 266 (+1) S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 41.]
Goedeke Bd. XI/1, S. 145, 4 f; Meyer Bd. 3, S. 1393 f. - Erste Ausgabe. - Auch diese Sammlung kam als Fortsetzung der „Deutschen Schaubühne oder dramatischen Bibliothek ...“ heraus. - Inhalt: Weiner, Heinrich, *Laura. Ein Schauspiel in drey Aufzügen, nach dem Roman bearbeitet.* - Artner, Maria Therese von, *Die That. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen.* - Der Schuld von Adolph Müllner erster Theil. - Schall, Carl (1780 - 1833), *Das Heiligthum. Ein Vorspiel in einem Aufzuge.*
- 494 — Bd. 3. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1818. 11 × 17 cm. 1 Bl., IV, 234 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 43.]
Inhalt: Adam, Joseph August, *Der Abenteurer, oder So prellt man Gecken. Ein Lustspiel in einem Aufzuge.* - Klingemann, August, *Das Kreuz im Norden. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen aus alter nordischer Vorwelt.* - Soden, Friedrich Julius Heinrich Reichsgraf von, *Die lange Nase. Ein Lustspiel in einem Aufzuge und in drei Abtheilungen.*
- 495 — Bd. 5. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1818. 11 × 17 cm. 1 Bl., IV, 264 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 45.]
Inhalt: Müllner, Amadeus Gottfried Adolph, *König Yngurd. Ein Trauerspiel in 5 Aufzügen.* - Schall, Carl, *Der Kuß und die Ohrfeige. Ein Spiel in Versen und in einem Aufzuge.* - Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, *Der Spiegel oder Laß das bleiben. Ein Lustspiel in einem Aufzuge.*
- 496 — Bd. 6. Augsburg und Leipzig, in Komm. bei v. Jenisch und Stage, 1818. 11 × 17 cm. 1 Bl., IV, 234 S. Mit Titelkupfer. Hldr. [=Deutsche Schaubühne Bd. 46.]
Inhalt: Contessa, Karl Wilhelm (1777 - 1825), *Der Schatz. Lustspiel in Einem Aufzuge.* - Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, *Der Vielwisser. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen.* - Voß, Julius von, *Der Erste April. Lustspiel in einem Aufzuge.*
- 497 Neue Bibliothek kleiner Theaterstücke für Privat-Gesellschaften. Ein Pendant zu der deutschen Schaubühne. Theil 1 [bis 4]. Augsburg und Leipzig, in Comm. bei v. Jenisch und Stage, o.J. [um 1818]. 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 258 S. Mit 1 Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T. [=Deutsche Schaubühne Bd. 47.]
Goedeke Bd. XI/1, S. 146, 5; Meyer Bd. 3, S. 1156 f. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Anonymus, *Herzog Kanut, genannt der Heilige. Sage.* - Wagner, Gottlob Heinrich Adolph (1774 - 1835), *Umwege. Lustspiel in fünf Aufzügen.* - Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, *Die Seelenwanderung oder der Schauspieler wider Willen auf eine andere Manier. Ein Schwank.* - Castelli, Ignaz Vincenz Franz, *Der Ehenstifter, oder: Die beyden Offiziere. Ein Lustspiel in einem Akt.*

- 498 — Theil 3. Augsburg und Leipzig, in Comm. bei v. Jenisch und Stage, o. J. [um 1818]. 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 288 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T. [=Deutsche Schaubühne Bd. 49.]
Inhalt: Hinze, Heimbart Paul Friedrich (1771 - 1840), Ein Streich zum Todtlachen. Lustspiel in einem Akt. - Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, Der Ruf. Ein dramatisches Lehrgedicht in drey Akten. - Friedrich, Theodor Heinrich (1776 - 1819), Der Geist, oder die unterbrochene Theaterprobe. Ein Schwank in einem Aufzuge. - Castelli, Ignaz Vincenz Franz, Haß allen Weibern! Ein Lustspiel in einem Akt.
- 499 — Theil 4. Augsburg und Leipzig, in Comm. bei v. Jenisch und Stage, o. J. [um 1818], 10 × 17 cm. 1 Bl., IV, 266 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T. [=Deutsche Schaubühne Bd. 50.]
Inhalt: Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von, Alfred. Eine Oper in drei Acten. - Friedrich, Theodor Heinrich, Die Scheintodten. Ein Schwank in zwei Aufzügen. - Hinze, Heimbart Paul Friedrich (? - 1840), Künstlers Fegfeuer. Lustspiel in Einem Akt. - Wagner, Gottlob Heinrich Adolph, Liebesnetze. Dramatisches Spiel in zwey Aufzügen. - Lembert (d.i. Tremler, Wenzel), Die verbündeten Truppen in Frankreich. Schauspiel in zwey Aufzügen.
- 500 Original-Theater für das Jahr 1820. Zusammengetragen von mehrern dramatischen Dichtern. Bd. 1 [bis 6]. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 11 × 18 cm. 1 Bl., 243 S. Hldr. St. (2) a.d.T. Mit 1 Kupfer.
Goedeke Bd. XI/1, S. 146, 7 f; Meyer Bd. 3, S. 1195. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Hell, Theodor (d.i. Winkler, Karl Gottfried Theodor), Der weiße Ritter, ein Schauspiel in sechs Aufzügen, nach einer englischen Erzählung. - Mauricio (•••• - ••••), Der Raub der Sabinerinnen. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. - Lögler, Benedict, Der Neujahrmorgen. Ein Schauspiel für Privatbühne in einem Aufzuge.
- 501 — Bd. 2. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 11 × 18 cm. 1 Bl., II, 252 S. Mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Lange, Moritz (? - ?), Epimenides in Baiern. Vorspiel in einem Aufzuge. - Huschberg, Johann Ferdinand von (1792 - 1852), Hannibal. Tragödie in fünf Aufzügen. - Lögler, Benedict, Adelstolz und kindliche Liebe. Ein Schauspiel in drei Aufzügen. - Guttenberg, Andreas Joseph von, Der eitle Liebhaber. Ein Originallustspiel in zwei Aufzügen.
- 502 — Bd. 3. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 1 Bl., II, 259, (1) S. Mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Castelli, Ignaz Vincenz Franz, Der Marschall von Luxemburg. Ein militärisches Drama in drei Aufzügen. Nach dem Französischen des Frederic. - Guttenberg, Andreas Joseph von, Das Paar Pantoffeln. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. Nach einer orientalischen Erzählung bearbeitet. - Dorsch, Franz Theodor Ludwig (? - ?), Der Schrank. Ein Lustspiel in Alexandrinern und einem Aufzuge.
- 503 — Bd. 4. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 11 × 18 cm. 1 Bl., II, 268 S. Mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Mauricio, Livia von Bergi. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. - Cramer, Joh. Fried. (•••• - ••••), Glück und Unglück oder der Kaufmann von Amsterdam. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. - Dorsch, Franz Theodor Ludwig, Das Hopfen-Männchen. Eine ländliche Scene mit Gesang. - Guttenberg, Andreas Joseph von, Die Freier mit hölzernen Beinen. Eine Karnevalsposse in einem Aufzuge.
- 504 — Bd. 5. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 11 × 17 cm. 1 Bl., II, 244 S. Mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Ecker und Eckhoffen, Julius Freiherr von (1796 - 1848) (Übers.), Oedipus, König von Theben. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen von Voltaire. - Guttenberg, Andreas Joseph von, Zwanzigtausend Thaler. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. Frei nach dem Französischen des Dorvigny. - Mauricio, Maracatili. Ein Lustspiel in zwei Aufzügen. - Weichsel-

- baumer, Karl (1791 - 1871), Helene. Ein Schauspiel in einem Aufzuge. - Guttenberg, Andreas Joseph von, Die Bedrängten oder guter Rath für baares Geld. Eine Posse in einem Aufzuge, als Gegenstück zu Herrn von Kotzebue's: Ung[*l*]ücklichen.
- 505 — Bd. 6. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1820. 11 × 18 cm. 1 Bl., II, 260 S. Mit 1 Kupfer. Hldr. St. (2),(3) a.d.T.
Inhalt: Huschberg, Johann Ferdinand von, Johanna d'Arc zu Rouen. Tragödie in fünf Aufzügen. Nach dem Französischen des D. Avrigni. - Adam, Joseph August, Fernando und Cecilie. Eine romantische Oper in drei Aufzügen. Musik von M. Maurer. - Wilhelm, Johann Leonhard (? - ?), Der Regen. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. - Dorsch, Franz Theodor Ludwig, Der Ehe-Prokurator. Eine Posse in Alexandrinern und zwei Aufzügen.
- 506 Original-Theater für das Jahr 1821. Zusammengetragen von mehrern dramatischen Dichtern. Bd. 3 [von 6]. Augsburg und Leipzig, v. Jenisch und Stage, 1821. 11 × 18 cm. 1 Bl., II, 244 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Inhalt: Carnoni, Wilhelm (? - ?), Diana und Endymion oder Männerschwur und Männertreue. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. - Weichselbaumer, Karl, Achilles auf Skyros. Ein Schauspiel in einem Aufzuge. - Castelli, Ignaz Vincenz Franz, Der König und der Narr. Ein geschichtliches Lustspiel in zwei Aufzügen. Nach dem Französischen frei bearbeitet. - Adam, Joseph August, Der Sekretär. Eine Familienscene in einem Aufzuge.
- 507 Taschenbuch dramatischer Originalien. Hrsg. von Dr. Frank (d.i. Frank, Gustav Ritter von) (1807 - 1860). Jg. 1 [bis 5 und Neue Folge Jg. 1 (und mehr nicht)]. Leipzig, F.A. Brockhaus, 1837 [bis 1842]. 12 × 19 cm. VI, 301 S. [Es fehlen 1 Portr. von E. Bauernfeld und 4 Kupfertaf. (scenische Darstellungen).] Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. XII, S. 221, (20.) 7; Brümmer Bd. II, S. 247 f.; Hirschberg S. 134. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Bauernfeld, Eduard von (1802 - 1890), Der Musicus von Augsburg. Lustspiel in drei Aufzügen. - Liebenau, G.H. (•••• - ••••), Miltons Muse. Dramatisches Gedicht in einem Aufzuge. - Frank, Gustav (Pseud.), Autorsqualen. Lustspiel in einem Aufzuge. - Pannasch, Anton (1789 - 1855), Die Christnacht. Schauspiel in einem Akt. - Frank, Gustav (Pseud.), Der Herr im Hause. Lustspiel in einem Akt.
- 508 — Jg. 4. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1840. 12 × 19 cm. 1 Bl., II, 498 S. Mit 1 Portr. von Castelli, 3 Kupfertaf. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Castelli, Ignaz Franz, D' Schwoagarin, a Kumödigschbüil a so z'amagsödzd, wia s' in Esdaraich röd'n doan. [Nach einer Operette von Scribe, in niederösterreich. Mundart.] - Weichselbaumer, Karl, Liebesbotschaften. Lustspiel in zwei Akten. - Zahlhas, Johann Baptist Ritter von, Das Gespenst auf der Brautschau. Ritterliches Lustspiel in drei Aufzügen. - Lagusius, N.v., (•••• - ••••), Der Heckthaler. Schwank in zwei Akten. - Frank, Gustav (Pseud.), Der Bräutigam von Haiti. Lustspiel in fünf Akten und in Alexandrinern.
- 509 — Jg. 5. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1841. 12 × 19 cm. VI, 544 S. Mit 1 Portr. von A. Pannasch. Es fehlen 8 kolor. Costumbilder. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Pannasch, Anton, Irrgänge des Lebens. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Vogel, Peter Wilhelm, Christine von Schweden. Drama in drei Aufzügen nach van der Velde. - Gutzkow, Karl, Richard Savage, oder der Sohn einer Mutter. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Frank, Gustav (Pseud.), Worcester, oder Geist und Narrheit. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Reinhold, Carl, Die dramatische Literatur und das Theater der Deutschen im 19. Jahrhundert, nach ihren historischen Voraussetzungen betrachtet.
- 510 — Neue Folge. Jg. 1. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1842. 12 × 19 cm. 1 Bl., VI, 448 S. Mit 1 Portr. von F. v. Holbein. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Holbein, Franz von, Die Schlittenfahrt oder der Herr vom Hause. Original-Lustspiel in vier Aufzügen. - Bauernfeld, Eduard von, Ernst und Humor. Lustspiel in vier Aufzügen. - Hagen, August (1797 - 1880), Der Oberst und der Matrose. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Frank, Gustav (Pseud.), Die Sylvesternacht. Drama in einem Aufzuge.

5. Dramaturgie, Theatergeschichte u.s.w.

- 511 Bulthaupt, Heinrich [Alfred], Dramaturgie der Classiker. Bd. 1 [von 2]: Lessing, Goethe, Schiller, Kleist. 3. umgearb. u. stark verm. Aufl. Oldenburg und Leipzig, Schulze, 1889. 14 × 20 cm. XVI, 478 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Vgl. Brümmer Bd. I, S. 381 (1. Aufl.: 1880[- 1882]).
- 512 — Bd. 2: Shakespeare. 3. umgearb. u. stark verm. Aufl. Oldenburg und Leipzig, Schulze, 1889. 14 × 20 cm. LVI, 422 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 513 Cornet, J[ulius], Die Oper in Deutschland und das Theater der Neuzeit. Aus dem Standpuncte practischer Erfahrung. Hamburg, Meißner und Schirges, 1849. 14 × 22 cm. II, 165 (+1) S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 36, 41. - Erste Ausgabe.
- 514 Reden-Esberk, Friedr. Joh. Freiherr von, Caroline Neuber und ihre Zeitgenossen. Ein Beitrag zur deutschen Kultur- und Theatergeschichte. Leipzig, J. A. Barth, 1881. 15 × 23 cm. 1 Bl., XII, 357 (+1), (2) S. mit gest. Titelportr. Mit 2 gest. Ansichten, 8 ganzs. Faks. auf Taf. und 2 gefalt. Beilagen. OPpbd. mit Rt. St. (3) a.d.T.
- 515 Fiedler, Carl, Das deutsche Theater, was es war, was es ist, was es werden muß. 2. Aufl. Leipzig, Fr. Hartknoch, 1877. 15 × 21 cm. VI, 375 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Brümmer Bd. II, S. 207 (1. Aufl.: 1875).
- 516 Frenzel, Karl [Wilhelm Theodor], Berliner Dramaturgie. Bd. 1 - 2 [in 1 Bd.]. Erfurt, Fr. Bartholomäus, o. J. 13 × 20 cm. IV, 444; IV, 468 S. Hldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Vgl. Wilpert/Gühning S. 361, 23 (Erstausgabe: Hannover, Rümpler, 1877); Brümmer Bd. II, S. 265.
- 517 Friesen, Herm[ann] Freih[err] von, Shak[e]spe[a]re-Studien. Bd. 1 [bis 3]: Altengland und William Shakspere. Wien, W. Braumüller, 1874 [bis 1876]. 14 × 21 cm. X, 452 (+2) S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) auf S. III.
Brümmer Bd. II, S. 290.
- 518 — Bd. 2: Will. Shakspere's Dramen vom Beginn seiner Laufbahn bis 1601. Wien, W. Braumüller, 1875. 14 × 21 cm. III, 390 (+2) S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 519 — Bd. 3: Will. Shakspere's Dramen von 1601 bis zum Schlusse seiner Laufbahn. Wien, W. Braumüller, 1876. 14 × 21 cm. VI, 549 (+1) S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 520 Funck, Z. (d.i. K.F. Kunz) (Hrsg.), Erinnerungen aus meinem Leben in biographischen Denksteinen und andern Mittheilungen. Bd. 2 [von 2]: Aus dem Leben zweier Schauspieler: August Wilhelm Iffland's und Ludwig Devrient's. Leipzig, F.A.Brockhaus, [1836-] 1838. 12 × 19 cm. X, 285 (+1) S. Kart. St. (3) auf S. V.
Goedeke Bd. V, S. 265, r. - Erste Ausgabe.
- 521 Genée, Rudolph, Shakespeare's Leben und Werke. Hildburghausen, Bibliogr. Institut, 1874. 12 × 19 cm. 408 S. OLwd. mit Rücken- und Deckelvergold. St. (3) a.d.T.
Wilpert/Gühning S. 384, 21. - Nachdruck der Ausgabe von 1872.
- 522 Günther, Georg, Grundzüge der tragischen Kunst. Aus dem Drama der Griechen entwickelt. Leipzig/Berlin, W. Friedrich, 1885. 14 × 22 cm. VIII, 543 S. OHldr. mit Rt. und

Rvergold. St. (3) a.d.T.
Brümmer Bd. III, S. 9.

- 523 Lichterfeld, L. (Hrsg.), *Entwickelungs-Geschichte der deutschen Schauspielkunst*. Erfurt, Fr. Bartholomäus, o. J. 13 × 18 cm. 1 Bl., VI, 286 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/1, S. 44, 20 (Jahreszahl: 1882).
- 524 Müller, Hermann, Scherz und Ernst. *Plaudereien eines alten Comödianten*. Hannover, Helwig, 1878. 17 × 23 cm. 76 S. mit 6 Textillustr. Privat-Einbd. mit marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T.
Kosch Bd. X, Sp. 1486.
- 525 Pröbß, Robert, *Geschichte der dramatischen Literatur und Kunst in Deutschland von der Reformation bis auf die Gegenwart*. Bd. 1 [von 2]. Leipzig, B. Schlicke, 1883. 16 × 22 cm. VIII, 463 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 526 ——— Bd. 2. Leipzig, B. Schlicke, 1883. 16 × 22 cm. VI, 465 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 527 Schlegel, August Wilhelm von, *Ueber dramatische Kunst und Literatur*. Vorlesungen. Nach der zweyten Ausgabe [von 1817]. Theil 3 - 4 [in 1 Bd.]. Wien, Ch. F. Schade, 1825. 10 × 13 cm. 216; 208 S. Hldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Vgl. Goedeke Bd. VI, S. 12, 32; Wilpert/Gühning S. 1123, 23.
- 528 Schöll, Adolf, *Goethe in Hauptzügen seines Lebens und Wirkens*. Gesammelte Abhandlungen. Berlin, W. Hertz, 1882. 15 × 22 cm. VIII, 572 S. OLwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/2, S. 351, 108. - Erste Ausgabe.
- 529 Stahr, Adolf, *Goethe's Frauengestalten*. 2 Bde. [in 1 Bd.] 7. Aufl. Berlin, Brachvogel & Boas, 1886. 13 × 19 cm. VIII, 260; IV, 292, (4) S. 1 Faks. Mit Bildn. Lottes und Minna Herzliebs. OLwd. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/2, S. 366, 9.
- 530 Viehoff, Heinrich, *Schiller's Leben, Geistesentwicklung und Werke*. Auf der Grundlage der Karl Hoffmeister'schen Schriften neu bearbeitet. 3 Theile [in 1 Bd.]. Stuttgart, C. Conradi, 1874. 13 × 19 cm. 1 Bl., VIII, 285; II, 243; II, 273, (4) S. OLwd. St. (3) a.d.T.
Brümmer (Bd. VII, S. 261) sowie Goedeke (Bd. V, S. 112, 22) gibt 1875 als Jahreszahl an.
- 531 *Excerpte aus Lessings Dramaturgie*. 15 × 22 cm. 1 Bl., 434 Doppels. Hldr. mit Rt. und Rvergold. Mehrf. St. (3).
Hier handelt es sich um einen handschriftlichen, teils nicht wörtlichen Auszug aus Gottlob Ephraim Lessings Hamburgischer Dramaturgie, Stück 1 ff. Auch handgeschrieben auf dem Respektbl.: „Engeki Chosakuhō“, Meiji 21 (1888), Shun-u-tei (d.i. Takanori Mōri), am Ende der letzten Seite: Leipzig, Donnerstag, den 15. November 1888.

C. Märchen und Sagen

- 532 [Brauns, David,] *Japanische Märchen und Sagen*. Gesammelt und hrsg. von David Brauns. Leipzig, W. Friedrich, 1885. 14 × 21 cm. XXIV, 439, (1) S. OLwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.

- 533 [Brüder Grimm,] Kinder- und Hausmärchen gesammelt durch die Brüder Jakob und Wilhelm Grimm. Hrsg. von Herman Grimm. Kleine Ausgabe. 35. Aufl. Mit neun Bildern nach Zeichnungen von Paul Meyerheim. Gütersloh, C.Bertelsmann. 1887. 13 × 19 cm. 1 Bl., IV, 288 S. OLwd. mit Rt. St. (3) a.d.T.
- 534 Hauff, Wilhelm, Märchen für Söhne und Töchter gebildeter Stände. 17. Original-Aufl. Stuttgart, Rieger, 1884. 14 × 19 cm. II, 446 (1) S. Mit 91 Illustr. von Offterdinger und Bertall und 6 Rad. von J. B. Sonderland. OLwd. mit Rücken- und Deckelvergold. St. (3) a.d.T.
- 535 Putlitz, Gustav zu, Was sich Wald erzählt. Ein Märchenstrauß. 40. Aufl. Berlin, Gebrüder Paetel, 1879. 10 × 14 cm. 80 S. OLwd. Mit handschriftlicher Widmung [für Takanori Mōri, unterm. von Agathe Marggraff, 1888]. St. (3) a.d.T.

II. VARIA

- 536 Feuchtersleben, Ernst Freiherr, Zur Diätetik der Seele. Leipzig, Ph. Reclam, o. J. [um 1888]. 9 × 14 cm. 148 (+2), (22) S. Mit dem Bildniß des Verfassers. OLwd. [=Reclams UB. Miniaturausgabe.]
- 537 Hellwald, Friedrich von, Culturgeschichte in ihrer natürlichen Entwicklung bis zur Gegenwart. 2. neu bearb. und sehr verm. Aufl. Bd. 1 [von 2]. Augsburg, Lampart, 1876. 14 × 22 cm. XVI, 584 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold.
- 538 ——— Bd. 2. Augsburg, Lampart, 1877. 14 × 22 cm. VIII, 799 (+1) S. OHldr. mit Rt. und Rvergold.
- 539 Hödel, F., Verzeichniss der stenographischen Literatur (Druckwerke & Kunstgegenstände) Deutschlands sowie der wichtigsten Erscheinungen des Auslandes während der Jahre 1880 - 1887. Systematisch zusammengestellt. Leipzig, J.H.Robolsky, 1888. 11 × 15 cm. II, 64 S. Br.
- 540 Keil, K., Verzeichniss der stenographischen Literatur (Druckwerke und Kunstgegenstände) Deutschlands und der wichtigsten gleichartigen Erscheinungen des Auslandes, sowie einer Auswahl verwandter Werke über Schriftkunde, Pasigraphie u. die Tachygraphie der Alten. Nach den Systemen geordnet. Leipzig, J.H.Robolsky, 1880. 11 × 15 cm. IV, S. 1 - 90. [Unvollständig. Es fehlt: S. 91 - 96.] Br.
- 541 Konoye, Atsumaro, Die Ministerverantwortlichkeit nach der Japanischen Verfassung mit Berücksichtigung verschiedener konstitutioneller Staaten. Inaugural-Dissertation, vorgelegt der juristischen Fakultät der Universität Leipzig zur Erlangung der Doktorwürde. Leipzig, gedr. bei J. Klinkhardt, 1890. 16 × 24 cm. 48 S. OLwd. mit Deckelvergold. Widmung des Verfassers für Takanori Mōri und St. (3) a.d.T.
- 542 Mantegazza, Paul, Die Physiologie der Liebe. Einzige vom Verfasser autorisirte deutsche Ausgabe. Nach der 2. Aufl. aus dem Italienischen übersetzt von Eduard Engel. Jena, H. Costenoble, 1877. 15 × 20 cm. XII, 424 S. OLwd. mit Rücken- und Deckelvergold.
- 543 — Anthropologisch-kulturhistorische Studien über die Geschlechtsverhältnisse des Menschen. 2. Aufl. Aus dem Italienischen. Einzig autorisierte deutsche Ausgabe. Jena, H. Costenoble, 1888. 15 × 23 cm. X, 384 S. Hldr. mit Rt. und Rvergold.

- 544 Palleske, Emil, Die Kunst des Vortrags. 2. Aufl. Stuttgart, C. Krabbe, 1884. 14 × 20 cm. XVI, 276, (4) S. OLwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 545 Reich, Eduard, Die Geschichte der Seele, die Hygieine des Geisteslebens und die Civilisation. Minden i.W., J.C.Bruns, 1884. 15 × 22 cm. XX, 472 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.
- 546 Weber, Georg, Die Weltgeschichte in übersichtlicher Darstellung. 19. revid. und verb. Aufl. Leipzig, W. Engelmann, 1885. 15 × 23 cm. XXX, 614 S. OLwd. mit Rt. und Rvergold.

III. LEHRBÜCHER

- 547 Baskerville, A. (Bearb.), Praktisches Lehrbuch der englischen Sprache, in welchem die wichtigsten Regeln der Grammatik durch eine große Menge von Beispiel erklärt werden ... Teil 1. 16. verb. Aufl. Oldenburg, G. Stalking, 1882. 14 × 21 cm. IV, 183, (1) S. OHLwd. St. (3) a.d.T.
- 548 Bock, Eduard (Bearb.), Deutsches Lesebuch. Für die Bedürfnisse des Volksschulunterrichts in entsprechender Stufenfolge und drei Ausgaben (A. B. C.). Größere Ausgabe [B.] für mehrklassige Schulen. In 4 Teilen. Teil 1: Schreib- und Lese-Fibel. Unter gleichzeitiger Berücksichtigung der Bedürfnisse utraquistischer Schulen für leichtes Erlernen des Lesens und Verstehens der deutschen Sprache. 17. Stereotyp-Aufl. Breslau, F. Hirt, 1882. 12 × 20 cm. XII, 100 S. mit 64 Abb. Hlwd.
- 549 — Deutsches Lesebuch. Für die Bedürfnisse des Volksschulunterrichts in entsprechender Stufenfolge und drei Ausgaben (A. B. C.). Besondere Ausgabe [C.] für deutsche und utraquistische Schulen beider Konfessionen. In 3 Teilen. Teil 1: Neue Schreib- und Lese-Fibel. Unter gleichzeitiger Berücksichtigung der Bedürfnisse utraquistischer Schulen für leichtes Erlernen des Lesens und Verstehens der deutschen Sprache. 7. Stereotyp-Aufl. Breslau, F. Hirt, 1884. 13 × 20 cm. XII, 100 S. mit 64 Abb. Hlwd.
Derselbe Text wie Nr. 548, nur mit teils verändertem Titel.
- 550 Drbal, Matthias, Lehrbuch der empirischen Psychologie. Zum Unterrichte für höhere Lehranstalten sowie zur Selbstbelehrung leicht fasslich dargestellt. 4., verb. Aufl. Wien, W. Braumüller, 1885. 15 × 22 cm. VIII, 311 S. OLwd. St. (3) a.d.T.
- 551 Haesters, Albert, Lehr- und Lesebuch oder der sinnliche und sittliche Anschauungsunterricht für die Mittelklassen der Volksschule. Ausgabe für Simultan-Schulen. 54. (Stereotyp-) Aufl. Essen, G.D. Bädeker, 1879. 12 × 19 cm. XVI, 216 S. Hlwd.
- 552 — Lehr- und Lesebuch oder der sinnliche und sittliche Anschauungsunterricht für die Mittelklassen der Volksschule. Ausgabe für Simultan-Schulen. 31. (Stereotyp-) Auflage. Tokio, Verlags und Buchhandlungs Comp., 1884. 13 × 20 cm. XVI, 216 S. Hldr. mit Rt. und Goldpräg.
- 553 — Lehr- und Lesebuch für die Oberklassen der Volksschule. Neue Ausgabe, bearbeitet nach den „Allgemeinen Bestimmungen“ vom 15. Okt. 1872, für Simultan-Schulen, auch geeignet für Schulen aller Konfessionen. Nach der neuen Rechtschreibung. 4. Aufl. Essen, G.D. Bädeker, 1884. 12 × 19 cm. XVI, 495 (+2) S. Hldr. Handschriftl. Name [: Mōri] a.d.Vs.
- 554 Ploetz, Karl, Elementarbuch der französischen Sprache. Nach einer Stufenfolge für die Einübung der Aussprache ... 37. Aufl. Berlin, F.A. Herbig, 1887. 14 × 21 cm. VIII, 226, (2) S. OHLwd.

555 Volkman von Volkmar, Wilhelm, Lehrbuch der Psychologie vom Standpunkte des Realismus und nach genetischer Methode. Des Grundrisses der Psychologie dritte sehr vermehrte Aufl. 2 Bde. in 1 Bd. Cöthen, O. Schulze, 1884 - 1885. 16 × 23 cm. VII, 495, (1); 570 S. OHldr. St. (3) a.d.T.

556 Welter, Th. B., Auszug aus dem Lehrbuche der Weltgeschichte für Schulen. 39. Aufl., bearb. von A. Hechelmann. Münster, Copenrath, 1884. 13 × 21 cm. XVI, 455 S. OHLwd.

IV. NACHSCHLAGEWERKE

557 Fried, Alfred Hermann (Hrsg.), Lexikon deutscher Citate. Leipzig, Ph. Reclam, o.J. [um 1888] 10 × 14 cm. 310, (2) S. Hldr. St. (3) a.d.T.

558 Molé, A., Neues Taschenwörterbuch der französischen und deutschen Sprache zum Schulgebrauche. 2 Theile in 1 Bd. [Theil 1: Französisch-Deutsch; Theil 2: Deutsch-Französisch.] 48. vollst. umgearb. Aufl. Braunschweig, G. Westermann, 1882. 12 × 17 cm. XII, 700 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold.

559 Weber, F. A., Handwörterbuch der deutschen Sprache. Nebst den gebräuchlichsten Fremdwörtern, Angabe der Betonung und Aussprache und einem Verzeichnisse der unregelmäßigen Zeitwörter. Auf's neue durchges. und mit einem Nachtrage verm. von Max Moltke. 16. Stereotyp-Aufl. Mit Regeln und Wörterverzeichnissen für die neue Rechtschreibung von Georg Berlit. Leipzig, B. Tauchnitz, 1884. 15 × 22 cm. LXVI, 790 S. OHldr. mit Rt. und Rvergold.

560 Thieme, F.W., Neues Taschenwörterbuch der englischen und deutschen Sprache. Neue gänzlich durchges., verm. und verb. Stereotyp-Ausgabe. Hrsg. von B. Magnusson. 2 Theile in 1 Bd. [Theil 1: Englisch-Deutsch; Theil 2: Deutsch-Englisch.] Altona, Haendcke & Lehmkuhl, 1867. 12 × 16 cm. VIII, 312; IV, 211 S. Ohne Einbd.-Deckel. St. (3) a.d.T.

561 Weyler, Th. (Bearb.), Denker- und Dichter-Worte im deutschen Volksmunde. Vollständiger Citatenschatz. 2. erw. Aufl. Leipzig, G. Engel, o.J. [1888/89]. 11 × 16 cm. IV. 164 S. OHLwd. St. (3) a.d.T.

V. SONSTIGES

562 Deutsche Preis-National-Handschrift und lateinische Preis-Handschrift. 21 × 15 cm. O.O., o.Verl., o.J. 52 S. Br.

563 Kiessling's neuer grosser Plan von Berlin mit nächster Umgebung. Mit Verzeichniss sämtlicher Strassen, Brücken und Plätze. Berlin, A.Kiessling, o.J. 12 × 19 cm. 1 Karte (im Maßstab 1: 15000, Format: 88 × 69 cm), 8 S. OHLwd.

564 Reichs-Kursbuch. 1885. Ausgabe Nr. 7. 14 × 22 cm. 567 S. [von 571]. Br.

565 Schalk-Kalender 1891. Jg. 11. Leipzig, E.Herrmann, [1890/91]. 12 × 18 cm. 110, (18) S. mit zahlr. Illustr. und Abb. Okart.

*

[Kataloge]

- 566 Wissenschaftliches Antiquariat Gustav Fock, Lager-Verzeichnis No. 32. Antiquaria aus dem Gebiete der Medizin. Leipzig, 1889. 14 × 21 cm. 49 S. Br.
- 567 Buchhandlung Gustav Fock, Lager-Verzeichnis No. 38. Rechtswissenschaft (Antiquaria). Leipzig, 1890. 14 × 21 cm. 57 S. Br.
- 568 — Lager-Verzeichnis No. 38. Rechtswissenschaft (Antiquaria). Leipzig, 1890. 14 × 21 cm. S. 1 - 56. Br.
- 569 — Lager-Verzeichnis No. 46. Staatswissenschaften und Volkswirtschaft. Antiquaria. Leipzig, 1891. 14 × 21 cm. 65 S. Br.
- 570 — Lager-Verzeichnis No. 46. Staatswissenschaften und Volkswirtschaft. Antiquaria. Leipzig, 1891. 14 × 21 cm. 65 S. Br.

[N A C H T R A G]

Schaden, Johann Nepomuk Adolph von (1791 - 1840)

- 571 — (Hrsg.) Die moderne Sappho, ein musikalisch-dramatisches Durcheinander ohne Sinn und ohne Verstand. Bestehend aus zwei Akten und einem monodramatischen Finale. [...] zugeeignet dem hochberühmten Kasperl am Theater zu Wien und dem nicht minder berühmten Lipperl am Sommertheater zu München. [Motto:] Ede, bibe, lude -/ Post mortem nulla voluptas! Zu Deutsch: Treib' es lustig in Saus und Braus/ Denn nach dem Tode ist alles aus! Leipzig, o. Verl., MDCCCXIX. 12 x 19 cm. IV, 136(+1) S. Ppbd. St. (2) a. d. T.
Goedeke Bd. IX, S. 175, 10 (mit Bemerkung: 1818 ausgegeben); Hirschberg S. 434.

Seipp, Christoph Ludwig (1747 - 1793)

- 572 — (anonym) Die Beurlaubten. Ein Lustspiel in zween Aufzügen. Prag, W. Gerle, 1780. 12 x 19 cm. 58 S. Ppbd. St. (2) a. d. T.
+ Angeb.: Schröder, Friedrich Ulrich Ludwig (1744 - 1816) (anonym), Beverley, oder: Der Spieler. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Nach Moore und Saurin. Schwerin und Wismar, Bödner, 1791. 88 S.
(Zu "Die Beurlaubten":) Holzmann/Bohatta Bd. VI, S. 99, 2680 (mit Angabe: Gelegenheitsstück in 2 A.); Goedeke Bd. V, S. 349, 222, 1 (mit derselben Angabe wie bei Holzmann/B.). — Nicht ausgeschlossen, daß es sich hier um das zweiaktige Lustspiel mit dem Titel: "Die Beurlaubung" handelt, das auch in Prag 1780 erschien. Vgl. Goedeke Bd. V, S. 345, 223. — (Zu Schröder:) Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 224, 6434; Goedeke Bd. IV/1, S. 651 f., 5, II, e. — Es handelt sich um den Separatdruck aus: "Sammlung von Schauspielen für's Hamburgsche Theater" (4 Bde. Schwerin und Wismar, 1790 - 94), Bd. II.

Wollstädt, Johann Philipp (? - ?)

- 573 — (anonym) Cássio oder Die Folgen der Eifersucht. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. [Motto:] Glücklicher der, den des andern Sturz vor Gruft und steilen Felsen schützt. Frankfurt am Mayn, J. Ph. Streng, 1781. 12 x 19 cm. 93 S. Ppbd. St. (2) a. d. T.
+ Angeb.: La Chaussee, Pierre Claude Nivelles de (1692 - 1754), Der reiche Bürger. In fünf Aufzügen. Bremen, J. H. Cramer, 1768. 104 S.
(Zu Wollstädt:) Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 304, 8884; Goedeke Bd. V, S. 255, 26, 2. — Erste Ausgabe.

Anonymus

- 574 — Charlotte Corday oder die Rebellion von Calvados. Ein republikanisches Trauerspiel in vier Akten. (Aus den Zeiten der französischen Revolution.) In Jamben. Stettin, J. S. Kaffke, 1794. 12 x 19 cm. IV, 230 S. Ppbd. St. (2) a. d. T.
+ Angeb.: Anonymus, Die Geschichte des Manns-Stiefels. Dresden, o. Verl., 1753. 46 S.

**

- 575 — [Bühnenwerke (= 5 einzelne Hefte in 1 Bd.), gesammelt und privat eingebunden von Takanori Mōri.] 11 x 16 cm. Marmor. Hlwd. St. (3) a. d. T. eines jeden Heftes.
1) Kind, Friedrich, Der Freischütz. Romantische Oper in 3 Akten. Musik von C. M. von Weber. Text der Gesänge. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. 20 S.
2) Haydn, Joseph (1732 - 1809), Die Schöpfung. Oratorium. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. 19(+1) S.
3) Lecoq, Charles (1832 - 1918), Arien und Gesänge aus: Mamsell Angot, die Tochter der Halle. Operette in drei Akten von Clairville, Siraudin und König. (Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt.) Berlin, E. Bote und G. Bock, 1875. 50 (+2) S.
4) Giacomo Meyerbeer (eig.: Meyer-Beer, Jacob Liebmann) (1791 - 1864), Die Hugenotten oder Die St. Bartholomäusnacht. (Les Huguenots.) Große Oper in fünf Akten. Nach dem Französischen des Eugén Scribe u. Emile Deschamps von I[gnaz Vincenz] F[rantz] Castelli. Leipzig, Breitkopf und Härtel, o. J. [nach 1864.] 68 S.
5) Offenbach, Jacques, Arien und Gesänge aus: Orpheus in der Unterwelt. Burleske Oper in zwei Akten und vier Bildern von Hector Crémieux. Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Berlin, E. Bote und G. Bock, o. J. 29(+18) S.
(Zu 3:) Teilweise falsch gebunden, und zwar die S. 17 ff. hinter dem vierten Stück.

毛利高範侯旧蔵洋書（独文）目録
佐伯市文化財調査報告書

1991年3月30日

発行 佐伯市教育委員会

〒876 佐伯市中村南町1-1
電話 (0972) 22-3111

印刷 佐伯印刷株式会社

本社：〒870-91 大分市古国府1155-1
電話 (0975) 43-1211

佐伯工場：〒876 佐伯市中央区新屋敷343
電話 (0972) 23-0170